

340
803



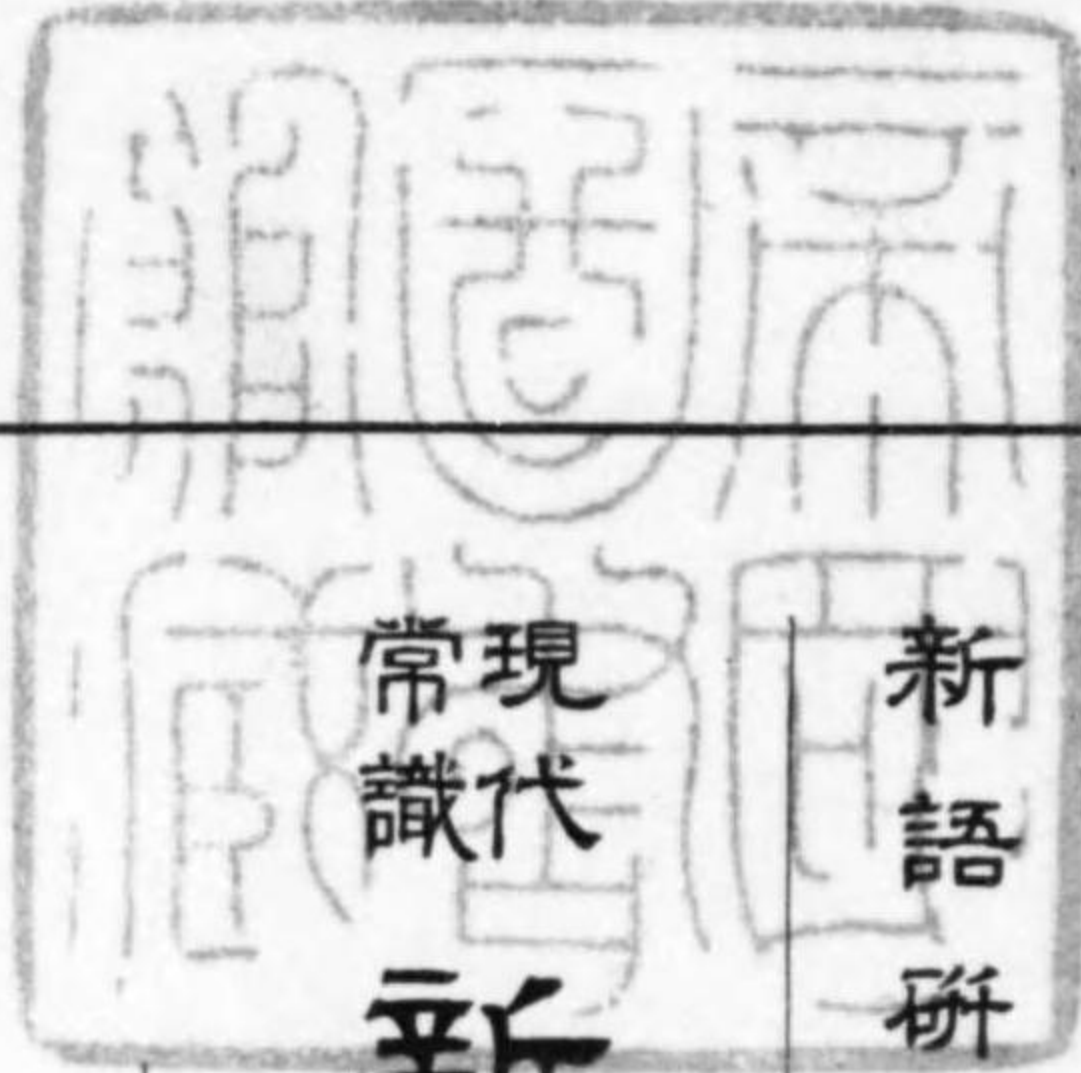
始



340
803

現代常識
新語辭典

特231
114



新語
研
究
會
編

現
代
常
識

新
語
辭
典

大
洋
社
出
版





序

潮の如き勢ひを以て文化の向上するに連れ、吾人の日常生活状態は日にますます多岐複雑を極め、之れが思想、智識の内容もまた著しき發達を遂げつゝある、従つて夫れを表現する言葉所謂時代語なるもの、現出も是等の刺激と要求に依り次から次へと恰かも雨後の筍の如き状態を呈して居る。

x

現代の世相を理解し、事物の推移を察し、新しき思想を知り、新しき智識を得るには、時代の反映であるところの言葉を知らねばならぬ。それを知らずして時代を正視し、時代の趨勢に並行しやうとしても、それは到底不可能事たるを免れない。

x

本書は現代に於ける共同生活の一人として、何人も知つて置かねばならぬ言葉を廣く各方面に涉つて蒐集網羅し、これに實用と趣味の兩方面より何人も容易に理解し得るやう最も平易に

最も適確に解説を施したものである。

今茲に本書の内容を検し、これを大別すると、凡そ左の各種辭典を併せたものと云つても敢て過言にあらざるを信ずるものである。

- 新時代語辭典
- 外來語辭典
- 俗語辭典
- 文學語辭典
- 科學語辭典
- 哲學語辭典
- 政治經濟法律語辭典
- 運動語辭典
- 演藝語辭典
- 書翰語辭典

諸君が新聞、雜誌、書籍または談話等に於て、熟語、術語、流行語、外來語等其他不可解なる語に接したるとき、本書を繙くに依つて直ちにそれを發見し、一讀その意味を理解し得ることとは勿論であるが、先づ一應本書の全體に涉つて通讀したならば、必ずや見聞を廣め、處世上

序

必要なる何物かを收穫し得られることを確信して疑はぬものである。

本書は亦附録として吾人の日常生活に必要缺くべからざる

- 俚語
- 書翰用語
- 數量用語
- 誤れる讀み方
- 誤れる書き方
- 郵便料金表
- 度量衡換算法

等の數項を加へ以てその内容をして一層完からしめんことに努めたのである。

昭和四年仲秋

編者識

總 目 次

現代語	一
俚 諺	三〇
書 翰 用 語	六三
數 量 用 語	八五
誤れる読み方	九
誤れる書き方	三三
郵便料金表	三四
度量衡換算法	三八

目 次

現代語	一
俚 諺	三〇
書 翰 用 語	六三
數 量 用 語	八五
誤れる読み方	九
誤れる書き方	三三
郵便料金表	三四
度量衡換算法	三八

現代新語辭典

ア

【アーク燈】Arc-lamp (英) 公園・停車場・廣場等に設けられ又活動寫眞映寫用として用ゐられる電燈で二本の炭素棒タングスタンの接觸によつて白熱強烈なる弧狀の薄紫色光を放つ、弧光燈又は弧燈ともいつて居る。

【アークス・カメラ】Argus camera (英) 軍港・要塞等の禁止地帯を秘密に撮影したり又は戲遊用として用ゐられる寫眞器。

【アーク・ライト】Arc-light (英) アーク燈に同じ

【アーケード】Arcade (英) デパートメント・ストアに對抗して發達した聯合百貨店で仲店道ナカイセーア又は聯合販賣商業街ともいひ販賣並に仕入

ア

共に各種商店が共同又は協定して營業する組織のもの。

【アーセニン】Arsenin (獨) 梅毒治療用の六〇六號と同一の化學構造を有するサルバルサン・ナトリウムのことと獨逸のエーリツヒ氏が發見した砒素剤ヒンナイである。

【アーチ】Arch (英) 縁門と譯する、祝賀・凱旋等に際し杉葉を主要材料として造る飾り門。

【アーチー】Archer (英) 地上又は艦上等より飛行機を狙撃シゲキする太砲、射空砲。

【アーティスト】Artist (英) 一般的には藝術家のことであるが特に畫家と美術家とを稱する語。

【アーティフィシアル】Artificial (英) 藝術品に對する批評に用ゐられる語、自然的の對、即ち技巧的、人工的、人為的等の意。

【アート】Art (英) 美術、藝術、技巧等の意。

【アート・タイプ】Art type (英) 阿膠版アカウパンともいふ、寫眞印刷の一種で表面の光澤を消した

一

【アート・フ・アート】Art for art, Art for Art's sake(英) 唯美派ユキキハ又は藝術至上派と譯す、藝術をして人生の爲めの藝術とせず藝術の爲めの藝術として取扱はんとする一派。

【アート・フ・ア・ライフ】Art for Life's sake(英) アート・フ・オア・アートの對、藝術をして單に人生の爲めの藝術として取扱はんとする流派。

【アート・ペーパー】Art paper(英) 寫眞印刷用紙の一種で鉛分に富んだ光澤を現はす。

【アーベント】Abend(獨) 英語のイーヴニング(Evening)と同義、夕方・日くれ方・夜等の意味を現はす語で夕方から催ふされる演奏會や講演會等に冠して用ゐられる、例へばアーベントリードは「夕べの歌」の類である、近時は「詩の夕べ」「映畫の夕べ」等を云ふに多く用られる。

【アーム・ストロング會社】Arm-strong Co.(英) 世界的に有名な英國の軍艦・武器製造工場の名。

【アーム・ストロング砲】Arm-strong gun(英) アーム・ストロング會社で製造し特に同社が專賣權を有する砲の總稱。

【アーム・チェア】Arm-chair(英) 理髮店で使用する式の肘掛椅子。

【アーメン】Amen(伯) 基督教徒が祈禱の終りに唱へる語で希伯來語アマンの「眞也」「實也」等の嘆賞語である。

【アール】Art(佛) 技術、藝術、技巧等の意。

【アール・ヌーヴォー】Art nouveau(佛) 一九〇〇年代フランスで流行した美術上の新技巧で單調な色彩と同一な太さの線を用ゐてゆつたりと描かれる圖案の様式。

【アイアン】Iron(英) 鐵。ゴルフに用ゐる杖のうち頭部に鐵の裝置を施したもの、鐵杖。

【アイヴォリー】Ivory(英) 象牙、又象牙色の光澤ある西洋紙で名刺やカタログ等に用ゐられる

【アイ・オー・ユー】I.O.U.(英) 商業用語の一で

債務者が債権者に對し別に辨償の事を約せず單に債務の存在を認める意を表はす語「余は貴下に對して債務あり」の意。

【愛國貯金】アイコクチャウキン 一錢貯金のこと「國は吾等の一錢に富む」を標語とし一人一日一錢の貯金をなし一箇月の終りごとにそれを郵便貯金とするもの。

【愛嬌日】アイケウジヒ 英語の(Days of Grace)の譯、恩恵日、猶豫日等の意。

【アイコノクラズム】Iconoclasm(英) 偶像破壊に同じ。

【アイス】Ice(英) ①こほり、氷②其音が通ずる所から冷酷なことに因んで高利貸の代名詞として用ゐる。

【アイス・イン】Ice-in(英) 映畫用語「ぼかし込み」と譯する、芝居の舞臺に字幕ジマクを用ゐずアイス・インで畫面の周圍から漸次に絞閉シャッターを行ひ中央で絞り込んだ後次の場面に移る時ア

イス・アウト Ice-out(ぼかし出し)を以て前に中央まで絞つたのを開きながら次の全景を現はすこと。

【アイス・ハウス】Ice-house(英) 主として氷を貯へる室、冷蔵庫、貯氷所。

【アイス・ボックス】Ice-box(英) 主として食料品を冷蔵する函、普通冷蔵庫と稱する。

【アイ・ダヴリヤー・タヴリヤー】I. W. W.(英) 一九〇五年以來米國の勞働階級に於て勞働者の生産權獲得及び賃金制度の廢止を目的として起つた一種の運動。

【アイディア】Idea(英) 觀念に同じ。

【アイディアライズ】Idealize(英) 理想的にする、理想化、又想像化。

【アイディアリスト】Idealist(英) 理想を實現せんとする者、理想家。

【アイディアリズム】Idealism(英) ①現在の状態に満足せず理想を追求する總ての主義②唯心論

ユキシロンに通ずる。

【アイディアール】Ideal(英) 理想と譯する、理想の項を見よ。

【アイドール】Idol(獨) 神の對照として人間が造つた肖像、偶像ジウヤウ。

【あい版】アイパン 俗に間版アイパンと書く、大版と中版との中間で七寸に五寸の洋罫紙の版をいふ。

【愛慾】アイヨク 愛情の慾望化したるもの、熱烈なる愛情。

【アイ・ラヴ・ユー】I love you(英) 終生御身に愛を捧げて變らぬとの意で外國では最も神聖な意味を以て使用されて居るが日本では單に安價な戀愛の意味に用ゐられて居る。

【アイロニー】Irony(英) 正しくはアイアラニーと發音する、反語、あてこすり、いやみ、

【アイロン】Iron(英) アイアンの誤り、裁縫用の熨斗のこと。

【アインシュタイン】Albert Einstein(獨) ④相

對性原理サウタイセイゲリ發明者の名④英語の: It is Einstein は至難不可解等の意を現はす。

【アウト】Out(英) 遊戯用語、野球では死者、庭球では線外へ球を逸したこと。

【アウト・オヴ・デート】Out of date(英) 舊式、流行おくれ、時勢に合はぬ等の意。

【アウト・オヴ・ファッション】Out of fashion 陳腐なる、時代おくれの、死灰的レクワイテキナ等の意。

【アウト・カークヴ】Out curve(英) 野球用語、投手ピッチャーの投球が之を受ける打手バッティングを困難に陥らしめんとしてベースの附近で左方に激しく曲線を畫くやうに投げるものをいふ。

【アウト・ドロップ】Out drop(英) 野球用語、ベースの左方にそらし乍ら落す球。

【アウト・フィールド】Out field(英) 野球用語、内野線ナイヤセンの外側の總稱、外野ツツィヤ Out-field

は外野を守る人。

【アウト・プレーヤー】Out player(英) 普通には

レシーヴ (Receive) といふ、野球にて守備のこと。

【アウト・ライン】Out line(英) 大略、概要、外劃ツウイクラク、又テニス・コートの外劃線。

【アウト・ルツク】Out look(英) 景色、眺望、觀傍者、又譬世の意味を現はす語。

【亜鉛凸版】アエントツパン 單に凸版ともいふ、製版法の一で亜鉛板を腐蝕せしめてインクにつく版面を隆起せしめたもの。

【亜鉛版】アエンパン 印刷用原版の一種で酸の作用を利用して滑面亜鉛板上カワメシアエンパンシヤウに書畫を腐蝕せしめたもの。

【青】アヲ 青電車又は青札アヲラダの略。

【青い酒】アヲイサケ Peppermint(英)の譯、薄荷ハクカを主成分とした洋酒の一、日本では五色の酒の一に加へ所謂新らしい女達に愛飲される。

【青い鳥】アヲイトリ Blue bird(英)の譯、白耳義ベルギーの文豪メーテルリンクの作つた童話劇ドワウダキの

名であるが幼い兄妹の求め歩く青い鳥は幸福の象徴シヤウラウとして用ゐられる。

【青い花】アヲイハナ Die hlame(獨)の譯、獨逸の文學者ノヴァリスが青い花を以て「最高の存在と戀愛」「人間の理想」等を象徴シヤウラウしたに始まり、以來理想の代名詞の如くなつた語。

【青き夜】アヲキヨ 清澄な空を感傷的に形容した語。

【青電車】アヲデンシヤ 東京の市内電車で深夜の赤電車(終電車)の一臺前に運轉する電車の稱、青い電球を使用して居るより起つた稱呼。

【青札】アヲラダ 文部省の美術展覽會で出品の入選と落選とを決定する時再審査を要する印として貼る札。

【赤】アカ 赤電車及び赤札に同じ。

【赤い國】アカイクニ 革命後の露西亞ロシアの俗稱、全世界に對し赤化運動セキウワシドウを行ふよりいふ

【赤い春】アカイハル 赤は春季の色彩の表徴ヘウラウとして加へた語、秋の表現を「白い秋」といふ語に

對して「赤い春」といふ。

【赤い酒】アカイサケ 五色の酒の一つで英語ではストロベリー・リキエール (Strawberry Liqueur) といふ、莓酒イチゴ酒のこと。

【赤い笑】アカイワラヒ 露國ロコクの文豪アンドレイエフの小説中にある語、惨虐な悪神の悪戯の中にひそむ氣味悪い微笑等をいつた語。

【赤繪】アカエ 陶器面に描かれた赤色の繪畫・模様のこと。

【赤瓦】アカガハラ ①勾配のゆるい平屋建洋風の家屋の屋根を葺くのに多く用ゐられる喰合式クヒハセシキセメント製の瓦 ②簡易な文化生活の意味にも用ゐられる。

【赤行囊】アカカウツウ 郵便局で貴重品を輸送する時に使用する赤色の袋、轉じて貴重品の代名詞に用ゐる。

【アカシア】Acacia (英) 亞寒帯アカンタイ地方に多く繁殖する樹木でアラビヤゴムの原料に供される

【赤新聞】アカシヤン 赤紙に印刷した新聞の總稱、主として花柳界のことや社會の裏面のすつばぬきを主材とする艶種新聞のこと。

【アカデミー】Academy (英) 我國の學士會館の如く外國に於ける高等教育機關の一、幹林院カシリンケン又は學士會院。

【アカデミク】Academic (英) 學究的又は官學的と譯する ①正純にして世事に超越した學者風 ②融通のきかぬ學者 ③美術上ではアカデミー式は傳統の正しい流派の意。

【赤字】アカジ ①校正刷を訂正する時赤インク・朱墨シユズミ等を用ゐるところから訂正字のことをいふ ②單に校正刷をさしていふ場合もある。

【赤電】アカデン 新聞社で外國電報の受信紙に赤い紙を用ゐるよりその電報をいふ、外電グワイデン。

【赤電車】アカデンシャ 東京の市内電車で其日の最終に發する電車が赤い電球を用ゐるよりいふ。

【赤パイ】赤いオートバイ、警視廳で高官の護衛

や犯人の追跡用に赤く塗つたオートバイを使用するより稱する語。

【赤背】アカヒゲ ①外國人を卑しめていふ語 ②琉球に特産する駒鳥コマドリに似た小鳥の名。

【赤函】アカハコ 佛蘭西フランスのロジヤ會社から賣出す高級香水の包装が赤函である所からその香水をいふ、轉じて高級香水の代名詞。

【赤札】アカラダ ①文部省の美術展覽會で落選となつた品に貼る札 ②寫眞の種板で感光度カニクワイドの早いものが赤紙に包まれて居るよりその種板をいふ。

【赤本】アカホン ①徳川時代の享保年間から寛曆年間にわたつて流行した赤表紙の草双紙クサウシ ②内容が通俗的で装幀サウライも粗悪なる安價な書物の汎稱。

【赤毛布】アカゲフト ①赤いろの毛布 ②田舎者の代名詞、都會見物に赤毛布を外套グワイタウの様子に背負ふよりいふ、おのぼりさん ③初めて洋行する者

にもいふ。

【赤門】アカモン ①舊加賀藩主前田家の正門が朱塗になつて居るところより赤門といつたが現今では東京帝國大學の通用門となつて居る、轉じて ②東京帝國大學及び之に關係ある人々の代名詞に用ゐられる。

【あかもん】(赤門)英國製の上質洋紙に赤門の商標がついて居るところより其紙のことをいふ。

【赤門出】アカモンデ 東京帝國大學を卒業せし人々のことをいふ。

【アカンサス】Acanthus (佛) 薊アザミに似た植物、その葉をかたどつて希臘ギリヤ人の用ゐた菊葉様の模様。

【悪氣流】アクキリウ ①飛行機がなやまされる上層の險惡な氣流 ②酒の上のわるい人。

【アクセント】Accent (英) 音の高低・抑揚、又特に調子を高めて發音すること。

【アクション】Action ①身ぶり、動作、役者のし

ぐさ⑤映畫劇を撮影する時俳優の科シテヲを進行せしめる爲め撮影監督がかかる號令。

【アクター】Actor(英) 俳優、特に男役者⑥技藝員、技藝者。

【悪太郎時代】アクタラウジタイ いたづら盛りの少年時代のこと。

【アクティヴ】Active(英) 他より仕掛られて動くのではなく自分より進んで働きかけること、能動的。

【悪徳新聞】アクトクシヤン 社會の雜事に重きを置いて人身攻撃的なる野卑な記事のみを掲載する新聞紙。

【アクトレス】Actress(英) 女優と譯す、女役者。

【悪の華】アクノハナ 佛蘭西の詩人ボードレルの詩集の名で醜惡・不健全・頹廢的な方面のみを歌つた詩が多い⑦火の異稱。

【惡魔煙草】アタマタバコ 官製の兩切煙草ゴールデンベットの異名、箱の包装が毒々しく惡魔的な所

から文士・學生間に稱せられて居る。

【惡魔派】アタマハ 病的にてし強烈な刺激を求め好んで凄慘・怪異・暗陰等を歌つて獨特の詩境に生きんとする文藝上の一派。

【あこがれ】(憧憬)物事を單に見聞した程度で満足せず進んで自分のものとせねば不満を感じる程に深く戀着する心情。

【淺草式】アサカシキ 卑猥な色彩で人に挑發的な感を與へたり濃厚な氣分を與へたりすること。

【亞細亞局】アジヤキョク もと政務局といひ外務省四局の一で支那香港・澳門・フィリピン及び暹羅に關する外交事務をつかさどる。

【足あげダンス】(俗語) 藝術味を有するダンス女優の演ずる一種の劇、オペラ、歌劇⑧日本では一種挑發的なダンス劇をいふ。

【ア式蹴球】アキキョクキウ 圓形な球を用ゐる十一人一組となつて行ふけまりの遊戲、アッソクエーション式フットボール

【アスパラガス】Asparagus(英) ①西洋花の一種

裝飾用・盛花・盆栽用等として盛んに賞玩せられる②洋食に用ゐるアスパラガスは西洋獨活セイヤウのことで同名異稱である。

【アスファルト】Asphalt(英) 岩石中に産出する炭化水素タンタラスキツの混合物で主としてコンクリートの代用品として用ゐられる。

【アスペクト】Aspect(英) 飛行中の飛行機を更らに其の上から寫した寫眞のこと。

【アスリート】Athlete(英) 運動家、アスレティック・ミーティング(Athletic meeting)又はアスレティック・スポーツ(Athletic sports)は運動會。

【アセウムス】Atheism(英) 正しくはエイシイズムと發音する、無神論に同じ。

【アセチリン】Acetylene(英) カーバイトに水を注入して發生せしめる瓦斯、主として燈火用として用ゐられる。

ア

【與へよ病】アヲヘヨビヤウ 無自覺な流行的の要求を

冷嘲した語、「婦人參政權を與へよ」勞働休息日を與へよ等の類。

【アダム】Adam(英) 太初に神によつて造られた男女二人の人間のうちの男性をいふ。

【新しい女】アタラシイメナ ①英國で自由思想を追求する女性のこと②傳統を無視し總ての束縛から脱れて人間性・遺憾なく發揮せんとする女③教育があつてハイカラ風の女。

【新しい村】アタラシイムラ 宮崎縣兒湯郡木城と稱する地方にあり武者小路實篤氏が私財を投じて建設指導して居る部落であるが經營者の抱く一種ロマンティックな思想の表現として一時は社會注視的となつたことがある。

【アダルト・エデュケーション】Adult education(英) 勞働者・事務員・會社員などで初等又は中等教育を終つて直ちに實社會に入つた人達に對し仕事の餘暇を利用して與へる教育、成人教育エデュケーションと譯する。

【アディング・マシーン】 Adding machine (英)

●機械的に正確迅速に加算を行ふ機械の總稱
●普通には加算を行ふと同時にその數を印字インジ
する機械。

【ア・テンダント】 Attendant (英) ●扈從、從者

●旅館・劇場等の案内係。

【アトリビート】 Attribute (英) 屬性に同じ。

【アップ・トゥ・デート】 Up-to-date (英) 當世向、
最新なる、時勢に伴ふ等の意。

【アップ・トゥ・ミニット】 Up-to-minute (英) 廣

告文・商業文等にある語でアップ・トゥ・デー
トよりも意味が一層切迫して居る、即ち速刻的、
刻下の等の意。

【アップ・トレイン】 Up-train (英) 上り列車。

【アップル】 Apple (英) 果實の名、林檎。

【アペンディックス】 Appendix (英) 増補又は附
録。

【アデュー】 Adieu (佛) 英國の詩人バイロンが伊

太利の獨立戦に赴く時 Adieu Adieu My na-
live shore と歌つてから有名となつた語、さら
ば、さよなら等の意。

【あてられる】 (俗語) いやな思ひをさせられる、
一種の憎惡、嫉妬等を加味せる不快な感じをさ
せられる等の意。

【アド】 Ad. 英語 Advertisement, Advertising の

略、廣告の意として米國にて用ゐられる語。

【アドヴァータイザー】 Advertiser (英) 披露主、
告知人、通知書。

【アドヴァータイジング・マネジャー】 Advertising
manager (英) 總て宣傳事務を主管する人、廣
告主任。

【アドヴァンス】 Advance (英) ●前進、進歩 ●前
金、前貸。

【アド・マン】 Ad-man (英) 新聞・雜誌等の廣告
面整理に當る人、廣告係。

【アトモスフィア】 Atmosphere (英) ●天體又

【アドレセンス】 Adolescence (英) 男子の十四

五歳から二十五歳くらゐまで、女子の十二歳か
ら二十一歳くらゐまでの期間、青春期。

【アドレッシング・グラフ】 Addressograph (英) アドレ
ッシング・マシーンに同じ。

【アナキスト】 Anarchist (英) 中央政府の強制權
を否定し個人の自由意志を基調として一切を自
由行動に放任する新社會を建設せんとする危険
な主義、無政府主義。

【アナキズム】 Anarchism (英) 無政府主義に同じ

【アナクロニズム】 Anachronism (英) 時代錯誤
に同じ。

【アナナス】 Ananas (英) 松の實に似た熱帯産の
植物、果實は食用に供する。

【アナプラチズム】 Anaplatism (英) 土地錯誤に
同じ。

【アニス油】 Anise oil (英) 大茴香イスキヤウの種
子から採取する芳香油で食用又は醫藥用にす

【アドレス】 Address (英) 宛名又は住所。

【アドレッシング・マシーン】 Addressing-machine
(英) 種々の宛名を迅速確實に印刷する機械、
宛名印刷機。

【アドレッシング・マシーン】 Addressing-machine
(英) 種々の宛名を迅速確實に印刷する機械、
宛名印刷機。

【アドレッシング・マシーン】 Addressing-machine
(英) 種々の宛名を迅速確實に印刷する機械、
宛名印刷機。

【アトリエ】 Atelier (佛) 畫家・彫刻家・寫眞家等
の作品製作室。

【アトリエ】 Atelier (佛) 畫家・彫刻家・寫眞家等
の作品製作室。

【アトラス】 Atlas (英) 地圖、輿地圖、地圖集。

【アトラス】 Atlas (英) 地圖、輿地圖、地圖集。

【アトラス】 Atlas (英) 地圖、輿地圖、地圖集。

【アニマリズム】Animalism (英) 半獸主義に同じ。

【アニミズム】Animism (英) 原始的種族間に行はれる迷信で宇宙の萬有には悉く神靈を宿すとすもの、萬有精神論。

【アネモネ】Anemone (英) 毛茛科マウコウクワに屬する球根植物で春季に牡丹に似た花を開き、主として觀賞用に供する。

【アパートメント】Apartment (英) ①部屋、割貸室 ②アパートメント・ハウスの略、

【アパートメント・ハウス】Apartment-house (英) ①一棟の大きい建物の中に住宅風に設備した室が若干作られたもの、共同住宅又は間貸式住宅。【アピタイト】Appetite (英) ①野獸的の慾望、獸慾、又食慾 ②一般に嗜好又は慾望。

【アピラ村】東京市外の上落合カミオナアヒに出來た美術家村の地勢が西班牙スベインのアピラに似て居るより稱へ初めた語。

【アビリティ】Ability (英) うてまへ、技術、アビリティーム (Abilities) はたらき、才能。

【アブサン】Absinthe (佛) 綠色強烈な酒で麻痺の効力がある。

【アブストラクト】Abstract (英) 抽象的に同じ。

【アブソルバント】Absorbant (佛) 繪具の油を吸收して描かれた油繪の光澤を消すやうに作られた畫布、吸收畫布。

【アヴェ・マリア】Ave maria (英) 祝福されたマリヤの意、聖母マリヤの徳をたゞへる聖歌の題名に用ゐる語。

【アプト式】Apt-system (英) 汽車が急勾配を上下する個所に裝置する鐵條でレール面を鋸狀にしそれに機關車の齒車を啖合はせて速力を制限するもの。

【アブノーマル】Abnormal (英) ①變則、病的、極端 ②馬鹿者の代名詞。 ③植物の芽・葉等を損傷する書蟲 ④油蟲 アブラムシ

或る人又は團體に取入つて容易に離れず相手を困らせながら利益を食する如き人物をいふ。

【アプレシエーション】Appreciation (英) 文藝上の作品又は骨董等の眞價・善惡を識別して味ふこと、鑑賞。

【アヴェニュー】Avenue (英) ①道路に沿ふて樹木の立並ぶ道、並木道 ②又街路、大通り。

【アヘン】Opium (英) (阿片) 罂粟の實より採取した麻酔性の嗜好品で支那以外の國は醫藥用の外には妄りに用ゐることを禁止して居る。

【アポストロフ】Apostrophe (英) 英語にて省略の記號又は所有格のサインとして用ゐる語。

【アポロ】Appolo (英) 希臘ギリシア神話中にあるジュピター神の子で太陽の神。

【甘栗】アマグリ 支那人の發明した栗菓子の一で栗を熱砂中でむし焼きにしたもの。

【アマチア】Amateur (英) 好事家カクソ素人藝術家。

【甘酎】アマチュウ 味淋と焼酎とを混じて作った本直ホシナホシと純粹の生焼酎キセウチュウとの中間の甘味を有する飲料で伊勢の名産となつて居る。

【アマルガム】Amalgam (英) 水銀と他金屬との合金の總稱で齒科醫が填充用として用ゐる。

【銅目版】アミハン 銅板を腐蝕せしめてインクのみ所だけ隆起せしめた製版法の一つ。

【アメリカ後家】(俗語) 亞米利加へ出稼に行つた亭主の留守をまもつて居る女房のこと。

【アラ・カート】A La carte (佛) 一品料理と譯する。

【アラビア數字】俗に算用數字と言つて居る12345の如き數字のこととて古代亞刺比亞アラビアで初めて用ゐられたからこの稱がある。

【あららぎ】(木蘭) 松柏科ヒノキ科植物の一つでいちむとも言ひ古來多く詩歌によまれて居る。

【アリストクラシー】Aristocracy (英) ①貴族社會、又貴族政治 ②思想上の貴族主義、即ち高踏

主義の音が「有ると暮しい」に通じるところから裕福の意味にもしやれて用ゐる。

【アルカイック】Archaic (英) 正しくはアールケイックと發音する、希臘ギリシアの美術用語で原始的の意を現はす、凝古主義キョコシユイギ。

【アルカロイド】Alkaloid (英) 蔓珠沙華ヒガンバナ等に多量に含まれる植物性窒素化合物で劇毒を有し醫藥用として用ゐられる。

【アルス】Ars (拉) 英語の Art、即ち藝術・美術の語原。

【アル中】(俗語) アルコール中毒の略。

【アルト】Alto (伊) 音楽用語で中音部及びその奏唱者のこと。

【あるとくらしい主義】アリストクラシーをしいた語で「金があると暮しい」などを言ふ場合に用ゐる。

【アルノン・オルンナノ・シルリルハ・バルカニ・オオキルンナル】學生社會の流行語で、「あの女の

髯は馬鹿に大きいな」といふことを獨逸語化してやれていつた語。

【アルバイト】Arbeit (獨) ①作業、仕事 ②論説文。

【アルバイン・プラント】Alpine-plant (英) アルバインはアルプ山を形容化した語、高山植物の名稱。

【アルバイン・スキー】Alpine, skee (英) アルバインはアルプ山の形容語、即ちアルプ山の上のスキーである。

【アルバカ】Alpaca (英) 南米に特産する哺乳動物ネエドワップアルバカの毛を材料とした織物の名で夏洋服の生地などに多く用ゐられる。

【アルバム】Album (英) 俗に寫眞アルバム等といつて居る、寫眞帖や繪葉書帖などの總稱。

【アルビオン】Albion (英) 英國の詩的古稱で能く萬年筆の商號などに用ゐる。

【アルファベット】Alphabet (英) 英語の字母、即ちABCの二十六文字。

【アルプス】Alps (英) 中部歐羅巴の國境をなす山脈の名稱で四季共に白い山といふ意。

【アルボース】Arbos (獨) 醫藥石鹼の名で殺菌用として廣く用ゐられる。

【アルマ】Alma (英) 埃及エジプトの舞妓のことと兩切口金の官製煙草の商號に用ゐられて居る。

【アルマ・メーター】Alma-meter (英) 英語の正しい發音ではエールマ・メーターといふ、育ての母の意味から母校の代名詞となつて居る。

【アルミン金】Aluminium bronze (英) アルミと銅九の比を有する合金、アルミニウムと銅の略。

【アルミニウム】Aluminium (英) 元素の一、酸性に侵されること、ハンド附の出来ない缺點があるが量が軽いのと加熱度が早い長所がある爲め飛行機材料に用ゐる外鍋・釜等の器具に盛んに製せらる。

【アレジャー】Alegory (英) 或事物中にその事物とは全然關係のない特殊の意味或は作意を含

めること、即ち寓言、比喩の類。

【アンイージー】Uneasy (英) 困厄、不安、特に金融状態の逼迫せることをいふ語。

【アンカー】Anchor (英) 俗にアンクルと言つて居る、左右動センマイ装置の懐中時計の總稱、又錨。

【安價生活】アンカセイクツツ ①比較的安價にして然も滋養分に富んだ物を常食として生活すること ②切りつめた生活、節約生活。

【アンクル】Uncle (英) ①をぢ、叔父 ②質屋の主人のこと。

【アンクル・サム】Uncle-sam (英) 北米合衆國民又はその政府。

【アングロ・サクソン】Anglo-saxon (英) アングロ・サクソンとも發音する、チェルトン種族の一分派で英國人の祖先となつた人種。

【アンコール】Encore (佛) ①音樂會で演奏者が

退場して幕のおりた後拍手で催促して呼出すこと
と②更らに、猶ほ、おかわり、重ねて等の意。

【暗示】アンジ 物事の説明を一部分に止めそれとなく全體の意味をほめかすこと。

【暗室】アンレフ 寫眞の乾板カンパンなどの如く日光に逃ひてその感光することを避ける物を取扱ふ爲め作られた光線の入らぬ室。

【安全かみそり】(安全剃刀) 西洋剃刀に特殊な安全装置を施したもので切傷などをしないことから此の稱がある。

【安全週間】アンゼンシウカン 全市民が協力一致して屋内・屋外共に十分の注意を拂つて種々の災害を未然に防ぎ一週間内その市内をして絶對的に安全な状態のうちに置かうとして試みられるくはだて。

【安全第一】アンザンダイイチ Safety first (英) の譯 亞米利加で交通の頻繁な路上へ危険を豫防する目的に Safety first と書いて掲示してから世界的に

流行した標語で古來用ゐられて居る「石橋を叩いて渡れ」と同意の警語。

【安全地帯】アンゼンチタイ ①往來の頻繁な電車乗換場所に設けられた一區域で車馬の通行を禁止主として電車の乗降客のみを置くから交通上の危険は殆ど絶對に起らない②俗に危険や災害の恐れない場所を安全地帯とも言つて居る。

【安全島】アンゼンタウ 安全地帯よりも一層安全を期した區域で東京市内では路面より五寸位高くなし長さ十間餘幅一間ばかりの中央に直徑二間の圓形を作つて常緑樹を植ゑ約百五十人位の人員を收容し得るものを作つて居る。

【アンダースタンディング】Understanding (英) 理解、正しくは理會、又理解力。

【アンダーライン】Under-line (英) 書中の要所要所に鉛筆や赤インク等で其の目じるしとして引く線、下線、日本の書物の中のやうに側に引く線はサイドライン (Side-line) 即ち側線。

【アンタゴニスト】Antagonist (英) 映畫に現はれる悪黨又は仇役。

【アンタント】Entente (佛) ①現在の状態を持續すること、現状維持②和親、親睦。

【暗中飛躍】アンチユウロク 秘密のうちに種々の活動を爲すこと、主に政治方面の運動に用ゐる語。

【アンティ】Anti (英) 反對する、反抗する。

【アンティ・エアクラフト・ガン】Anti-air craft gun (英) 航空機を射撃する砲、射空砲。

【アンティ・ターニッシュ】Anti-Tarnish (英) 金銀を磨くに用ゐる輕便な油の名。

【アンティピリン】Antipyrin (英) 白色の結晶劇薬で下熱剤として用ゐられる。

【アンデパンダン・サロン】Salon des Independents (佛) 佛蘭西巴里の反官展覽會同人に於て開催せられる獨立美術展覽會の稱。

【アンテナ】Antenna (英) 柱と柱との間にワイヤを張り渡して無線電信・電話の發信用又は受信

用とする空中線。

【アンニヒイ】Ennui (佛) ①ものうさ、又退屈②不安、憂慮。

【アンパイア】Umpire (英) 運動用語で競技の勝敗を判断する人、審判官。

【アンパンを食ふ】(俗語) 軍隊で上級兵が下級兵に對する制裁の一つとして平手で頬べたを打つたことから起つた語で下の者が上の者の御機嫌を損じて叱言を言はれる意味に用ゐる。

【アンビギュアス】Ambiguous (英) 曖昧な、はっきりしな。

【アンプレザント・プレー】Unpleasant play (英) 不快劇。

【アンプレッシニスト】Impressioniste (佛) インプレッシニストを見よ。

【アンプレッシニスム】Impressionism (佛) 前に同じ。

【アンペア】Ampere (英) 電氣量の單位の名、一

アンペアは一秒間に一クロームの電氣量が針金の切口を流れる時の電流の強さをいふ。
【暗面描寫】フニメンベウシヤ 人生の暗黒面に穿ち進んで人間味の眞實を描ずること主として自然主義の文學によつて表現せられる。

【安樂椅子】アンラクイス Easy-chair (英) の譯 下部に曲木マガリキを使つた一人掛の椅子の總稱でアーム・チェアやロッキング・チェアが之に類する。
【安樂椅子からの科學】マンラクイスカラノクワガク 新聞や雑誌に現はれる通俗簡易にして日常生活に必須な科學的の記事のこと。

イ (中)

【帷幄上奏】キアクジヤウツウ 國家の政務は内閣によつて奏宣し旨を受けて行政上の統一をはかることになつて居るが陸海軍の機密に關する事柄のみは閣議を経ず陸海軍大臣から直接天皇に奏上して裁可を仰ぐことが出来る、それを帷幄上奏と

稱し一種の變態制度だけに時々問題となつて新聞などに書かれる。

【イー・アンド・オー・イー】E. A. O. E. 英語の誤記 脱漏はこの限りにあらず (Errors and Omissions Excepted) の略で物品の送状や勘定書の隅に書加ふる語。

【イーグル】Eagle (英) ① 鷲、鷲旗 ② 米國では十非金貨のこと。

【イヤー・ブック】Year-book (英) 年報又は年鑑。

【イーズイ・ゴイキング】Eazy-going (英) 努力せずして氣樂に暮さうとする人をいやしめて言ふ語、轉じて狡猾、無精。

【イーズイ・チェア】Eazy-chair (英) 安樂椅子に同じ。

【イーズイ・ペイメント】Eazy-payment (英) 輕便支拂、即ち月賦拂・年賦拂の類。

【イーズル】Eazy (英) 作畫の時カンヴァスや畫板を懸ける臺、畫架。

【イヴニング・スター】Evening Star (英) 星の名、宵の明星、即ち金星。

【イヴニング・ドレス】Evening dress (英) 夜會服、男子では燕尾服 エンビツク。

【イヴニング・ペーパー】Evening paper (英) ① 新聞の夕刊 ② 夕刊ばかり發行する新聞、夕刊新聞。

【イウゼニックス】Eugenics (英) ユーゼニックスを見よ。

【イロー】Yellow (英) 黄色、**イロー**と發音し Yellow races など用ゐる。

【異教主義】イクウシユギ 基督教の教旨に反對し傳統的な信仰を破壊することを目的とし肉感と熱情とに生きんとする主義である。

【イロー・プレス】Yellow press (英) 黄色新聞、米國の悪徳新聞が黄色の紙を用ゐるところから總て悪徳新聞の代名詞に用ゐる。

【イロー・ペーパー】Yellow paper (英) 黄色

新聞に同じ。

【イロー・ペリル】Yellow peril (英) 黃禍と譯する、その項を見よ。

【イロー・レース】Yellow races (英) 黄色人種と譯する。その項を見よ。

【異郷の花】イキヤウノハナ ① 外國に居て見る美人 ② 海外に出産する日本の醜業婦を上品にいつた語。

【噢咻】イクク 温い息を吹かけてぬくめる意、主として新聞や雑誌方面の關係者に用ゐられる語。

【イグノーランス】Ignorance (英) おろか、無學、蒙昧。

【異國情調】イコクジヤウテウ 外國の風物やそれに關する情味を文藝上の作品の中に取入れて作つた一種の新らしい氣分。

【石】イッシュトネ (英) Pierre (佛) 美術上彫刻の材料として用ゐる石が殆ど全部大理石であるところから其大理石のことを單に石といつて居る。

【イスト】Ist (英) 何々をする人の意、例へばピ

アノをする人をピアノリスト(Piano list)即ち
ピアノリスト(Pianist)といふの類である。

【イスキー】 ウィスキーの略。

【イズム】 Ism (英) 主義、主張又は教義。

【異性】 イセイ ①性状の全然異つたもの ②男子より
は女子をいひ女子よりは男子をいふのであるが
一般的に異性といへば女性の事になつて居る。

【遺族扶助料】 ケンクフジョリョウ 在官十五年以上にして
その在官中に死亡した者及び恩給を受ける者が
死亡した時その遺族の受ける扶助金で恩給の場
合は年額の三分の一・在官者には俸給年額百分
一を在官年数に乗じた額を給せられる。

【イタラ會社】 Itara Co. (英) 伊太利のイタラに
ある活動寫眞會社の名で人情物を得意とする所
より世界的に名高く。

【イタリア焼き】 Italian pottery (英) 伊太利製の
陶器で十一世紀から十三世紀迄はエナメル焼と
なつて居たがそれ以後は金屬性の色彩光澤をあ

らはし畫題には宗教的の物を採るやうになつた
【イタリック】 Italic (英) 横にねかして書く伊太利
文字型のこと。

【一元的】 イチゲンテキ 總ての事物の變化の根源を唯
一のものに歸すること。

【一時間寫眞】 イチジカンシヤシン 一時間以内に撮影から
現像・焼付まで終る早取寫眞のことと電氣寫眞
とも稱へる。

【一人稱】 イチニンシヨウ 對人稱の反對で自己の經驗又
は感想等を物語風に記述すること。

【一夜妻】 イチヤツメ ①娼妓の異稱 ②一時の出來心に
て交情せし女のこと。

【一六銀行】 イチロクギンカウ 一と六と合して七となり
其の音の通ずるところから質屋のこと。
【イデオム】 Idiom (英) ①慣用語・熟語 ②なま
り、方言。

【移動警察】 イドクケイサツ 内務・鐵道兩省の協議によ
つて大正十一年一月から全國鐵道幹線に實施し

たもので列車内に警官を乗込ませて旅客の保護
鐵道關係の犯罪取締りの任に當つて居る。

【イニシャル】 Initial (英) ①氏名のかしら文字
②文章の書きはじめの文字。

【猪】 イノシシ 我國の十圓紙幣の異稱、米國の十非金
貨を「猪」といふ類。

【猪の横ツ飛び】 イノシシクヨコトビ 十圓紙幣の模様、轉
じて十圓紙幣のこと。

【いびつ學校】 イビツガクカウ 美術學校の異稱、その音
が通ずると學生の服装や生活から推して能く
穿たれた語として用ゐられる。

【イヴ】 Eve (英) 太初ハジメ神によつて造られた男
女二人の人間のうちの女性であるがエデンの園
に於て惡魔に誘惑されて禁制の木の実を喰つた
爲め人間界に於ける總ての苦痛を嘗めるに至つ
たといふ傳説中の女性の先祖。

【イマジネーション】 Imagination (英) 想像又は
想像力。

【イマジネティヴ】 Imaginative (英) 想像的な、想
像力に富んで居る。

【イミテーション】 Imitation (英) なぞらへまね
る、模倣。

【醫務局】 イムキョク 軍隊の醫藥に關する事務を取扱
ふ所で衛生・醫事の二課に分れ陸海軍に各々一
局づゝ附屬して居る。

【イラショナル】 Irrational (英) 道理に合はぬ、
愚かな、不合理。

【イラストレーション】 Illustration (英) ①解説、
説明、圖解、又新聞雜誌等の挿繪 ②實證、
實例。

【イリディウム】 Iridium (英・獨) 硬質にして耐
熱・耐酸性タイタニウムに富む白金屬の一元素で廣く
萬年筆のペン先に附けられる。

【イリュージョン】 Illusion (英) 妄想、幻視、幻覺、
錯覺。

【イルミネーション】 Illumination (英) ①多數の

電燈を以て裝飾する點燈裝置、電光飾②辰砂レシヤ又は赤鉛セキエンを以てマメクリプトを裝飾する技術で二世紀頃から十七世紀迄行はれた。

【印畫】イングリッ 藝術的に撮影し焼付をした寫眞のこと。

【インカーネーション】Incarnation (英) 化身、權化

【イン・カーヴ】In-curve (英) 野球用語、投手の投げた球が打手の身邊で突然内側に曲ること。

【インカム】Income (英) 取得、收入。

【インキを惜む】(俗語) 文章等が十分に書きつくしてないこと。

【インクライン】Incline (英) 無蓋貨車を二條の軌道の上に置き電力で運轉させる裝置で主として登山客の昇降機關として用ゐられる、斜面輸送裝置。

【インク・ルーラー】Ink-ruler (英) ローラー(Roller)とも言ふ、印刷インク用圓筒、即ち印刷機

械の肉棒。

【印刷局】インサフキョク 總理大臣の直轄で官報・法令全書・職員録の編輯賣買及び印刷、印紙・郵便切手・諸證券類の製造・並に之等に要する紙の製造等を司るところ。

【インサート】Insert (英) 映畫中で字幕の代りに挿入する説明的事物のこと。

【因襲】インシフ 因習とも書く、古くからのしきたり、舊慣。

【印紙收入】インシシユウニフ 登録税・賣藥税・狩獵税・印紙税等の如く収入印紙を以て收納する税金及び訴訟手数料・特許料・各種試験料其他収入印紙で收納する一般の手数料。

【印象】インキヤウ Impression (英) の譯 ①五官に受けた外來の刺激がそのまゝ心に印せられること

②心理學上では或る感情又は感覺が初めて心に表はれたこと。

【印象主義】インキヤウ Impressionism (英) の譯

文藝の作品に於て作者の主観に映じた印象をそのまま描出する主義。

【印象的】インキヤウチキ Impressive (英) の譯 主として視覚に受けた刺激が長く心に跡を留めたことをいふ語。

【印象批評】イロシヤウヒン 客觀的に定められた一定の標準に對照してどなく作者が刺激によつて受けた気分・感銘のまゝに評判すること。

【インストールメント】Instalment (英) ①イー

ジ・ペイメントに同じ②叙任、任官、就職。

【インスティテュート】Institute (英) 主義、原理、規定又は原則、複数の Institutes は 會館・學院・協會等の意。

【インスティテュション】Institution (英) ①設定、設立、規定又は制度②學校、學會その他造營所③教科書。

【インスティンクト】Instinct (英) 本能、天性、本性。

【インスパイア】Inspire (英) ①獎勵、激勵、鼓舞②尻押し、煽動する。

【インスピレーション】Inspiration (英) ①天來の靈感②非凡なる思想又は異常なる感動。

【印税】インゼイ 検印に對する税、即ち著作権を有する者がその著作物を出版業者をして出版せしめる時出版業者より著作物貸與料として受取る金のこと。

【インターナショナルイズム】Internationalism (英) 多數の國家と其國民が協調して共同の目的を達せんとすること、國際主義。

【インターナショナル】International (英) 國家の境土を超越して各國民を平等ならしめる意、即ち國際的又は世界的。

【インタヴュー】Interview (英) 新聞・雜誌記者が人を訪問してその談話や意見などを聞き廻ること。

【インターフォン】Interphone (英) 自動交換式

の室内小型電話機。

【インタプリット】Interpret (英) ① 釋明する、通釋する、轉じて夢などを判斷する ② 劇を演出する。

【インダクション】Induction (英) ① 誘導、推理 ② 論理學上で用ゐる考へ方の演繹法 エンケハフの對、即ち歸納法 ナンツ。

【インタロゲーション・マーク】Interrogation mark 疑問文の符號(?)のことであるが一般的には單に疑問の意味に用ゐられる。

【インディアン・ペーパー】Indian paper (英) 西洋紙の一種で薄けれど質が緻密で強靱なため印刷用として用ゐられる。

【インディゴ】Indigo (英) 濃厚な藍色、印度藍 インドイ。

【インディヴィデュアリズム】Individualism (英) 個人主義と譯す、其項を見よ。

【インディヴィデュアリティ】Individuality (英)

③ 個性、人格、人物 ④ 單獨、又自己一個の德行を完うすること、獨善主義 ⑤ 存在。

【インディヴィデュアリスト】Individualist (英) 己れ一個人の利益をのみ尊重する者のこと、利己主義者。

【インディヴィデュアル】Individual (英) 各個の、各自の、個々の。

【インデックス】Index (英) 書物の最後につけて其書物の内容の重要項目を掲げ之に對應する頁數をその下に記した索引。

【インデックス・カード】Index-card (英) カードの間にはさむ見出しカード、例へば「アの部」「イの部」などの類。

【インデックス・ペーパー】Index-paper (英) ① インデックス・カードに同じ ② 綴込帳簿に挿む見出し用の紙。

【インテリアリア】Interior (英) ① 内心、内部、又内地、内界 ② 宮殿・寺院等の内部 ③ 田園生活を描

出した浮世繪の類。

【インテリゲンティア】Intelligentia (佛) ① 智識階級、その階級に屬する人々のこと ② 識者、ものしり。

【インテリクト】Intellect (英) 智能、才智、知識、又智者。

【イントリット】Interest (英) ① 興味、興趣、趣味 ② 同情、仁心、關心 ③ 同類、黨輩、仲間 ④ 掛争、掛けあひ ⑤ 損得、利害 ⑥ 利子、利息。

【インド】ウインドに同じ。

【イントラランス】Intolerance (英) 異説を極端に排斥すること、寛容することの出來ぬこと、固陋、頑迷。

【イントロダクション】Introduction (英) 正しくはイントロダクションと發音する ① 序言、緒論 轉じて音楽の序曲 ② 紹介、ひき合せ ③ 手引、初歩

【インナー・ライフ】Inner life (英) 内面生活を見よ。

【インノセント】Innocent (英) 罪のない、子供らしい、又純潔な。

【インパスト】Impasto (伊) 畫法の一、繪具とカンヴァスの面を盛り上げて感じの上に高低をあらはすもの。

【インヴァネス】Inverness (英) 一般にはインヴァと略稱する、短い海軍マントに裾をつけたやうな外套のこと。

【インハルト】Inhalt (獨) 目次又は内容。

【インペリアルイズム】Imperialism (英) 帝國主義を見よ。

【インフィールド】Infield (英) 野球用語、ホーム・ベースと他の三壘とを結んだ線の區域のこと、内野ナイン。

【インフルエンザ】Influenza (英) 流行性感冒、又流行性の氣管支炎。

【インフルエンス】Influence (英) ① 感化、教化 ② 勢力、又は影響。

【インプレッシヴ】Impressive (英) 五官によつて

受けた刺激を心に銘すること、印象的。

【インプレッショニズム】Impressionism (英) 印象

主義と譯する、その項を見よ。

【インプレッション】Impression (英) ①感銘、印

象 ②印刷、印刻 ③意見。

【韻文】キリン 韻をふんだ文章の意であるが普通に

は文章の性質より離れて已に詩となつたものを

いふ、即ち詩歌のこと。

【インポシブル】Impossible (英) 成し得ない、不

可能。

【インモータリティー】Immortality (英) 不朽、

不滅、永久に生存すること。

【インモータル】Immortal (英) 朽ちない、滅せ

ざる。

【インモラル】Immoral (英) 道にはづれた、

徳徳の、非人道な、又みだらな。

【インモラルリティー】Immorality (英) 悖徳、破倫、

又猥褻。

【引用】イニョウ 文章を作り或は演説をする時等に故

事や諺や古今東西の名文等を取り來つて利用す

ること。

ウ (ウイ・ウキ・ウオ・ウヲ)

【ウイスキー】Whisky (英) ウイスキーは米國讀

みの音で英國讀みならばホイスキーである。麥

芽が又は大麥を原料として造つた強烈芳醇な

酒で三十五パーセントのアルコールを含んで

居る。

【ウィッセンシヤフト】Wissenschaft (獨) 學問、

學術、又科學。

【ウィット】Wit (英) しやれ、頓智、機智。

【ウィル】Will (英) 意志、又遺言狀。

【ウインク】Wink (英) 翼、演劇用語としては洋

式舞臺の左右の書割カキツのこと。

【ウインド・カード】Window-card (英) 店頭を飾

るに用ゐる紙票。

【ウインド・グラス】Window-glass (英) 窓硝子。

【ウインド・トリミング】Window-trimming (英)

店頭廣告、又店頭裝飾。

【ウーマン】Woman (英) 婦人の汎稱、特に處女

でない女、成人した女。

【ウール】Wool (英) 羊毛。

【ウール・キャップ】Wool-cap (英) 羊毛を原料と

して造つた帽子の總稱。

【ウーロン茶】ウーロン茶 臺灣の特産で綠茶 ロクチャと紅茶

ロクチャとの味を有する茶、烏龍茶。

【ウエイター】Waiter (英) 給仕人、我が國では女

の給仕人をいふ。

【ウエイトレス】Waitress (英) 女給仕人、女給。

【ウエイティング・ルーム】Waiting-room 應接室、

又待合室。

【ウエーファー】Wafer (英) アイスクリーム等に

あしらつて食べる煎餅様の洋菓子。

ウ (ウイ・ウキ・ウオ・ウヲ)

【ウェディング・リング】Wedding-ring 結婚用の

指輪。

【ウェルカム】Welcome (英) ①歡待、歡迎 ②會

釋、挨拶。

【ウォーキング・キャピタル】Walking-capital (英)

運轉資金。

【ワーキング・パート】Working part (英) 正し

くはワーキングと發音する、舞臺で物を言はず

無言のままにて物を運んだり歩いたりする役の

俳優、俗にいふ「馬の脚」に相當する。

【ウォーク】Walk (英) ①歩行、散歩、ブラッキ

②遊歩場、又歩道。

【ワーク】Work (英) ①仕事、労働 ②製作、細

工、又著作。

【ワーク・スペース】Work-space (英) 新聞・雜

誌等で殊更に冗長な記事を書いて一段なり二段

なりを埋草すること。

【ウォーター・クロゼット】Water-closet (英) ①化

粧室、便所【ウエルカム・クラブ (Welcome-club)】は頭字を取つて便所のことを上品にもちつて言ふ語、即ち歓迎俱樂部。

【ウォーター・シート】Water-shute (英) 急勾配を滑走し水面に落下して突進する舟遊戯。

【ウォーター・プレーン】Water-plane (英) 水面から上昇して水面に降下する飛行機の總稱、水上飛行機。

【ウイム・カラー】Warm-colour (英) 寒色の對、火焰や太陽の聯想より生じた色調で赤・黄・橙等の如く温い感じを與へる色の總稱。

【ウヰカ】Vodka (露) もろこしを原料として釀造した強烈な酒で露西亞人が好んで愛飲する。

【ウオッシュ・スタンド】Wash-stand (英) 化粧室、便所、手洗臺。

【ウォッチ】Watch (英) 懐中時計。

【ウォッチ・カメラ】Watch-camera (英) ウォッチをかたどつて作つた寫眞機、時計型寫眞機。

【ワルツ】Waltz (英) 舞踏の一、二人が一組となつて靜かに踊るもの、又それに用ゐる音曲。

【穿つてる】ウガツテル 眞實によく適合せることを言ひ現はす語、即ちよく當てはまつて居る意。

【浮船渠】ウキドク 常に海上に浮べられた箱様のドックで大部隊の艦隊が根據地を離れて出動する時その艦列に加へて行動を共にする。

【浮燈臺】ウキトウダイ 海上に舟を浮かせて燈火装置を施したもので一時的を主とする場合又は地理や費用等の關係から簡便を旨とすべき時等に設けられる。

【浮砲臺】ウキハウダイ 海上に浮かんだ船様の砲臺で臨時的又は地理的關係上簡便を主とする場合に設置される。

【右傾】ウケイ 左傾の對、左傾を見よ。

【鶴匠】ウレヤウ 岐阜縣の一名物で長良川の鶴飼ウレヤウに鶴を操縦して香魚アユを獲らしめる人。

【薄野呂】ウスノロ 俗語の野呂間ノロマに近い人、薄ぼん

やりした人、薄馬鹿。

【薄張吞屋】ウスバリノミヤ 投機界の俗語で米穀取引所に出没する一種の賭博業者のこと。

【馬方煙草】ウマカタタバコ 官製煙草のゴールデン・バットの包紙が田舎じみて居て且つ労働階級の人々が好んで喫するところからこの稱がある。

【ウマタ・ケーキ】(俗語)ウマタは「駄」の字を分解してあてた語、「ケーキ」は英語の菓子、即ち駄菓子のことを上品にしゃれて言つた語。

【ウラー】Hurrad (露) 露語で「萬歳」のこと、英語ではフラーと發音する。

【裏金】イラケン 日本畫で繪絹の裏から金箔を當てたものゝ稱、裏箔ウラハクともいつて居る。

【裏罪】ウラガイ 印刷用語、亞鉛製の罫線の裏のこ

と、その表は細いが裏罪は太い線になつて居る。

【裏箔】ウラハク 裏金に同じ。

【裏崩し】ウラクツレ Bander (英) の譯 取引所用語、株の賣買に際し初め高く賣出して人を之になら

はしめ相場の下落した頃を見て買戻し其の差額を利得するやり方。

【賣立】ウリタテ 舊家や富豪等が所藏の書畫・骨董品を一時に賣出すことで大正六年に伊達家がそれ等の物を公賣してから初つた語。

【運動】ウンドウ ①健康をはかる目的にて行ふ動作 ②現代語としては周旋又は奔走等の意。

【運動費】ウンドウヒ ①周旋又は奔走に對して支給する手當 ②選舉運動の爲めに要する費用。

【運動屋】ウンドウヤ ①選舉の時に候補者の手足となつて專業的に出歩く人 ②賣込などの時歩合を貰つて周旋奔走する人。

【運命論】ウンメイロン 宿命論を見よ。

【運命論者】ウンメイロンシヤ 人間生活のすべてを舉げて運命の左右するまゝに任せ何の努力をも用ゐずして醉生夢死する人々。

【運輸局】ウンユキョク 鐵道七局の一で主として國有鐵道の運輸に關する事務をつかさどる。

エ (エ・イ・エ)

【エール】Yell (英) 叫ぶ、ほえる、又かぐ叫びこえ、歓聲、又聲援。

【映畫界】エイグラカイ 活動寫眞に關係せる社會、活壇。

【映畫藝術】エイグラゲイヅツ 文藝寫眞又は藝術的映畫等といふ語によつて現はされる如く活動寫眞を一種の藝術として言ふに用ゐる語。

【映畫劇】エイグラゲキ フェルムに映寫する爲めに行ふ芝居、サイレント・プレイ。

【映畫幕】エイグラマク 活動寫眞をうつす布、スクリーン。

【永劫】エイガフ 永遠と同意であるが永劫の方が強く響く、佛説の「劫」は天人が羽衣ハゴロモで大岩を撫でへらしながら遂に無に歸せしめる間のこと、又人壽八萬四千歳から百年毎に一歳を減じて人壽五十歳ならしめることを一減・人壽十歳から

更らに百年毎に一歳を加へ人壽八萬四千歳に達することを一増といひその一増一減を小劫・二十増減を中劫・四中劫を一大劫とするのも佛説である。

【映寫幕】エイシマク スクリーンに同じ。

【衛生局】エイセイキョク 内務省六局の一で傳染病・地方病の豫防・公衆衛生・檢疫停船・藥劑師の業務・藥品賣買の取締・衛生會・地方病院等に關することをつかさどる。

【衛生試験所】エイセイシケンシヨ 東京と大阪にあつて衛生上諸種の試験を行ふところて一般民衆の申込にも應じる。

【衛生美人】セイセイビジン 顔はみにくいが身體が丈夫な女といふ意で醜婦のことを皮肉に言つた語。

【衛生屋】エイセイヤ 便所掃除人、又其人夫の派出所。

【エーター】ウエイターに同じ。

【營養不良】エイキウワリヤウ 身體の活動力を維持するに必要な食物の成分の缺乏から起る各種の惡

結果のこと。

【エイリアル・ポスト】Aerial-post (英) 航空機によつて輸送する郵便物、空中郵便。

【エア】Air (英) 空氣、空中、大氣。

【エア・カレント】Air-Current (英) 大氣の流動、氣流。

【エア・シック】Air-sick (英) 航海者が舟に酔ふが如く飛行家が空中に酔ふ病氣のこと、空中病。

【エア・ホール】Air-hole (英) 動植物體にある空氣の出入口、氣孔キョウ。

【エア・ポケット】Air-pocket (英) ①エア・ホールに同じ②氣流の静止して居る所。

【エーテル】Ether (獨) ①太陽が光輝を發するのをエーテルの作用といふが如くすべて光熱發散の精氣のこと②化學上では藥品の名。

【エーヴェイター】Aviator (英) 飛行家、エイヴェーションは飛行術。

【エー・ビー・シー】A. B. C. (英) ①英語の母字中の最初の三字で平假名の最初の三字を「いろは」といふの類②轉じて英語の初歩。

【エーヤ・クラフト】Air-Craft (英) 空中の船の意、航空機。

【エイル】Ale (英) 英國で醸造されるビールの特稱でアルコール分が普通のビールより少し強く六乃至八パーセントを含んで居る。

【エーロイスト】Aerolist (英) 航空家、飛行家、鳥人。

【エーロプレーン】Aeroplane (英) 飛行機。

【エキス】Ex (英) 食物の主要素、轉じてうまみ。

【エクスカージョン・トレイン】Excursion-train (英) 名所案内の列車、回遊列車。

【エキスクラメーション・マーク】Exclamationmark (英) 英語の感嘆標(！)のこと。

【エキストラ】Extra (英) 映畫劇の野外撮映の時に使用する大勢の臨時雇人のことて一定の技術

はなく単に群衆となつて現はれる人々。

【エキス光線】*Extraneous X-ray* (英) レントゲンを見よ。

【エキスプレス・ツレイン】*Express-train* (英) 急行列車。

【エキスプレッションニスム】*Expressionism* (英) 表現に重きを置いて形式に拘泥しない文藝上の主義、表現主義。

【エキスプレッション】*Expression* (英) 自己の思想・感情を作品又は言行に現はすこと、表現、表情。

【エキソティック】*Exotic* (英) エキゾティックとも

読む①外來、舶來、外國的②異國的、異國情調的。

【エクスペンシヴ】*Expensive* (英) 價の高い冗費的な、入費がかさむ。

【エクスタジー】*Ecstasy* (英) 甚だ満足な心意の状態、満悦、法悦、狂喜、忘我。

【エクセントリック】*Eccentric* (英) 流儀の變つた、偏僻な、又その如き人。

【エゴイステック】*Egotistic* (英) 自分勝手な、自

己中心の、己惚れの強い、又自愛の。

【エゴイスト】*Egoist* (英) エゴイステックな人。

【エゴイズム】*Egoism* (英) ①自己本位、自我主義②利己心、自利心。

【エゴ】*Ego* (英) 自己、自我。

【エゴティズム】*Egotism* (英) 自尊、己惚れ、自慢、又自愛。

【エコノミー】*Economy* (英) 經濟、徳用、節約、又家政。

【エコノミックス】*Economies* (英) 理財學、經濟學、又家政學。

【エコノミスト】*Economist* (英) 經濟家、理財學者、又儉約な人。

【エデュケーション・ウィーク】*Education week* (英) エデュケーション・ウィークともいふ、教育週間と譯す、其項を見よ。

【エス】(俗語) ①獨逸語のシェーン (*Schön*) の頭字を取つて美人の隠語としたもの②學生間で登

校しながら自分の嫌ひな學科の時間を休むと、

エスケープの略。

【エス・エム・ユー】*S. M. U.* (英) サラリー・メン

ス・ユニオンを見よ。

【エス・オー・エス】*S. O. S.* (英) 英語の *Save-or-our-soul* の略、無線電信用の危険信號、即ち航海中の船舶が難船した時救助を求める時の信號。

【エスカレーター】*Escalator* (英) 電氣の應用により自動的に轉換する階段式の廊下、自動階段。

【エスケープ】*Escape* (英) エスと略稱する、逃げる意、登校して居る學生が自分の嫌ひな學科時間を休むこと。

【エスペラント】*Esperanto* (世) 世界各國人が

共通に使用して用を辨ずることを目的としポーランドのザメンホフが創案した語、國際語と譯する人もあるが英語・佛語の如く外交又は取引上國際的に用ゐられる語もあるから之と區別する爲め世界語と譯されて居る。

【エゼント】*Agent* (英) 正しくはエイジェンツと發音する①支配人、代理人、又事務官②代理店。

【エターナル】*Eternal* (英) 永久の、不滅の、絶えることなき。

【エターニティー】*Eternity* (英) 永劫に同じ。

【エックス】*X* (英) 疑問の意であるが直接に「疑問」と訓むこともある。

【エックス・エックス・エックス】*X. X. X.* キッス・キッス・キッス (*Kiss, Kiss, Kiss*) のしゃれ「あなたにキッスを送ります、何度も、何度も」の意味の通信で米國製のフィルムに手紙の場面が映つた時などにその文章の終りによく書いてあるのを見る如く手紙の終りに書く文字。

【エッセー】*Essay* (英) 一題一文の論說、小論文。

【エッセンシャル・パート】*Essential-part* (英) 論點、要旨、眼目。

【エッセンス】*Essence* (英) ①要素、精素、神髓

②液素、香水、香油、又香氣。

【エッチ・シー】H. C. オール・コンクールの略。
 【エッチング】Etching (英) 日本在來の木版に類する一般的な印刷で銅版面に一種の蠟を塗り表面に書畫を描き硝酸中でその部分を腐蝕せしめて作つた凹版で印刷したもの。
 【エディター】Editor (英) ①記者、編輯人、又主筆、編輯長 ②女記者、女編輯長の場合にはエディトress (Editress) である。
 【エナジー】Energy (英) エネルギーと同じ。
 【エナメル】Enamel (英) ①上等ペンキの一種 ②珐瑯^{エナメル}又はその細工。
 【イニグマ】Enigma (英) 隱語、又なぞ。
 【エネルギー】Energie (獨) ①熱・音・光・電氣・磁氣の諸現象の基調となる運動と位置のエネルギーの總稱、即ち仕事を爲し得る力 ②人の精力、根氣。
 【エヴァー・シャープ】Ever-sharp (英) 常に尖つて居る、5つまでも鋭い等の意、例へばエヴァー・

シャープ・ペンシルと言へばいつも先が尖つて居て少々亂暴に使つても折れない鉛筆といふことになる。
 【エヴィエーター】Aviator (英) ①飛行家、飛行士、又飛行機 ②女流飛行家の場合にはエヴィエイトレス (Aviatress) 又はレディー・エヴィエーター。
 【エビキリアニズム】Epiureanism (英) ギリシヤの哲人エビキリアリスの創唱した哲學上の主義で快樂を求めるところを以て人生の最大幸福なりと爲す學說、快樂主義。
 【エピソード】Episode (英) 挿話ソックと譯する、談話と談話又は文章と文章との間にその本筋には關係せずして添へられた興味ある小談柄。
 【エビック】Epic (英) 叙事詩と同じ、その項を見よ。
 【繪ビラ】Epostaster と同じ、其項を見よ。
 【エフィシエンシー】Efficiency (英) 能率と譯す

る、その項を見よ。
 【エフェクティヴ】Effective (英) きゝめがある、效力がある、又有力な。
 【エフェクト】Effect (英) ①效顯、效果、影響、又有力 ②教化、感化、又實行。
 【エフの七七】F. T. (英) 寫眞機のレンズの孔の幅の廣さを示す語でレンズの直徑がそれを結ぶ焦點距離の百分の七十七の場合をFの77と言ふのである、その如く百分の八十はFの80、百分の六十はFの60である、レンズはFの数字の少ないものほど明るいことになるが現今ではFの77が最も多く用ゐられて居る。
 【エプリル・フール】April fool (英) 四月馬鹿^{エプリル・フール}と譯す、その項を見よ。
 【エプロン】Apron (英) 前掛、胸から膝下までの白前垂。
 【エヴォリュージョニズム】Evolutionism (英) 進化論を見よ。

【エポック】Epoch (英) 時代、時期、紀元。
 【エポック・メイキング】Epoch-making (英) 新时期を劃す、新紀元を開く、更始一新せる。
 【エボナイト】Ebonite (英) 硫黄を混じた一種の硬ゴムで蓄音機のレコード・萬年筆の軸等を造り又電氣の絶緣體ゼラエナイトとして用ゐる。
 【エ・マン】A Man (英) マンと同じ、その項を見よ。
 【エム】M. 金錢のこと、英語のMoneyの頭字をとつて言ふ。
 【エム・シー】M. C. (英) M. C. C. の略、エジプト産の金口兩切煙草。
 【エム・パター】M. Pathe (佛) 梅屋庄吉商會の通稱、歐米の活壇^{エム・パター}として勢力を占めて居る佛蘭西のパター・フレール活動寫眞會社に對抗の梅屋のムメが歐文 Mume であるところから其頭字を取り東洋のパターを以て任じやうとしたよりに起つた語で佛蘭西のパター・フレール會社が

鶏のマークを用ゐて居る如くMバッテリーでは鶏のマークを用ゐてゐる、一時は日活に合同した後Mカシー商會と稱したこともある。

【エメラルド】Emerald (英) 緑色で光澤に富む寶石の一種。

【エメラルド・グリーン】Emerald-green (英) 寶石エメラルドの様な明るい緑色、綠青。

【エモーション】Emotion (英) 情調又は感情を見よ。

【エア・シップ】Air-ship (英) エア・シップとも發音する、飛行船のこと。

【エア・マン】Air-man (英) 飛行家、鳥人。

【エテルリズム】Wektelism (英) 「戀によつて生きる」主義、ゲーテの傑作「若きエテルのなやみ」の主人公エテルから出た語。

【エレガント】Elegant (英) 上品な、優雅な、又すゐな。

【エレクトロミーター】Electrometer (英) 電氣計

量器。

【エレベーター】Elevator (英) 電氣仕掛によつて人又は荷物等を昇降運搬する装置で階段を用ゐない昇降機と譯する。

【エレメンタリズム】Elementalism (英) 物事の根本的形體丈を認める美術上の一新派、元素派のこと、後期印象派の如きも物體の根本的要素線を研究して其解釋を簡約にする點から見てこの元素派の發展したものと見ることが出来る。

【エレメント】Element (英) 要素、元素、原子、又成分。

【エロー・ジャーナリズム】正しくはイエロー・ジャーナリズムと發音する、市井の雑事を眼目とし花柳界の情事や警察事故や人心攻撃的な記事を報導する遣り口、悪徳新聞調又は黄色新聞調と同意である。

【エロ・バス】Aero-bus (英) 乗客輸送用の乗合飛行機。

【エロキューション】Elocution (英) 雄辯術、演説術。

【エロクエント】Eloquent (英) 辯才に富んだ、雄辯な。

【エロティック】Erotic (英) ①戀愛的、色情的 ②戀愛學、戀愛詩。

【エロトメニア】Erotomania (英) いろいろきちがひ、色情狂。

【演歌屋】エンカヤ 夜店などに出て職業的にヴァイオリンを弾いて居る人、艶歌師ともいふ。

【遠近法】エンクナッフ 距離の遠近によつて物事の上になる種々の變化と其表現法を研究すること。

【エンクレーヴィング】Engraving (英) 版畫の一、金屬板にちりばめたもの、又それを鏤めること、

【エンゲージ】Engage (英) Engagement から出た動詞を名詞化した語で婚約・約束又は従事・職務等の意。

【エンゲージメントリング】Engagement-ring (英)

Engagement-ring とも言ふ、婚約のしるしとして男女間に取交す指輪で左の無名指にさすことになつて居る、日本流にすれば結婚と同意。

【エンサイクロペディア】Encyclopedia (英) 百科全書。

【エンジニア】Engineer (英) 工學に關係ある人々、技師、機關手、運轉手、シヴィル・エンジニア (Civil engineer) となると土木技師のこと。

【遠寫】エンシヤ 活動寫眞に於て場面を廣く寫したフィルム、又遠方までも寫すこと。

【エンジョイ】Enjoy (英) 是認する、楽しむ、遊ぶ、エンジョイメント (Enjoyment) は享樂、悅樂、玩賞。

【エンジン】Engine (英) 機關車、蒸氣機關、發動機。

【厭人主義】エンシニヤ 英語のミサンスロピー (Misanthropy) 厭世主義のうち特に人間を嫌ふ傾向、即ち獨居を楽しむ態度。

【厭世主義】エニセイシユキ 人間界をすべて苦惱に充たされた世界としてこゝに生存することを厭ひ呪ふ主義。

【圓タク】エン(俗語)一圓タクシーの意、一圓の辻待自動車、料金一圓にて一定の區域を行く自動車。

【エンフ、サイズ】Emphasize(英) 力を用ゐる、力説する、強調する、語氣を強くする。

【圓ボン】エン 一圓の本、定價一圓均一の叢書の意、昭和二年の春「日本文學全集」が一冊一圓の割で刊行して以來この種の書物の續出を來し一時は圓本洪水の觀を呈した。

【エンブレース】Embrace(英) ①抱き合ひ、抱擁 ②くちづけ、接吻。

【エンヴェロープ・システム】Envelope-system(英) 執務法の一で袋を用ゐて仕分する方法、包装整理法。

【エンヴェロープ】Envelope(英) ①つみみ、封筒 ②飛行船や輕氣球の瓦斯囊、氣囊。

【閻魔帳】エンマチャウ ①閻魔の處で生前に於ける亡者マウジヤの罪惡を書上げる帳簿 ②學生間では教師の持つ採點帳のことを言つて居る。

【エンライツンメント】Enlightenment(英) 教化、開發、又文化。

【演繹法】エンキヤフ Deduction(英)の譯 理論學上の考へ方の様式で歸納法の對、即ち一つの明らかな原理から推して特殊の事實又は法則を引出し來る判斷法である。

オ (ヲ)

【オアシス】Oasis(英) 沙漠サバクの中にあつて隊商の休憩所となる一點の綠地ロクチ、轉じて困苦中の一慰安などをいふに用ゐる。

【追込標題】オヒコミヘウタイ 新聞の記事に於て記事と共に記事の標題とを別行にせず標題の下からすぐ記事を書きつけること。

【オイル】Oil(英) ①あぶら、油 ②美術界では油

繪の略。

【オイル・ヒーター】Oil heater(英) 油を燃料とするストーヴのこと。

【機轉】キチン 飛行機の宙返りの一様式で機體を急激に左右に轉ずること。

【横斷飛行】ヨウダンヒコウ 海洋・山河等を飛びこえて長距離の飛行をすること。

【大入袋】オホイリフクロ 大入満員の謝禮又は内祝のしるしとして各種の興行が觀客に出す景品。

【大寫し】オホウツシ 活動寫眞の映畫に於て特に觀客の注意を惹く目的で人物の顔・手紙の文面等を畫面一ぱいにうつし出すもの。

【オーク】Oak(英) 熱帯産の常綠樹の一で材は家具・船舶用として用ゐられる。

【オーク】ウオークの略、その項を見よ。

【皇子傳育官】オウジフイクワン 宮内大臣の指揮を受け皇子が未成年の間その傳育をつかさどる官名。

【オークション】Auction(英) せりうり、競賣。

【大組】オホムネ Making-up(英)の譯 新聞の印刷に際し一部分づゝ組んだ活字列を全部まとめて一頁の大きさに組上ること、又そのもの。

【大藏省證券】オホクラシヤウシヤウケン 國債の出納上一時的に歳入の不足を來した時發行するものと十二月以内の期日で發行し年度の歳入で支拂はれる短期國債。

【オーケー】O.K., Oked ウイルソンが米國大統領時代に公文書に署名して側に書き加へた記號で日本流に言へば「件の如し」又は「右之通相違無之」等の意味になる。

【オーケストラ】Orchestra(英) 多數の人が各種の樂器で合奏する音曲、又その場所・樂器・部員。式劇場で舞臺の眞下マシキにありオーケストラを奏する所。

【オーサー】Author(英) ①著述家、文學者 ②主唱者、發頭人。

【仰付葉書】オホセツケハガキ 代議士が上京した時一種の人氣取策として郷里の人々に向け「何か相當の御用があれば遠慮なく仰付けられたき」旨を書き送る葉書を冷笑した言葉。

【オーソドックス】Orthodox (英) 正統派セイトゥハと譯す。宗教では其教主の教義を最も正しく繼承して居る宗派のこと。學問では源流の正しい主義や學説を繼承して居るものをいふ。

【オーソリティー】Authority (英) ①權力、權威。②判決、先例。③大家、大學者。④官憲、當局。【御歌所】オウタドロ 宮中にあつて御製・御歌及び歌御會に關することをつかさどる。

【オーティエンス・ピクチャー】Audience picture (英) 人氣映畫又は大衆映畫と譯する、専門家は兎も角一般民衆に受けて大好評をよぶ映畫のこと。

【オート・カー】Auto-car (英) オート・バイと同じ。【オート・バイ】オート・バイスタイルの略。

【オートバイオグラフィ】Autobiography (英)

自傳、自叙傳。

【オート・バイスタイル】Auto-bicycle (英) モーター・バイシクル (Motor-bicycle) とモーター・サイクル (Motor-cycle) とをさぶ、自動車轉車のこと。

【オート・ミール】Oatmeal 洋食で朝飯などにミルクをかけて食ふ碾割蒸炊カラスムギムシタキのこと。

【オートモビル】Automobile (英) モーター・カー (Motor-car) とをさぶ、自動車のこと。

【オーヴァー・シューズ】Over-shoes (英) 外靴と譯する。①防濕・防寒の目的で靴の上にかぶせる外被。②雨天に用ゐるゴム靴。

【歐米局】オウマイキョク 外務省四局の一、歐米その他外交事務を掌る所で内部は三課に別れ第一課は露國に對する外交事務・第二課は露國以外の歐羅巴ヨロッパ並にその屬領に關する外交事務・第三課は南北アメリカに關する外交事務をつかさどる。

【オーヴァー・スウェーター】Over-sweater (英) ス

エイターは肌襦袢ハダジュバン又は汗襦袢、オーヴァー・スエイターとなるとスエイターの上に重ね着る意で洋服のチョッキの上に著る毛糸編のシヤツのこと、正しくはオウヴァー・チウエッターと發音する。

【オープン・ジュン】Aubepine (佛) 化粧品や香水等の基礎香料でヒヤシンスのやうな芳香を放つ。

【オープン・シー】Open-sea (英) 海洋の自由と譯する、其項を見よ。

【オープン・ハートッド】Open-hearted (英) 自己の思想・感情を率直に表明する意、有りのまゝなる、飾氣なき、率直にして親切な。

【オーライ】All right (英) オール・ライトの略。

【オール】Oar (英) 正しくはオーアと發音する、端艇用の槳子。

【オール・コンクール】Hors concours (佛) H・C と略記する、特別の權利により審査を経ずに美

術展覽會等に出品される作品の意、無審査出品。

【オール・スター・キャスト】All-star-cast (英) 人氣の中心となつて居る幹部俳優總出の出演、オールは全部、スターは花形役者、キャストは役割の意。

【オール・ド・œuvre】Hors d'œuvre (佛) 本物ホシモノの前の意、洋食で本皿・スープの前に出される軽い食物のこと。

【オール・ド・ミス】Old miss (英) 結婚せずして年を取つた女、老嬢、賣のこり、嫉捨山ヲバステキヤ。

【オール・バック】All-back (英) 髪を長く延し分けずに後へ梳き上げる髪風、初めアメリカで飛行家が飛行帽を被るに都合がよいので考へ出したものであるが大正七・八年以降は我國にも流行して青年紳士・藝術家などに歡迎された。

【オールマイティー・ダラー】Almighty dollar (英) Almighty God をもぢつた語で歐洲の批評家が米國人の拜金主義的な物質偏重主義を諷した言

葉、萬能の弗ド。

【オール・ライト】All right (英) 略してオーライと云ふ、宜しう、整つた、總て正しい等の意。

【オーロラ】Aurora (英) 極光キョククワウと譯する、地球の兩極に近い所で太陽の光線が重層せる雲霧の間を貫き美彩を放つて透射し來るもの、文學者は「東雲シノノの娘」などいひ希臘神話には「曉の女神」と出て居る。

【オカリナ】Ocarina (英) 元始的の樂器、半月形土製の小笛で哀音を發する。

【オキザリス】Oxalis (英) 球根類キウコンルキに屬する西洋花で寒中他の花のない時に咲き又初夏の花の不足な時に蕾を生ずるので廣く賞玩される

【オキシヘーラー】Oxihaler (英) 最近發明された醫療機械の一、酸素應用の呼吸器病治療機。

【オクシペサー】Oxyptor (英) (OXY) と (Pari thy) と (or) を合せた語、酸素應用呼吸器病治療機械。

【屋上庭園】ラジヤウライエン 洋式建築物等の最上階の屋根を庭園化したもの、英語の Roof-garden の譯。

【奥付】オクツケ 書物の最終につけて著者・發行者・印刷所・發行所名及び定價等を印刷した頁。

【お芝居美人】オシバキビロシ (俗語) 無闇に著飾つて芝居見物に出かける婦人を冷笑した語、帝劇美人なども言ふ。

【お下屋敷】オシメヤシキ 洋風にて歡迎俱樂部といふに對し古風にお下屋敷といつたもので何れも便所のことを滑稽味を含ませて上品にいふ語。

【オゾン】Ozone (英) 酸素を多量に含んだ氣體で呼吸器病患者には效驗が多い、海濱の空氣中に充滿して居る。

【お茶水式】オチャノミツシキ 東京高等師範の附屬であるお茶水女學校の生徒が快活で現代式な所から起つた語でその特色は貴族的と平民的とを折衷した點にある。

【乙種興行】オツシユコウギヤウ 警視廳令により十五歳以下の子供に觀覽せしめ得る活動寫眞。

【オッチ】ウオッチに同じ、其項を見よ。

【オナー・システム】Honour system (英) 試験の時監督者を置かず學生の自治良心に任せて答案を作製せしめる制度、無監視試験。

【オパール】Opal (英) 正しくはオーバルと發音する、蛋白石タンバクセキのこと。

【嬢捨山】ラバスタヤマ 東京の私立女子大學の學生に不美人や縁遠い者の多いことを諷してその大學のことを云ふ。

【オフィス】Office (英) ①任務、職責 ②事務所、店舗、役所。

【オフィス・デスク】Office-desk (英) 執務者のテーブル。

【オブザーヴェーション・カー】Observation-car (英) 列車の進行中乗客をして沿線の風景を觀望せしめるやうに装置した車臺、展望車。

【オプション】Option (英) 定期取引の一種で受渡前に當事者の一方が一定の打歩ウチを相手方に仕拂つて解約する特權を豫め得て置く誓約取引オプション取引といつて居る。

【オブジェクト】Object (英) ①目的、事物、目的物、②物象、對象、客觀。

【オフセット印刷】Offset printing (英) アメリカの一印刷職工が偶然の過失から發見したゴム印刷の一種で原畫をアルミ版から一旦ゴム版に離し (Off) てそれが更らに印刷用紙面に置かれる (Set) ところからこの名稱を附せられたものであるが原版からぢかに用紙に印刷するよりも色調が鮮麗なので多色版の印刷には理想的のものとして用ゐられる。

【オブラート】Oblate (獨) 澱粉を原料としてつくつた煎餅様のもので散薬を呑む時にこれに包んで用ゐる。

【オペラ】Opera (英) 音楽と歌舞とを混同した一

種の劇、樂劇ガクケキ。
【オペラ・グラス】 Opera Glass (英) 樂劇を観る時に用ゐる小型の双眼鏡。
【オペラ・バッグ】 Opera-bag (英) 婦人が外出の時提げて歩く小型の手提袋。
【オペリストク】 Obelisk (英) 方尖燈。
【歌劇】 オペラ 昔の女義太夫に肩入する男たちを「堂摺る」連中といった如く歌劇女優を追廻す不良少年の行爲をいふ語。
【オペレッタ】 Operetta (英) 歌劇カケキの中に散文的な科白セリフを交へるもの、即ちオペラの俗なもの。
【オミット】 Omit (英) 除外する、略する、無視する。
【オムレット】 Omelet (英) 正しくはオムレツトと發音する、西洋料理の名、佛蘭西語の Omelette から轉化した語で肉類を入れて巻いた半月形の卵焼。

【表罪】 オモテケイ 裏罪を見よ。
【親出】 オヤヂ 素人シロウトの娘が親の家を出て藝娼妓となること。
【オリヅ】 Olive (英) 橄欖樹といふ、地中海岸に特産する喬木の名、葉は平和の象徴として用ゐる果實からは油を採る。
【オリエンタル】 Oriental (英) 東洋の、東方の、又東洋人。
【オリエント】 Orient (英) ①オリエンタルと同じ ②又その名詞、即ち東洋、東方。
【オリオン】 Orion (英) 一般に三ツ星と言つて居る、希臘神話に出てゐる星で眞・善・美の象徴とされて居る。
【オリジナリティー】 Originality (英) 原泉、本原、又獨創。
【オリジナル】 Original (英) ①原物、原形、原料、オリゲナル香水は原料香水の意 ②本文、出所 ③創意ある、原始の、新機軸の。

【織物消費税】 オリモノセウヒゼイ 織物にはすべて其價格の百分の十の消費税が課せられて居て製造場・税關又は保管倉庫から織物を引取る時徴收せられることになつて居る。
【折畳み機】 フルタキキ Folder; Folding machine (英) レター・ペーパーを三折にする機械で一時間に五千通以上を折る能力を有して居る。
【オリンピック・ゲーム】 Olympic-game (英) ①古代希臘ギリシアで四年目毎に行つた大祭でジュピター神を祭るために種々の競技を行つたに始まる ②現今では國際的競技の意味に用ゐて居る。
【オルガニスム】 Organism (英) 有機體と譯する、そのを見よ。
【オルガン】 Organ (英) ①人體に於ける心臓・肺臟等の如く有機體に具する機能、機官 ②樂器の一種にオルガンといふのがあがるがオーガンと發音するのが正しい。
【オルツ】 ウォルツに同じ。

【オルトラマリン】 Ultramarine (英) 青色の顔料 ガニレットの一、紺青、群青。
【オレンジ】 Orange (英) ①柑橘類の名、橙、蜜柑 ②だい／＼色、橙黄色。
【温灸】 アンキウ 灸をすること、やいと。
【恩給局】 オンキョクキョク 内閣に屬し恩給を受ける権利の裁定・恩給に關する具申の裁決及び訴願其の支給・負擔等に關する事をつかさどる。
【恩給生活】 オンキョクセイカツ 恩給の收入だけで比較的のんきに生活すること、或は切つめて貧しく暮らすこと。
【恩恵日】 アンケイ Days of Grace (英) 手形の支拂に際し法律をもつて債務者の利益の爲めに支拂猶豫を與へた期日で我國では満期日共に三日間と規定されて居る。
【恩賜デー】 アンシ 祝祭日その他の紀念日に於て濟民救恤の目的を以て日用生活品の安價販賣の行はれる日。

【温床】ランシヤウ 木框で周圍をかこみ馬糞・塵埃・枯葉の類を堆積し化合熱を起さしめて植物の苗を速成に栽培する床地。

【温情主義】ランジヤウシユキ 人に對し強いて己の意志に従はしめず愛と親しみを以て臨むことと資本家が労働者に對する場合などに用ゐられる語。

【女運轉手】ランナウチンシユ 自動車や電車等に運轉手として勤める職業婦人のこと。

【女車掌】ランナシヤシヤウ 自動車や電車等の女の車掌、歐洲戦争當時英國に始まり我國では美濃電鐵に採用したのが始めてある。

【女ボーイ】ランナ 女の給仕人。

【オープン・エア・スクール】Open-air-school (英) 教室を持たない學校、即ちテント張りなどして教授する露天學校、家なき幼稚園など、稱するものこの例である。

カ

【カーキ色】Khaki (英) 色調の一、茶褐色、土色。
【ガーゼ】Gaze (獨) 外科手術用として用ゐる消毒した粗い木綿。

【ガーター勳章】Garter (英) 英國の最高勳章で星章を頸飾クビカザリとしたもの、我が金鷄勳章に相當する。

【カーテル】Cartel (佛) 英語のカルテールに同じ、其項を見よ。

【カーテン】Curtain (英) 左右に開くやうになつた窓掛、上下に開く窓掛はフライインド (blind) である。

【ガーデン】Garden (英) 正しくはガーデンと訓む、庭園、果樹園、菜園。

【ガーデン・スイティー】Garden city (英) 田園都市と譯する、其項を見よ。

【カーテン・レクチュア】Curtain-lecture (英) 寢間の中のことと、閨中の口説クセツ。

【カード】Card (英) 紙票、名刺、又歌留多。

【カード・ガール】Card girl (英) カードの取扱ひ又は其整理を受持つ女事務員。

【カード供養】クヤウ 字典を編纂する時使用済のカードを供養する意で知己を招いて宴を張りそれ等と、専ら西洋で行はれる、我國の針供養の類である。

【カード・ケース】Card-case (英) カードを組入れ置く函、又名刺入。

【カード・システム】Card system (英) カードを使用する執務法。

【カード・ボーイ】Card boy (英) カード系の少年事務員。

【カード・ボード】Card-board (英) カードに用ゐる用紙、紙票用紙。

【カード・ボックス】Card-box (英) ① カード抽出 ② カードを保存して置く函。

【カーネーション】Carnation (英) 石竹科セキナククラ

に屬する植物で俗に麝香撫子ジヤカウナデシコと言つて居る、詩趣に富み芳香を有するところから廣く愛玩される。

【カーネーション・ウェース】Carnation-wax (英) カーネーションの如き花梗の長い花を生ける花瓶
【カーネギー・メダル】Carnegy medal (英) 米國の富豪カーネギーが學界の功勞者に對して贈呈する記念章。

【カーバイド】Carbide (英) 木炭と石灰石との混合物を三千度の高熱で溶解した化合物で主としてアセチリン瓦斯の原料に使用される。

【カーヴ】Curve (英) ① うねり、曲線 ② 野球にてカーヴを描いて飛ばす投球のことをいふ。

【カーボン】Carbon (英) 炭素、又炭素線、炭素棒。

【カーボン・ペーパー】Carbon-paper (英) カーボンとも略稱する、複寫用紙の炭酸紙。
【ガール・ガイド】Girl-guide (英) 十一歳から十八歳までの少女を集めて精神教育その他の訓練

を行ふ團體、女子修養園。

【外務省留學生】グワイム・キヤウワウガクセイ 外務省書記生を養成する爲め十八歳から二十五歳の者で中學を卒業した者につき試験の上採用し三年間海外に留學せしめる制度となつて居る。

【カールテット】Charlette (英) 音楽にて四部合奏及びその合奏曲をいふ。

【懷疑】クワイギ ①神の存在を無意識に信ずることを得ない近代人の心持 ②哲學に對する信頼の去つた結果として起る不安・無理想、宇宙の眞相は人間の力では究めるとを得ずとし自己の存在の意義をも疑ふのが懷疑論クワイギロンの要諦である。

【海員審判所】カイケンシンパンシヨ 海員免狀を有する者がその職務を行ふに當つて事件を起した時審判する役所で高等と地方の二種に分れ高等は逓信省に、地方は東京・大阪・長崎・函館の四個所に設置されて居る。

【會計検査院】クワイケイケンサケン 政府の會計を検査す

る所で行政裁判所とひとしく政府とはなれて獨立し決算と出納の相異・歳出入其他の適法なりや否や等を検査し報告書をつくつて上奏すると同時に議會に提出することになつて居る。

【會計年度】クワイケイネンド 國又はその機關の會計の一ヶ年間のこと。我國では四月一日に始まり翌年の三月三十一日に終ることになつて居る。

【階級闘争】カイキフトウサウ 階級の對立より起る争ひ、たとへば労働者と資本家・貴族と平民との反目の如きである。

【改良事務所】カイリヤウジムシヨ 鐵道の改良に關する事務を取扱ふ所で東京・大阪・神戸の三個所に設けてある。

【外光派】グワイクワハ 繪畫・彫刻等の如く自然的な屋外の光線の下で作品をつくる藝術の一派。

【海國主義】カイコクシユギ Navalism (英) 海軍力の充實を圖り海洋に於て優占權を握らうとする主義

【碍子】ガイシ 電線を支へる臺、陶磁器・硝子等を

主なる材料とし電氣絶縁不導體で作られる。

【會社屋】クワイシヤ 財界の好況を呈して來た時に乘じ一獲萬金の金儲をする目的で無闇に種々様様の會社をこしらへ株式募集に奔走する人々。

【回数券】クワイスウケン 外國では家族券 (Family ticket) ともいつて居る、電車や汽車の回数乗車券のこと。

【カイゼリズム】Kaiserism (英) 鐵血政策を斷行した前獨逸皇帝カイゼル式の遣り口といふ意、即ち腕力をもつてやつ付ける流儀。

【カイゼル】Kaiser (獨) カイザーとも言ふ、普魯西プロシアのジュリアス・シーザー以來歴代羅馬皇帝の襲承する所のものであつたが後には獨逸皇帝にして羅馬法皇から王冠を受ける者の稱號となつた、歐洲戦争の大立物となつたカイザー・ウィルヘルムはこの最後の皇帝である。

【外的】グワイチキ 自然と社會とを合せた外界を意味する語、自己の外にありとの意。

【外電】グワイデン 外國電報の略、新聞社では赤電とも言つて居る。

【ガイド】Guide (英) ①教導者、案内者、指揮者 ②案内者をガイドといふのはガイド・ブック (Guide book) の略稱。

【カイネマトグラフ】Kinematograph (英) キネマを見よ。

【概念】ガイネン 心理學上の語、抽象的の觀念とも言へる、既に存在せる個々の物の觀念から一般的に共通の要素を抜き出して概括したものが概念である、例へば具體的な「羊」といふ個々の觀念からどの羊にも共通した性質を抽象して羊は斯様のものであるとの觀念を得た場合その觀念を概念といふのである。

【解放】カイハツ Emancipation (英) の譯 すべての束縛からのがれて自由となること、新らしい意味では「あけつ放し」といふことに用ゐられる、たとへば「開放された女」といふの類。

【外面描寫】グワイメンベウシヤ 内面描寫の對、人物の風采・態度其他外面にあらはれた日常生活等を描くこと。

【海洋の自由】カイヤウノジウ Open-sea (英) 私有財産捕獲廢止・戦時に於ける通商上の封鎖廢止・戦時禁制品の廢止等の如く戦時・平時の區別なく海洋を自由に公開して各國の利益吸收に放任すべしといふことで前米國大統領ウイルソンが歐洲戦争に鑑みて主唱した説。

【快樂主義】クワイラクシユキ Hedonism (英) 倫理説としては個人的もしくは公衆的の快樂を以て道德的價値の最高標準なりとする主義、通俗的の解釋としては肉體的の快樂を以て人生の目的とする主義。

【街路樹】ガイロジユ 都市を美裝すること、保健を目的として人道の左右に植ゑる樹木のこと。

【ガウン】Gown (英) ①裁判官・僧侶・教授などの制服 ②婦人の上衣。

【カウンター】Counter (英) ①會計係、計算をする人、②帳場、勘定臺 ③貨幣、又贋造紙幣。

【カウ・ボーイ】Cow-boy (英) アメリカ映畫によく出る米國西部の牧畜商人、天鵞絨ロードの服に鍔廣の帽子をかぶり腰に短銃を著け投縄を携へて馬に跨つて居る、牛童と譯する。

【家屋税】カラクゼイ 府縣税四種の一で家屋の所有者に對して賦課する税金であるが戸數割と對立し戸數割を課せられて居る家には家屋税は賦課しないことになつて居る。

【科學】クワガク 英語ではサイエンス (Science) 獨逸語ではウイセンシャット (Wissenschaft) 佛蘭西語ではシアンス (Science) である、實驗と推理によつて理論的に分類・組織せられた確實な知識の謂で自然科学・社會科學・精神科學・説明科學・規範科學等に區別されて居る。

【科學的】クワガクテキ 英語にてサイエンティフィック (Scientific) といふ、論理的な、秩序の正しい等

の意。

【科學的管理法】クワガクテキクワンリハフ 米國から始つたもので商工業の經營法を科學的に研究實施して能率の増進を圖らうとする新運動、英語にて Scien-tific-management。

【科學的的人生觀】クワガクテキジンセイカワン 昔の大宗教家や豫言者や哲人もまだ明確な解答を得ずして殘された人間の生産病死の問題を科學の力を以て解決せんとして試みた方面の人生觀。

【科學の破産】クワガククノハサン 科學の方則と組織とを以て宇宙の真相を究めようとしても哲學でもない科學の假説では到底宇宙問題や人生問題を解決することは不可能であるにも拘らず之を解決せんを試みることによつて科學自らがその無力を表明したといふ意で佛蘭西の批評家ブルヌチエールが始めて用ゐた語である。

【科學批評】クワガクヒヤウ 文藝上の作品に對し其作者の氣質・環境クワンキヤウ・生立ち・時代の背景など

を精査して科學的に批評する態度。

【科學萬能主義】クワガクバンノウシユキ 一切の眞理は科學の力によらなければ會得することは出来ないものとし人間の靈的方面を顧みなかつた主義。

【架空線】カクウセン 電氣鐵道でポールに送る電流を通ずる爲めに空中に張る線。

【閣議】カクギ 内閣總理大臣が國事を議する會議をいひ之れに定例閣議テイレイカクギと臨時閣議との二種がある。

【カクテール】カクテイル (英) コクテールの訛、ジンヤウイスキーの類に種々の薬味・芳香を加へ水で冷して供する快美な調合酒、到る所のカフェーで近代人の味覺をそよつて居る。

【角袖】カクツデ 刑事調査の別稱、常に制服をつけずして和服を著て居ることが多いところより言つた語。

【確認狀】カクニシヤウ 英語の Confirmation の譯商取引に於て電話で注文した後でもう一度文書を

以てたしかめる手紙のことをいふ。

【學費稼働者】ガクヒカセグイシヤ ①學費をかせいで自ら勉強する爲めに藝者となる者 ②兄弟又は情夫の爲めに學費をみつぐ目的で藝者となつた者。
【學理的管理法】ガクリナキクワンリハフ 科學的管理法に同じ。

【歌劇】カゲキ ①藝術味を帯んだダンス女優の演ずる一種の劇 ②日本では挑發的な下卑なダンス劇をいつて居る。

【過激派】クワゲキハ ①露國の革命以來用ゐられるやうになつた言葉で露西亞の過激派といへばレーニン一派のボリシュヰイズムのこと ②自己の利害に反した制度組織を急激に改革せんとする一派

【火災直通電話】クワサイチヨクワウデンワ 火事を發見した人が消防署へ通知する電話で通知せんとする者が電話交換手を出して單に「火事」と言ふと交換手は直ちに火災電話でその旨を消防署に通じ然る後通知者から町名を知らせることになつて

居る、公衆電話は無料で使用出来る。

【節窓】カザリマド ショー・ウインドに同じ。
【火事どろ】クワジドロ ①火事場のどきくきにまぎれて盗む泥棒 ②他人の不幸事や其他の混雜につけて込んでうまい汁を吸はんとする人間。

【カシミア】Cashmere (英) カシミア地方に産する山羊の毛で織つた織物。

【カステイラ】英語の Sponge cake、カステラの地名から起つたもので鶏卵・小麦粉・砂糖等を原料としてつくる菓子。

【ガス・マントル】Gas-mantle (英) 瓦斯燈の點火ロタンクワグチにつける網狀の器。

【ガス・メーター】Gas-meter (英) 瓦斯計量器。【霞ヶ關】カシミダケキ 我が外務省の異稱、その所在地が東京麹町區の霞ヶ關にある所からいふ。

【ガゼット】Gazette (佛) ①新報、新聞紙 ②官報。【家族温泉】カザクワンセン 一家族の者が他人を交へずして入浴するやうに設備した浴場で大阪の寶塚

温泉を初め其他の温泉にも設けられてあるが實際は家族づれて入浴する者よりも男女の淫樂場として利用せられる場合が多い。

【ガソリン】Gasoline (英) 揮發油の一種で主として發動機用の燃料として使用せられる。

【方階級】カタカイキフ 間借人・下宿人・食客・用心棒等の如く一家を構へず「何々方」と稱しなくては郵便物なども通ぜぬ人々。

【カストロフイー】Catastrophe (英) ①劇や小説等の最後の場面 ②人事の終局の場合に轉用する【カタール】Catarra (獨) 身體の疾患部レックツツに熱をもつて機能を失ふ病氣の名、炎症、加答兒と書く。

【カタログ】Catalogue (英) 音が同じく性質が相通ずるところから「型録」と書く、商品目録や營業目録のこと。

【畫壇】クワタン 美術殊に繪畫に關する全範圍。
【カチューシャ】①露國の文豪トルストイの傑作

「復活」の主人公となつて居る少女の名 ②カチューシャが儂い戀にあこがれて流轉したことから轉じてその種の少女を異稱する語。

【カチューシャの花】ライラックを見よ。
【喝!】カッ 禪僧の用語で言語に絶するといふ意。

【カツ】Cutlet (英) トンカツを見よ。
【活劇】クワツゲキ ①活動寫眞で飛行機やモーターボート等を用ゐて追撃する場面等を仕組んだ劇 ②組討ち、掴み合ひ。

【ガツシユ】Gonacht (佛) 主として圖案に用ゐる不透明の泥狀繪具デイヤウエノグ。

【活人畫】クワジンゲワ 史蹟を背景とし其時代の風習容姿等を思はしめる人物畫。

【カッター】Cutter (英) ①軍艦に搭載せる小艇、艦載小艇 ②截斷機。
【活壇】クワタン 活動寫眞に關係ある全範圍。
【カッティング】Cutting (英) ①カッターで物を截斷すること ②活動用語としてはフィルムの現像

後に不用の部分を取ることや其筋の検関係が治安風俗に害ありと認めて不良部を削除すると
【カッティング・シェイプ】 Cutting shape (英) 寫真用語、寫真を原版から印畫紙に焼付ける時種々の形の畫面をつくるために用ゐる切抜型のこと
 で主として赤のセルロイドで作られて居る。
【カット】 Cut (英) ①小さな木版の挿繪 ②凸版トッパン寫真版又は標題に屬する挿繪のこともいふ。
【活動口座】 クワッドウワウヂ 貯金其他の計理事務のうち特別に出入の頻繁な口座のこととカード式の記帳法では別に取扱ふ便法がある。
【カップ】 Cup (英) 陶器製飲器の總稱であるが日本では硝子製のものと言つて居る、硝子製の飲器はグラスといふのが正當である。
【カップル】 Couple (英) 一つがひ、一對、轉じて夫婦。
【活辯】 クワツベン ①活動寫眞の説明者、活動辯士の略 ②活辯式は野卑な藝人風のきざな男。

【活辯口入業】 クワツベンクタイレダフ 活動寫眞の辯士を周旋する口入業。
【活料】 クワツレツ 活動寫眞の觀覽料の略。
【カツレット】 Cutlet (英) 正しくはカツレットと發音する、西洋料理の一。
【過程】 クワタイ Process (英) の譯 物事が經過して行く時間又は形態。
【家庭手】 カタイシユ 女中を上品に呼んだ語。
【家庭小説】 カタイセウセツ 家族主義を基調とする我國の中流以上の家庭内に於ける葛藤を描寫した小説で明治三十五年頃から四十二年頃までに最も全盛を極めた。
【カテゴリー】 Category (英) 範圍、範疇、ジャンル。
【過渡期】 クワツキ Transition-period (英) の譯 舊態は廢れたが未だ新態が興らずして不安定の状態にある一時期をいふ。
【可能性】 カノウセイ Possibility (英) の譯 現在にては實現されて居ないが後日に至つて實現し得る

性質又はその傾向。

【靴商人】 カバンシヤウニン 見本と實物との異なる商品をもつて旅から旅へと渡り歩きまよかし物を賣付けて不正な利益を占める悪徳商人。
【靴屋】 カバンシヤ 醫療器を提靴サゲカバンなどに入れ花柳界を巡回して無免許で手術する齒醫者。
【カビネ】 Cabinet-photograph (英) ①繪葉書型の寫眞 ②四時四分と六時五分型の寫眞。
【カフェー】 Cafe (佛) 珈琲店であるが日本では小料理店や喫茶店のことを用ゐる佛蘭西では賣笑婦の出没する場所又は安直客待所のことをいふ。
【カフェー・フラワー】 カフェーの花、即ちそのカフェーで最も勢力あり又美しい花形の女給のこと。
【カフェー夜話】 カフェー・フラワーを中心とし媚と笑と酒との間に渦巻く若い男女のさげめきごと
【カフス】 Cuffs (英) 洋服のワイシャツの袖口のこととであるが硬いものと柔いものとに分つ時は前者はステイフ・カフスといひ後者はソフト・カ

【カフス・カパー】 洋服のワイシャツの袖口にかぶせる掩ひでセルロイド又はゴムで作つてある。
【カムフラージュ】 Camouflage (英) 保護色、カモフラージュ
 又は欺謀術等と譯する、歐洲戦争當時艦體や砲臺を雜草又は樹木色に塗つて敵の目をくらましたもの。
【カムパニール】 Campanile (英) 鐘塔、基督教寺院の鐘樓。
【カメオ】 Cameo (英) 精密な浮彫ワキボリを施した寶石。
【カメラ】 Camera (英) 本來は寫眞器の暗箱、轉じて寫眞機の總稱。
【カメラマン】 Camera-man (英) 撮影に特別の趣味を有し常に寫眞器を携へて諸物をうつし楽しむ人のこと。
【鴨川情調】 カモガハジヤウテウ 夢のやうに暮れて行く東山の夜景を背景とせる鴨川のせゝらぎを枕の下

に聞いて京都の夜の景色に酔ふといふ心持を現はした語。

【カラー】Collar (英) ①洋服のワイシャツに付ける襟 ②繪具、染料、又色、色調。

【カラット】Carat (英) 金計量の單位で純金を二十四カラットとして計算する。

【ガラリー】Gallery (英) ①廊下、棧敷 ②議會等の傍聴席、劇場の大向ふ ③畫室、又美術展覽會。

【カラリスト】Colourist (英) 作品に現はす色彩上の特色を第一とする畫家。

【カリアチード】Carvaid (英) 柱に使用せられる女の立像。

【カリカチュア】Caricature (英) 漫畫、諷刺畫、又諷刺。

【骨牌税】カルタゼイ 骨牌の製造所とその製造された骨牌にかゝる税金のこと。

【カルチア】Culture (英) ①文化、教化 ②教養、修養。

【カルトゥーン】Cartoons (英) 畫布や壁畫ヘキツの粉本として原紙に畫く下繪。

【カルテール】Kartell (獨) カールテルともいひ英米ではフリール又はコンゲンションともいふ、同種類の生産業を營む企業家が共通の市場を占領して個人同志の競争を避ける目的から業務の一部又は數部を聯合せしめる經濟同盟の總稱である。

【カルトン】Carton (英) ①商店にて釣錢を入れて客に出す盆 ②繪模様、又畫紙挟み。

【ガレージ】Garage (英) 自動車置場、轉じて自動車屋。

【カレッジ】College (英) カレッジは米國訛りて本來はコレッジである、その項を見よ。

【カレドニアン】Caledonian (英) 舞踏の一種、スコットランドから始つたもの。

【カレンダー】Calendar (英) 毎年の年度變りにその年の年中行事や營業要目等を記載した裝飾

と廣告とを兼ねた曆。

【カロリー】Calory (英) 熱量の單位、一カロリーは一グラムの水を攝氏寒暖計の零度から一度だけ上げる熱量で人間一人が一日の生活に要する熱量は約二千カロリーである。

【簡易食堂】カニシヨクダウ 自治食堂に同じ。

【簡易生活】カニセイクワツ 生活に對する動搖と不安を避ける爲めすべての様式を簡易ならしめしかも營養不良に陥らざるやうにする生活。

【簡易保險】カニホケン 大正五年大隈内閣によつて開始された小口保險で全國の郵便局で取扱ふはれる。

【官海游泳術】クワンカイウエイジュツ 官吏生活に於て上官によく下僚にもよく巧みに其間を泳ぎ廻つてよい地位を占めんとするやり方。

【感覺】カンカク Sensation (英) の譯 覺官に受けた外部の刺激が腦の中樞神經に感じて起る精神現象のことをいふ、心意現象中最も簡單な要素である。

る。

【感覺的描寫】カンカクテキベウシヤ 感覺の中特に觸覺・味覺・嗅覺の方面を主として描寫する手法。

【環境】クワンキヤウ 佛蘭西語にてミリュウ (Milieu) と讀む ①周圍又は外界 ②彫刻では奥行又は深さ。

【官業收入】クワンゲフシウウニフ 政府に於て經營する營業によつて收納する利益金のこと 我國の專賣事業・鐵道事業・郵便電話事業等による收益金をいふ。

【觀光團】クワンクワウダン 特別の任務や目的を帯びず單に或る地方の風物を見物する爲めに出かける人々の一團。

【觀察】クワンサツ 自然の觀視でなく有意的に事物を見ること。

【監察官】カンサツクワン 内務・逓信・鐵道の三省に置かれた職名で大臣が監督する地方官衙の事務を監察して之を大臣に報告する任務をおんで居る。

【感じ】カンジ 事物に對して自發的に起る一種の心

持、又外部の刺激によつて起る特殊の心持。
 【感受性】カセンチャウ・Sensibility (英) の譯 事物に對する感覺の鋭鈍。
 【感情】カセンチャウ・Feelings (英) 譯 心理學上の語で心の快不快、即ち事物に對する心持。
 【鑑賞】カセンチャウ 英語の Appreciation、物の美醜眞價を識別して味ふこと。
 【間税】カセンゼイ 國税二十一種のうちその目的物に直接課税せず動きによつて課する税金のこととて酒税・醬油税・砂糖・織物の消費税等の類である。
 【觀照】クワンセウ 或る現象を自然の状態にある自己の心を以てあるがまゝに觀て能くその意味を味ふこと、觀察や鑑賞よりも意味が深い。
 【管船局】クワンセンキョク 遞信省に屬し道路標識・航路・船舶・海員・水運及び保護海事會社の監督等の事務をつかさどる。
 【感情教育】カセンジャウクワイク 道徳的又は美的情操を發達せしめることを目的とし被教育者の本能・感

情に壓迫を加へず自由にのばしめる教育。
 【緩衝地帯】クワンシヨウウチタイ Buffer territory)とも言ふ、國と國・場所と場所等の間にあつて相互の衝突を緩和する部分。
 【感傷的】カセンチャウチヤ Sentimental (英) の譯 物事に感じ易く涙もろい傾向又は其の心持。
 【鑑賞批評】カセンチャウヒン 文藝批評の一種式で一定せる標準によつて作品を批判するのでなく作品内容や作者の著眼點等を深く鑑賞して批評すること、作物本位の批判。
 【感觸】カセンチャウ 外部よりの刺激にふれること
 心持、氣分、手ざはり。
 【間送電報】カセンソウデンバウ 夜の十時以後に受け夜中に打電して翌朝配達する一音信五十字以下の電報、郵便局員が閑散な時間に取扱ふからこの名がある。
 【感想文】カセンサウブン 隨筆と同義、見るがまゝ・聞くがまゝ・思ふがまゝに書きつける文章。

【雜誌】クワンジマ 雑誌や新聞で季節や時事に關係なく餘白のある場合いつにても掲げ得られる腐らぬ記事のこと、雜誌食料品が時と所とを問はずいつにても食べられることに因んで言つた語。
 【雜誌議員】クワンジマギヤク 脱黨又は秘密の漏洩を防止する等の政策より同政黨の陣笠議員を一時同一場所に引とめ置くよりいひ出した語。
 【雜誌藝者】クワンジマゲイシヤ 著音機のこと。
 【カナナ】Canna Var (英) 夏から秋にかけて咲く蘭科の西洋花で畫家や文士などに愛好される。
 【カニンク】Cunning (英) 本來はチーディング (Cunning) である、ペテン、狡猾、欺偽行爲、學生が試験の時にする不正行爲。
 【觀念】クワンネン 心理學上の語で一度心に經驗したものが心に残りいつにても思ひ浮べられる心象
 【觀念小説】クワンネンセウセツ 道徳的又は功利的の意義を含んだ説でたとへば弱者を助けるといふ一つの觀念を内容として作つたとすればその小説を

觀念小説といふのである。
 【官能】クワンノウ 動物が生活を營む爲めの諸器官のはたらきのことであるが後には感覺をも同義に用ゐることになつた。
 【官能の交錯】クワンノウノカウサク 近代人によくある病的現象の一つで惡魔派の詩人のもつやうな變態性の現象のこと。
 【乾盃】カンバイ 洋式の宴會等でシャンパン・グラスを眼よりも少しく高く上げて引くと共に飲みほすこと。
 【カンヴァス】Canvas (英) 油繪用の布、畫布。
 【カンフル】Camphor (英) 正しくはキャンファーと發音する、薬品の名、又樟腦。
 【ガンボージ】Gamboge (英) 黄色の繪具で變色する缺點はあるが名稱は廣く行はれて居る。
 【感味】カネミ 感じと味ひといふ言葉が強めていつた語。
 【監督】カントク 新語としては活動寫眞劇の撮影を

監督する人のことで脚本の選定・配役(ハイタク)の人選・俳優の指揮・撮影場所の調査決定等すべての全権を握つて居る。

【顔面筋肉】ガシオンキニク 顔面に現はれた筋の伸縮のことで表情を批評する時盛んに用ゐられる語である。

キ (キヤ・キユ・キヨ)

【偽善】モラク 偽善に對する新語、本性は善でありながら言語や動作に悪人らしい點のあること、又殊更らに悪を衒ふこと。

【生糸検査所】キイトケンサシヨ 商工省に屬し生糸に關する各種の検査・研究・調査及び整理法の傳習・倉庫の管理等をつかさどる役所で横濱市に設けてある。

【議員の特權】ギキントクケン 貴・衆兩院議員は議會開會中は現行犯又は外患・内亂に關する罪を犯したる場合以外には院の許諾なくして逮捕せられ

ることなく又議院内の發言は院外に於ては責任を負はぬ特權がある。

【官中顧問官】キウウウコンクワン 宮内大臣が職責を行ふに當りその諮問に應じ又は臨時に大臣の命令を命けて省務を輔佐する勅任名譽官。

【キー】Key (英) ①鍵、樂器の鍵 ②調子、又解説、手引。

【キー・ノート】Key-note (英) ①基調、本調子、主調音 ②或る思想の中心となるべき思想。

【驚異の復活】キヤイノフクカツ Renaissance of wong-oh (英) の譯 近代の文藝が自然及び人間の生命を餘りに無視して居ることに對して英國の作家ワッタ・ダントンが叫んだ語、即ち昔のロマンテイズムは超時代や超自然的のものに驚いた

が近代人も亦不思議なものや美しいものや或は又深い悲哀や渴仰等の精神的に或るワンダーに驚く氣分を復活せしめたとの意。

【キール】Kierl (英) 船の龍骨(リウコウ)、又船のこと。

【牛耳る】ウワジル 「牛耳を執る」を略して動詞化した語、威張る、首領となる、中心となる。

【木を入れる】キライレル ①芝居で舞臺の閉閉・廻り舞臺の時等に拍子木を入れること ②轉じて時局が一轉する場合に假用する。

【議會主義】ギクワイシユキ 普通選舉を行つて労働者にも參政權を與へんとする主張や議員中に労働黨を組織し政黨の勢力によつて労働者の地位確立を圖らんとすること等の傾向をいふ。

【機械的】キカイテキ Mechanical (英) の譯 ①機械のやうに一定の法則に支配されて何の變化もなく次から次へと間斷なく續けて行く傾向 ②不變化的、物理的等の別語。

【機械的世界觀】キカイテキセカイクワン 地上の諸現象はすべて一定の法則によつて物理學的に變化するのみでそれ以上に靈的とか生命力とかはなしとする説。

【幾何級數】キカキフスウ 一・二・四・八といふやうに倍

數をもつて増し進む割合。

【機關紙】キクワンシ 或る團體又は結社等に於て自派の爲めに有利な言論を發表する爲めに發行する新聞・雜誌の類。

【戯曲】ギキョク 脚本のうち特に藝術的價値に富めるもの。

【菊版】キクバン 書物の型の稱で長さ三尺一寸・幅二尺一寸の洋紙の全紙を十六に切つた大きさのもの、十六片の菊版になぞらへて菊版といふ。

【菊半截】キクハンサイ 菊版を横に二分した大きさの型

【喜劇】キゲキ 滑稽な筋書をもつた劇。

【危険思想】キケンシヤウ ①自意を貫く爲めには暴力に訴へるも可なりとする思想 ②社會主義・無政府主義等の革命的思想。

【危険人物】キケンジンブツ ①危険思想を抱く人、又はその疑ある人々 ②異性に對して無闇に關係をつ

けんとする人。

特殊の苦心をすること。

【共済組合】キョウサイクミフヒ 死亡・災害・其他所定の事項に對して組合員が相互の救済を目的とする團體の稱で鐵道省現業員共済組合・通信官署現業員共済組合の如きの類である。

【驚死】キヤウシ 國民新聞が山憲(横濱の富豪鈴木辨藏を殺害した元農商務省の技師山田憲三のこと)事件の記事を書く時「驚死すべき空前の大事件」といふ標題を掲げてから流行しだした語で驚天動地といふ時の形容語。

【キ印】キジルシ 氣のふれた人といふ意、露骨にいへばきちがひである。

【擬人法】ギジンハフ 修辭上の語で人間以外の動植物や天象までも人間同様の有情物とみなし各その持てる思想・感情によつて變化活動するやうに描き出す譬喩法ヒユハフ。

【寄生聽】カセイチャウ 寄生蟲をもちつた新俗語、自分の家にラザオはなくとも隣家になれば手間も

入費も要せずして思ふ存分に聴くことが出来るといふ意。

【ギター】Guitar (英) 西洋樂器の一、六絃琴。

【着たきり雀】カタキリスズメ、いつも一枚看板の同じ著物を著てゐることを「舌切雀」になぞらへて言つた語。

【楔状突破】ケイジャウトツバ ①軍用語で楔形の陣をつくつて敵陣へ突進すること ②轉じて勢ひするどく突入することの形容語。

【キッス】Kiss (英) ①接吻 ②撞球タマツキでは一度觸れて分れた球が再び觸れ合ふこと。

【喫茶店】キッサテン 珈琲店の一種であるが主として綠茶ロクチャや紅茶を飲ますところ。

【切手別納郵便】キツテベツナフイウビン 郵便物に一々切手を貼付する手数を省き所要の切手の合計金額だけの切手を買つて郵便局に納めて配達を託する郵便物、但し同文の物百通以上を出す時に限り取扱ふ。

【キッド】Kid (英) 山羊皮キヤヒをなめした優良の皮で多く靴などにつくられる。

【喫雷】キツライ 水雷を喰ふといふ意で艦船が敵の水雷にぶつかかることをいふ、歐洲戰爭當時に出來た語。

【歸納法】キナフハフ 演繹法エンゲキハフの對、或る特殊な事實から普遍的な原理を引出し來る考へ方の様式。

【キネオランプ】Cineolampa (英) 同一の景色を見せながら點景と背景と光線の變化を利用して其景色中に雨後の風趣や晴天の月星やたそがれの美觀などを織り込む装置。

【キネト・カメラ】Kineto-camera (英) 活動寫眞を撮影する機械。

【キネトフォン】Kinetophone (英) 活動寫眞と著音機とを一つの機械に仕組んだもの、發聲活動寫眞。

【キネマ】Kinema (英) キネマトグラフ (Kinematograph) の略、活動寫眞のこと。

【キネマ・カラー】Kinema-colour (英) 三原色の光學を應用し映畫とシヤターの工夫によつて著色によらず各種の色調を表す活動寫眞、天然色活動寫眞。

【キネマ・ショー】Kinema-show (英) 活動寫眞館

【キネマ・ドラマ】Kinema-drama (英) 劇を仕組んだ活動寫眞、活動寫眞劇。

【キネマ・ニュース】Kinema-news (英) 平生の出來事を直ちに映畫するもの、活動寫眞畫報、時事活動寫眞、動く新聞。

【キネマ・ファン】Kinema-fan (英) 活動寫眞にうきみを饗す人々、映畫狂。

【騎馬巡查】キバジュンサ 馬に乗つて大都市の交通類繁な場所に立ち危険防止にとめる巡查。

【規範科學】キハンクワガク 法律學・倫理學等の類。

【氣分】キブン Mood (英) の譯 情緒又は情調の動きのうち何とも形容しがたい特殊の感情。

【氣分劇】キブンゲキ 或る一つの観念を以て一貫した劇でなく舞臺の上で特殊の氣分を浮動せしめることを目的とするもの。

【氣分風景畫】キブンフウケイダウ 従來の風景畫の如く單に風景の忠實なる寫生に留らず作者の主觀を交へて氣分を表はす風景畫。

【詭辯】キベン 不條理な論據をさも眞實らしくこじつけた理窟。

【キホーテイツク】 諷刺小説の「ドン・キホーテ」から出た語で道化役者のおどけた人間をいふ語

【客我】カクガ Objective ego (英) 自己觀察を行ふ場合觀察の立場にある自己より觀察される立場にある自己をさしていふ。

【客觀】カククワン Object (英) 主觀の對、知るものに對して知られるものゝこと、即ち自分以外のもの、但し自己を觀察する時は觀察される立場にある自己は客觀である。

用・機關將校以下の事務及び教育に關する事項をつかさどる。

【逆光線】ギャククワウセン 正面から来る光線、即ち見る方から来る光線。

【脚色】キヤクシヨク 劇や小説に於て種々様々の人物や事件を效果ある結構に仕組むこと。

【逆轉】ギャクテン 機首を上に向けて後ろに轉ずる宙返飛行の様式。

【脚本】キヤクホン 芝居の臺本、劇。

【客本主義】キヤクホンシユギ 東京の松坂屋呉服店が宣傳に用ゐてから流行しだした語、お客本位の主義といふ意。

【キヤステインダ・ヴオウト】 Casting-Vote (英) 二大政黨の間に立つて議決を動かす投票、決裁投票。

【キヤタストローフ】 カタストローフに同じ。

【キヤスト】キャスト (英) オール・スター・キャストの略、役割ヤクワツのこと。

【キヤッシュ】Cash (英) 現金、げんなま。

【機關局】キクワンキョク 海軍七局の一で各種機關の使

【キヤッシュ・レジスター】 Cash-register (英) 金銭出納自動登録器のこと、數字を表記した鈕を押し

てハンドルを回轉すると所要の金額を印刷した紙片と現金收納函が繰出されて計算せられる仕組になつて居る。

【キヤッチ・フレーズ】 Catch-phrase (英) 廣告文や手紙の最初に讀者の注意を喚起する爲めに出す誇張的な警句のこと。

【キヤッチ・ボール】 Catch ball (英) 遊戯の一、球なげ。

【キヤッチャー】 Catcher (英) 野球でホームの後方に立ち投手の投球を捕へる役。

【キヤッチ・ワード】 Catch-word (英) 讀者の注意を集める爲めに置かれる語句。

【キヤピタリスト】 Capitalist (英) ①資本主、資本家 ②資本集中論者、資本主義尊重論者。

【キヤピタル】 Capital (英) ①もとで、資本金 ②歐文の花文字、又洋風建物の柱頭かざり。

【キヤピネ】 カピネに同じ。

【キヤビン】 Cabin (英) ①船室、客室 ②長官室、船長室 ③寢室、祕密室。

【キヤプテン】 Captain (英) ①船長、艦長 ②陸軍の大尉、海軍の大佐 ③運動競技の主將。

【キヤラクター】 Character (英) 人格、人品、特性。

【キヤラメル】 Caramel (葡) 飴菓子的一種、カルメル、カルメラ。

【キヤロスクル】 Chiaroscuro (伊) 明暗の構圖。

【キヤンピング】 Camping (英) 軍隊の野營、露營の如く陣營を張る時テントを張つて寢食すると、即ちキャンピング生活のこと。

【救急薬】 キョウキヤク 簡単な醫療器械と薬品とを入れた不時の傷害に對し應急の手當を施す目的にて常備するふくろ、東京市では通行人の爲めに各交番に備へて居る。

【九州アルプス】 キョウシュウ アルプス 九州の南部に蜿蜒する祖母山・九重山一帯の山脈高原、アルプスの項を

参照せよ。

【鳩信】キウシン 傳書鳩を使用して通信すること。近頃の新聞によく見受ける文字である。

【救世軍】キウセイグン Salvation Army (英) の譯。英國のブリス大將が創設した軍隊式の基督教團體で讚美歌の代りに軍歌をうたひ主として社會政策及び風教の改善事業に力を用ひて居る。

【義勇杖】ギユウチャウ 少年團員が携帯する金剛杖に似た棒。

【キュラソー】Curacao (佛) 五色の酒に加へられる。高色の酒で初め蘭領印度ラリヤウインドのキュラソ一島で造られたからこの名がある。

【キニューロー】Cupid (英) キューピッドに同じ。

【キニューリズム】Cubism (英) 佛蘭西の美術界にて一勢力を占めて居る三角立體畫法。

【キューピッド】Cupid (英) 希臘神話ギリシア神話に現はされた愛の神ジュピターとヴィナスとの子で其の携へて居る矢を胸に射入れた人は戀を知る

といふ傳説がある。

【教育週間】ケウイクシウカン 全國民がその國家の爲めに擧つて教育に關することを考へ且つ實行する週間で一九二三年の夏米國大統領クーリッヂが教書を發して之を行はしめたことに始まる。

【狭軌】ケフキ 廣軌クワウキの對、我國で行はれて居る三呎三吋の軌道を有する鐵道のこと。

【共產主義】キョウサンシユギ Communism (英) の譯

私有財産制及び階級制度を全廢し富の分配を始め社會生活のすべての點にわたつて各人を絶對平等たらしめんとする主義で社會主義と異なる所は後者が富の分配に際して各人勞働の分量に従ふことを認めるに反し共產主義は絶對平等である點にある。

【行政裁判】ギョウセイサイバン 行政官の違法處分に對してその處分を受けた人民が取消又は中止を請求する裁判。

【共同生活】キョウドウセイクワツ ① 共通の利益を目的と

して二人以上の者が共同して生活すること。結婚の目的なくして男女が共同の生活を營むと、轉じて自由結婚の代名詞として用ゐる。

【共同戦線】キョウドウセンセン 大勢が共同して散兵線を張つて進む形容を現はす爲めに戦線の語を用ひた文字で一つの組合がその主義・主張を貫くために組合員の小さな個人利害を放棄し一致團結して活社會に突入する意。

【共同便所】キョウドウベンジョ ① 公衆の爲めに市街の辻などに設けてある便所。② 誰彼の差別なく受入れるところから賣春婦の隠語として用ゐる。

【郷土藝術】キョウトウゲイジュツ ハイマート・クンスト Heimat kunst (獨) の譯

従來の藝術に對し十九世紀末に獨逸に起つた運動で地方の田園を主題とした健全な作品によつて地方色を現はさんとする藝術。② 外國の藝術に對し自國の傳統・歴史・國土等を主題とした作品。【郷土文藝】キョウトウブンゲイ 郷土藝術のうち特に地方

の言語・句調等を丸出しに描かれた作品のこと。【郷土癖】キョウトウヘキ 罪のない國自慢や禮法にかなはぬ田舎風などのこと。

【強迫觀念】キョウハククワンネン ① 或る一つの觀念が起つた時必ずそのことを實行せずには居られぬ如き場合その觀念のことを言ふ。② 殺人罪を犯した人がその時の光景を心に浮べて日夜忘れぬ如き場合の觀念。

【共鳴】キョウメイ ① 物理學上數個の發音體が共に相等的しい振動數の音波をを受けて鳴りはじめる現象。② 同感又は賛成の強度なることを現はすに用ゐる語。

【享樂主義】キョウラクシユギ 倫理上の快樂主義・文藝上の耽美派タンビハと同意で快樂を求め追ふて樂しむ主義又それを以て人生の目的とする主義。

【今日は帝劇明日は三越】ケフハタイゲキスハミツコシ 三越吳服店が宣傳文に使つた言句であるが後には有産階級の人々が享樂的の月日を送ることを諷す

る語となつた。

【極右傾思想】ゴクウケイシサウ 右傾を見よ。

【極左傾思想】ゴクサクエイシサウ 左傾を見よ。

【曲線美】キョクセンビ 直線美の對、裸體美ラタイビと同
意で婦人の肉線の美をいふ語。

【虚業家】キョゲウカ 實業家に對して生じた語、實業
界の好況期に際し實力もなくして無暗に泡沫會
社を設立し實業家を氣取つて得意がる人々。

【機密費】キミツヒ 各省の支出中性質も使途も共に
公表せぬ費用、必要な經費であるが秘密裡に使
用されるからこの名が附せられて居る。

【去勢】キョセイ ①性質を柔順にし且つ肉を増す目
的で幼時に於て家畜や家禽の睾丸をぬき去るこ
と ②女らしい男や不決斷な人物を形容する時に
用ゐる。

【虚無思想】キョムシサウ ①哲學上ではあらゆる存在
を否定し萬有の眞相は空であると看做す思想 ②
政治上では現在の社會制度・組織は人類本來の

生活を誤るものなりとして否定する主張。

【虚無主義】キョムシユキ Nihilism (英)の譯 ①傳説
や慣習を始めあらゆる現今の社會制度を破壊し
て自由意志の命ずるまゝの生活に還らんとする
政治上の主義 ②哲學上では外界に存在せる一切
を否定する唯心論の一傾向。

【切賣】キリウリ ①ハムや牛肉を切賣りする如くお
ぼざつばに物を切つて販賣すること ②醜業婦の
賣春行爲や學者の内職的掛持教授などにもいふ
【起立電車】キリツデンシャ 車内の座席を取除き全部の
乗客が釣革にぶらさがるやうに出來た電車で混
雑を省くこと、輸送力を増大することを目的と
して案出されたもの。

【切抜通信社】キリキツツウシンシャ Press-clipping (英)
の譯 毎月規定の通信手數料を徴收し讀者より
の要求によつて其望むところの教育問題とか經
済問題とかの記事を諸方の新聞・雜誌等の記事
から切抜いて配達する通信事業。

【キルク草履】キルクの臺に簾表トウオモテをつ
けた草履。

【ギルト・トップ】Gilt-top (英) 天金を見よ。

【ギルティン】Guillotine (佛) 斷頭機、首斬臺、
動詞化して首斬ることや解雇することを「ギロ
ティーンする」ともいふ。

【斤】キン ①目方の單位で一斤は百六十匁 ②大阪の
西洋紙(三尺一寸に二尺一寸)一レン(五百枚)の
目方を表はす語。

【禁煙パイプ】キンエン 紙巻煙草型等に作り中に薄荷
ハッカ其他の芳香液にしたした綿を填めたパイプ
で禁煙實行者が煙草を喫はぬことによつて感ず
る無聊を忘れんが爲めに用ゐる。

【緊急勅令】キンキフチョウレイ 法律はすべて議會の決議
を経た上御裁可を仰いで始めて實施せられるの
であるが議會の閉會中緊急に法律をつくる必要
のある場合には憲法の規定する條件により政府
は自己の責任を以て法律に代る勅令を發布する

ことが出来る、而して之は次の議會に提出する
ことを要しもし議會が承認しなければそのまゝ
消滅してしまふ。

【キング】King (英) ①王、王様 ②トランプ札の
王様、又將棋の王將。

【銀行局】ギンカウキョウ 大藏四局の一で銀行・信託・無
盡ムジン・産業組合・倉庫・信用組合・證券割賦販
賣・紙幣類似證券等に關する事務をつかさどる。

【金口】キンクチ ①舶來煙草の吸口に金箔のついた
アルマ・M・U等の煙草のこと、轉じてエジプ
ト煙草や高級煙草の別名となつて居る ②洋酒で
もキング・ジョージやジョンベッグ等の如く瓶の
口に金の貼紙のしてあるものを金口と稱へる。

【近寫】キンシヤ 極めて狭い場面を近くから撮影し
た活動寫眞のこと。
【近代思想】キンダイシサウ 自由平等の思想や個人主義
的の思想や自然主義の思想や進んで強烈な刺激
の爲め懷疑の念に囚はれた思想等の如く十八世

紀の中葉以後西歐人を支配した思想の總稱。
【近代人】キンドアイゼン 近代思想の感化を受けた人々のこと。

【近電】キンデン 最近に受取つた電報の意で主として外國電報の場合にいふ。

【銀時計】ギンドケイ 帝國大學の優等卒業生の代名詞 大正七年以前まではそれ等の卒業生が恩賜の銀時計を授けられたことから出た語で「銀時計組」などの語もある。

【金鍋】キンナベ 東京淺草の牛肉屋「今半」が宣傳用として用ゐて居る純金の鍋で一定の使用料を支拂へば見張人附で使用することが出来る。

【筋肉労働者】キンニクラウドワシヤ 労働を精神労働と筋肉労働との二つに区分した爲め生じた語で肉體を使用する純労働者のこと。

【金肥】キヒヒ 天然肥料のことを手間肥テマヒと稱することに対し過磷酸石灰 クワリンサンセキクワイ・窒素・硫酸アンモニア石灰等を人造肥料と稱する、金

肥は人造肥料のこと。
【銀ブラ】ギン 東京銀座の街上をぶらつくことであるがブラといふ語は都市的裝置にて飾りつけた熱鬧の場所を散歩する趣味や氣分を現はす語として「伊勢ブラ」「心ブラ」等諸方に於て用ゐられて居る。

【禁欲主義】キンヨクシユイキ Asesticism (英)の譯 感覺的方面からの欲望を不淨なるものとして悉く禁遏せんとする主義。

【金モール】キン 金モールの胸章をつけることから參謀官の代名詞として用ゐる。

ク (クイ・クオ)

【クイーン】クイーン (英) 女王、皇后、又トランプ札の女王、蜂の女王。

【寓意小説】グワイセウセツ 道徳上の教訓を寫した小説 お伽噺の類。

【空間的藝術】クワカンテキゲイユツ 音樂の類を時間的藝

術にといふに對し建築・繪畫・彫刻の如く空間を占有する藝術のこと。

【空氣】クワキ Atmosphere (英)の譯 ①宇宙を包む全空氣、雰圍氣、轉じて或物を包む氣分 ②會談・集會の時の部屋の内の氣分。

【空氣草履】クワキザウリ 護謨ゴムの草履に踏心地をよくする爲め空氣を充す裝置をしたもの。

【空想】クワサウ 實現し得ないことを彼此と頭の中に描くこと。

【偶像破壊】グワキウハクワイ 英語のアイコノクラズム (Iconclasm)の譯、神の姿なりとして人間が作った形象を崇拜することや更らに下つて蛇や狐や石や木などを一種の靈物として崇拜することは全然無意義なることであるとしてそれ等を葬り去る意。

【空中郵便】クウチュウウイピン 航空機によつて輸送する郵便物。
【空中滑走】クウチュウクワツウ 飛行機がその飛行中に

滑走の形で地上を飛ぶこと。

【空中病】クウチュウヒヤウ エヤシツクを見よ。

【クーデター】クワヂュウヒヤウ Coup d'etat (佛) 私権・私利を濫用して政治上専斷の行爲をなすこと、果斷政治・斷行政治等と譯する。

【クーポーン】クワポン (英) 返券ともいふ、廣告の反響をためす一法として用ゐられるもので新聞・雜誌等の廣告の一隅にその券を切抜いて送るものに對して割引すべき意味の文句を刷込んだもの。

【空雷】クワライ 水雷・地雷等の對、航空機から落下する爆彈のこと。

【苦力】クワリ ①支那の筋肉労働者 ②植民地などに稼ぎして働く人。

【クォーテーション】クワウテイション Quotation (英) ①引用句、引用文 ②時價、相場、相場表。
【クオーテーション・マーク】クワウテイション Mark (英) 引用句の印で日本では「ヤ」を使ふが歐文で

【草繪】クサエ コマ繪の一種で主として毛筆で描いたもの。

【具象的】グシャウチキ 具體的に同じ。

【具象美】グシャウビ 抽象美の對、各個の官能的形體美のこと、Concrete Beauty (英) の譯。

【具體的】グタイチキ Concrete (英) の譯で抽象的の對、即ち事物の性質・美醜等を有形のものによつて表現すること。

【口番】クチバン 演劇用語、俳優や狂言方の方へ出入する劇場の裏入口。

【クック】Cook (英) コックともいふ、板前、料理番、賄方。

【クッション】Cushion (英) 羽蒲團、又枕、椅子褥等の寢具。

【首になる】クビ 俗語、免職のこと、首きられて其職業上の自己の生命を失ふ意。

【組合せ化粧品】クミハセキシャウゼウ 一通りの化粧品を

一つの箱に入れて進物用につくつたものと。
【組合せ文房具】クミハセキベンパウ 色彩や形状の美しい種々の文具類を適宜に組合せて箱入としたもので主として進物用として用ゐられる。

【組合せ本箱】クワハセキホンバコ 小片の板を何枚も組合せて作り自由自在に取はづしの出来る本箱。

【クライシス】Crisis (英) 危険に迫つた意、假ば財界逼迫の際や事變の時等に用ゐる語、危機。

【クライマックス】Climax (英) ①物事の最高點、それより上には出られぬ點②修辭學上では同一の語法を重ねて次第に文意を強めて行く法。

【グラウンド】Ground (英) 遊戯場、運動場。

【鞍替】カラガヘ ①自分の馬から降りて他人の馬に乗替へること②藝娼妓・酌婦などが現在の勤め場所を替へて他に轉ずること、巢替ともいふ。

【クラシック】Classic (英) 文藝上の作品が一つの權威となつて永久性を持つに至つたもの、古典。

【クラシシズム】Classicism (英) 尙古や擬古を主

とする主義、古典主義。

【クラス】Class (英) 組、級、階級、學級。

【グラス】Glass (英) ①硝子のこと②西洋料理では飲器のこと。

【クラス・メイト】Class-mate (英) 同窓者、同級生。

【グラフ】Graph (英) 記録のこと、文字・寫眞・繪畫等でニュースを報道するのがグラフであるが現今では寫眞新聞・時事畫報等の意味に用ゐられる。

【クラブ】Club (英) ①トランプのクローヴァー(其項参照)を描いた札②ゴルフのボールを打つ杖。

【グリン・コミック】Graph-comic (英) 寫眞畫法と譯する、人物を寫眞に取る時撮影技術を種々に利用して高い鼻を一層高く見せたり大きい頭を一層大きくうつしたりして特徴を誇大し同時に諷刺の氣分を現したものをいふ。

【俱樂部】クラブ Club (英) のあて字、集會、娛樂場、交遊所。

【グローブ】Glove (英) 俗にグローヴといふ①拳闘で競技者の用ゐる手袋②野球で守備者が捕球用に用ゐる皮の手袋。

【クラリオン】Clarion (英) ①大喇叭の一種②先驅者、誘導者等の意味にも用ゐる。

【クラリネット】Clarinet (英) 高い音を出す西洋豎笛の一種。

【内蔵頭】クラフカミ 帝室の御財産會計一切のことを掌る職名。

【内蔵寮】クラフレウ 宮内省の一部局で帝室の御會計に關する一切の事務をつかさどる所。

【クランク・スピード】Crank speed (英) クランクは乙字形に曲つたハンドルのこと、映畫用語で回轉速度と譯する、回轉速度の遅速は活動寫眞の撮影の上に大なる影響を及ぼす。

【グランド・スタンド】Grand-stand (英) ①競馬

場の正面の一段高い所に設けられた貴賓室、又一般に之に類する正面観覧席⑤集會所・祝賀場等にて一番よい席。

【クリアー】Clear (英) 冷明な、透徹した、物に通じて明かな。

【クリーニング】Cleaning (英) 洗濯屋の看板によく書かれた語で乾燥洗濯の意。

【クリーム】Cream (英) ①牛乳から製したバター②一種③精製された煉油の一種、化粧品に何クレームとあるのは之である。

【クリーム色】Cream (英) 淡黄色の明るみを帯びたもの。

【グリーン・ルーム】Green-room (英) ①緑室②芝居の樂屋ガクヤのこと。

【クリーヤリング・セール】Clearing-sale (英) 商人がその所持する商品全部の轉換方法として年に一兩度捨賣りをすること、店拂ひ、たなおろし、贅文ばらひ。

【グリーン・ハウス】Green-house (英) 温室と譯する。

【クリエーション】Creation (英) ①自己の創意によつて製作すること、又そのもの、創作、創造、創作物②又萬有の意味もある、宇宙間の森羅萬象をさす。

【クリエーター】Creator (英) 天地を創造した神、造物主、又設定者。

【クリエイト】Create (英) 始めて造り出す、創造する。

【グリーコゲン】Gecorgen (英) 蠅に含まれた特殊成分で精力を増し結核菌クワカクセンを撲殺する作用がある。

【クリスチャン】Christian (英) キリスト教の信者をいふ。

【クリスマス】Christmas (英) キリストの誕生紀念日、實際に於て基督の誕生日は西曆紀元前四年の二月中とのみで日は不明であるが紀元三四

世紀の頃十二月二十五日と假に定めたのが後世に至つて基督教國は何れもその日を以て紀念祝とすることになつた。

【クリスマス・カード】Christmas-Card (英) クリスマス當日に贈物とするカード。

【クリスマス・カロール】Christmas-carol (英) クリスマスに歌ふ讚美歌。

【クリスマス・クリスチャン】Christmas Christian (英) クリスマス・プレゼントを貰ふことを目的としてクリスマス近くになつてから俄かに教會に通ふ人をひやかして言ふ。

【クリスマス・ツリー】Christmas-tree (美) クリスマスの夜の裝飾のことで當夜は室内に常盤木をたて楕には紅白の蠟燭をつけ子供等に與へるため菓子や人形の類をもつるす。

【クリスマス・プレゼント】Christmas-present (英) 祝意を表するためクリスマス當日に用ゐる贈答品。

【クリップ】Clip (英) ①萬年筆どめ②紙綴器。

【クリティーク】Critique (佛) 批判、又批判的。

【クリティシズム】Criticism (英) 鑑定、鑑賞、評論

【クリティック】Critic (英) 批評家、又評論。

【クリフトメニア】Kleptomania (英) 店先で商品

を盗む泥棒、萬引。

【クリムゾン・レーキ】Crimson-lake (英) 濃紅色

【グルーブ】Group (英) 黨類、仲間、一味の者。

【グルーミー】Gloomy (英) 暗い、うつとしい、

陰鬱な。

【クルテュル】Kultur (獨) 英語のカルテュアに同

じ、其項を見よ。

【クレア・ヴォイアンス】Clairvoyance (英) 千里眼に同じ、又千里眼の營業。

【クレオソート】Kreosot (英) 殺菌消毒剤の一種

【グレート・デパートメント・マネー・ジャーナル】Great department managers sale (英) 係

長の賣出し、主任者からの大安賣り。

【グレート・デターミネーション・セール】(Great determination sale (英)) 大勉強賣出し。

【グレート・テン・バセント・ディスカウント・セール】(Great ten percent discount sale (英)) 十パーセント引賣出し、即ち一割引大賣出し。

【クレプ】(Crepe (佛)) 正しくはクレイプ又はクレープと發音する、縮緬、縮類。

【クレープペーパー】(Crepe (佛) と Paper (英)) 即ち佛蘭西語の縮類に英語の紙とを糺ぎ加へた語で日本では縮緬紙(リソングラ)といつて居る、洋食に使ふナブキンに用ゐる又近頃ではクレープ人形などにつくる。

【愚連隊】(ダレンタイ) ①街上をうるつき廻つて暴行や不正行爲を働く不良少年・少女の團體 ②退勤後勤め先から一筋に帰宅せず途中で道草を食ひながら彷徨き廻る勤人の一隊。

【クローク・ルーム】(CLOCK ROOM (英)) 外套を預ける室の意味が擴大された語でホテルや劇場で携帶品を預る所。

【クロス】(CLOTH (英)) 布、主として製本用の表紙布をいふ。

【クローズ・アップ】(Close up (英)) 大寫しと譯する、その項を見よ。

【クローゼリー】(Grocery (英)) 雜貨、乾物、又雜貨店、乾物店。

【クローヴァー】(Clover (英)) 馬こやしに似た草で普通はクラブ形をした三ツ葉の葉をつけ圖案の題材に適する爲め陶磁器や織物の模様として廣く用られる、又四ツ葉のクローヴァーは愛の表象として手紙の中などへ入れて喜ばれる。

【クロス】(Cross (英)) 一般にゴロスと訛つて居る、數量の單位で十二ダースのこと。

【クロス・カンツリー】(Cross-country (英)) 陸上競技用語で原野・田圃・森林等を横斷して走ること、斷郊競走。

【クロス・ゲーム】(Cross-game (英)) 野球用語で接追戦のこと。

【クロス・ライン】(Cross-line (英)) 新聞・雑誌等の記事の標題のうち必ず一行から成りその長さも一段以内のものをいふ。

【クロス・ワーズ】(Cross-words (英)) 十字語合と譯する、震災後米國から輸入された新遊戯の一で字謎・綾言葉・はめ字等の意を含んで居る。

【黒手組】(クロウダキ) ブラック・ハンドと同意、其項を見よ。

【クロニクル】(Chronicle (英)) ①年代記 ②新聞紙の意味にも用ゐる。

【黒幕】(クロウク) ①芝居に用ゐる黒い幕、又舞臺上の俳優の爲めに黒幕の裏から脚本を讀んでやる人 ②或る種の計畫をめぐらす時表面には現はれず陰に在つてゐるの術數・畫策をめぐらす人。

【黒梓附】(クロウツツキ) ①死亡通知が黒梓で圍んであるところからそれを言ふ ②注意人物、危険人物

等の隠語として用ゐる。

【鉄の筋】(クハナスヂ) 武士の血統を槍一筋の家柄といつたと同じく百姓上りの資産家や名望家が「百姓」といふ語を避けるために用ゐる言葉。

【クン】(君) 人物評論などでからかひ半分に他人のあげ足を取る場合その姓名も名も記さず單に片假名にてクンと書くことがある。

【軍國主義】(グンコクシヨウ) Militarism (英) の譯 主戰論の項を見よ。

【群衆心理】(グンシュウシヨウ) 多數の人が集會すると人が感覺的となつて自制心を失ふ結果或る暗示のために容易に動かれ易くなるその心理作用のこと。

【軍需局】(グンジュウキョウ) 海軍省に屬し艦營需品・港用品・燃料・炭山及油田ユヂンに關する事項・軍需工業・同動員に關する事項をつかさどる。

【軍事參議院】(グンジサンギン) 元帥・陸軍大臣・參謀總長・海軍々令部長其他軍事參議官に補せられた

海陸軍將校を以て組織し天皇の下にあつて軍務上重要な諮問に應へる機關。

【クンスト】Kunst (獨) 美術、藝術、英語ではアート (Art)。

【郡部版】ダンパン 市内版の對、地方に配る新聞のこと。當日の間に合はせる爲め市内版よりも一足早く刷り上げて發送する。

【軍務局】グンムキョク 海軍七局中最も重要な局で艦船・部隊・官衙及び學校の編制に關する事項・軍紀・風紀・兵器に關する事項・軍港・要港・要塞地帯及び沿岸の取締・戒嚴令・徵發に關する事項・港務・望樓・水路・演習・檢閲等に關する事項をつかさどる。

ケ

【ケーキ】Cake (英) 菓子、日本では特に西洋菓子のことをいふ、又近來は主としてデコレーションをつけた洋菓子のことをいふやうになつた。

【藝妓學校】ゲイギョウカウ 愛媛縣の宇和島市に設置された學校、藝妓の品位を向上せしめる目的で毎日午前十時から午後一時まで授業し學科・裁縫・禮式等の教授を行つて居る。

【輕銀】ケイギン アルミニウムの異稱。

【契合】ケイガフ 或る物體の一部分だけがびつたり合つて居ること、又その合つた所を契合點と稱へる。

【傾向小説】ケイカウセウセツ 近代人の腦裡に深く印象されて居る社會問題や宗教問題や結婚問題を題材とし作者自身の思想を作中の人物の上に表現せしめた小説で因襲に因はれた人々や婦女子に愛讀される。

【經濟自由】ケイセイジイウ 經濟界に於ける各自の競争行爲が他からの影響を受けることなくして獨立して働く状態をいふ。

【經濟政策】ケイセイセイサツ Economic policy (英) の譯 農業政策や工業政策や商業政策等の如く國民經

濟の發達を促さんとして政府が行ふ政策の總稱

【經濟的恐慌】ケイセイキョウウクワウ 生産と消費との釣合に急激な變化を生じたが爲めに起る經濟上の混亂状態。

【形式】ケイシキ Forma (英) の譯 ① 或る事物の内容や生命を包む骨組、又各部の配合の形 ② 法則と同様の意味にも用ゐる。

【形式的】ケイシキテキ 實質的の對 ① 外形に囚はれて大切な内容を疎外すること ② 生命のない行動、情味や誠意を缺く行爲。

【刑事擔保】ケイジタンボ 金貸業者が良家や資産家の子弟に金を貸す時内證で父兄を保證人にしその判を捺さしめて不正證書を作製せしめ返済期日後に至つて私印盗用を口實とし檢事局に詐欺の告訴をなしその父兄から返金せしめる新貸金法

【形而下學】ケイジカガク Concrete science (英) の譯 動植物・礦物及び天文・地文などの如く自然の現象を廣く研究する學問 即ち形あるもの、學問。

ケ

【形而上學】ケイジヤウガク Metaphysics (英) の譯 形より上の學問、即ち宇宙の本體・實在等の如く現象以上の存在を研究する學問。

【藝園】ゲイエン 藝術家の活動する全範圍、文學者に於ける文壇の類。

【藝術】ゲイジュツ 人間の創造力による活動、即ち文學・美術・舞蹈・音樂等の如く露骨な實用的や功利的の目的を有しないもの、總稱であるが狹義には文學と他の建築・彫刻・繪畫・音樂等を區別して後者のみを藝術と稱しその藝術と文學とを併稱して文藝と稱へて居る。

【藝術教育】ゲイジュツケウイク 主として情操・感情の教育を行ひ兒童の個性を十分發揮せしめんとする見地から音樂や舞蹈等の藝術味を加へて啓蒙指導する教育法で大正十年頃から識者の間に唱導されて來た。

【藝術的】ゲイジュツテキ 藝術を可能ならしめる純眞の傾向、即ち藝術のための藝術。

【藝術的良心】ゲイジュツチキリヤウレン 藝術家の物質を超越した敬虔眞摯にして且つ熱烈なる創作慾。

【藝術のための藝術】ゲイジュツノタメノゲイジュツ 藝術は人生の實生活に役立たしめるべきものではなく單に藝術としてそれ自身に價値があるとの説。

【藝術派】ゲイジュツハ 藝術のための藝術を信奉する人々、即ち藝術至上主義・唯美主義に屬する一派

【藝術美】ゲイジュツビ 藝術によつて現はされたる各方面の美の總稱。

【經文學】ケイブンガク 政治・經濟等に關するものを硬文學といふに對し小説・美文等の類をいふ。

【啓蒙運動】ケイマウウンドウ 人類の生活現象及び人文科學・社會科學に對し傳統的の束縛や迷信を全然脱却し學問的な見地から合理的に公正な解決を與へんとする運動。

【鶏卵主義】ケイランシユギ 國家が健全に發達する要件を鶏卵の形にたとへて言つた語で中流階級が最も大きく上流階級が之につき下層階級は微弱で

あらねばならぬとの説。

【ケー・ケー・ケー】K. K. K. (英) キュー・クルック・ス・クラン (Ku Klux Klan) の略、十九世紀の中葉後アメリカに起つた一種の國粹的團體、白人米國の建設・舊教撲滅・黒人其他一切の外人を驅逐することを綱領とし目的の爲めには暗殺や監禁さへ行ふ爲め諸州では特にその會員に對する取締法を行つて居る。

【ゲージ・グラス】Gauge-glass (英) 汽車・汽船その他すべて蒸氣機關のボイラー内にある水量を計るガラス管。

【ケース】Case (英) ①函、包、活字を分類して並べて置く棚 ②彈丸の裝藥管。

【ケーブル】Cable (英) ①大綱、鎖鎖 ②地下線、海底電線、又架空線。

【ケーブル・ウェイ】Cable-way (英) 鋼狀式鐵道、索道

【ケーブル・カー】Cable-car (英) 綱條車、架空索

道、又架空電車。

【ケーブル・グラム】Cable-gram (英) ①海外電報 ②海底電信。

【ケーブル・レールロード】Cable-railroad (英)

動力が据置機關から起り地下に敷設してある電線を経て列車の据止器に傳はり車體を進行せしめる鐵道、索條鐵道。

【ゲーム】Game (英) ①試合、勝負、競技の一勝負、試合の點數 ②しやれ、冗談 ③鶴の一種。

【ゲーム・セット】Game-set (英) 勝負のすんだこと、試合をはり。

【劇】Drama (英) の譯 一般に演劇と稱へる、脚本によつて科白セリフを用ひ扮装して行ふ所作。

【劇作家】Dramatist 脚本を製作する人のこと、「劇壇の人」とも言ひ得るが嚴密にいへば文壇に屬せしめるのが妥當である。

【劇團】Drama 劇壇に同じ。

【劇的】Dramatic 「劇的シーンを演出する」などによ

く用みられる語、人情の迫つた表現の形容で演劇的といふと同意である。

【劇壇】Drama 演劇に關係ある全活動の範圍であるが脚本の製作のみは文壇に屬し實演に關する方面と解釋されて居る。

【化粧する】Keshiaw ①紅粉をつけて顔を美しくすること ②工作に於てその製作品の仕上げをすること。

【解脱】Gedatsu ①宗教上では現在の苦惱から脱れて新しい世界に清淨な自由を求むること ②政治上では專制政治から離れて民本主義に移ること。

【下駄目】Gadame 下駄の鼻緒を立てる穴が三個あることに因み三つの單位を現はす金錢勘定の時用ゐる隠語。

【月桂冠】Guetakran Laurel crown (英) の譯 古代希臘ギリシヤにてアポロの神木と稱する月桂樹の葉で作つた冠で競技の優勝者に與へたもの、轉じて名譽の象徴として用ゐる。

【結婚學】ケツコンガク 社會政策上又は人口政策上に立脚し結婚問題を精密に研究することを目的として起つた學問。

【結婚保險】ケツコンホケン 新らしい保險法の一つで女子が結婚の費用に充てる目的にて一定の掛金を支拂ひ年頃になつてその契約の金高を會社から受取る保險。

【血清療法】ケツセイレイワフ 傳染病其他の危險性ある病氣に罹つて居る人の血液を他動物に注射しその血液から血素を採つて注射する治療豫防法。

【結黨】ケツタク 主義主張を同じうする人々が一つの團體を組織することとその組織の成つた時舉げられる式が結黨式である。

【けとばし】(俗語)馬肉パンダの隠語。
【解版】ゲバン 一旦版に組んだ活字を使用の後これを分解し夫れ／＼元のケースへかへすことをいふ。

【ケビン】Cabin (英) キャンピンを見よ。

【牙彫人形】ケボリニギヤウ 象牙彫りケボリの人形のこと、女性の美しく優しい姿などを形容するに用ゐる語。

【ケミスト】Chemist (英) ①藥劑士、藥屋 ②化學者
【ケアリス】Careless (英) かるはづみ、不注意。
【げら刷】ゲラメリ Gallery-prints (英)の譯 印刷用語の一つで活字の誤植を原稿と照し合せて訂正する爲めの假刷り、棒組校正。

【げん】(俗語)げんが善いとか悪いとか言つて運又は縁喜の意味に用ゐる。

【權威】ケンキ 威勢、權力、大家、泰斗、英語のオースリティー譯語。

【檢印】ケンイン 検査済の印の意であるが主として著者が書物の奥附に捺す印のことをいふ。

【現化】ゲンクワ 空想や理想を實在の上に現はすと、又自然に實現すること。
【幻覺】ゲンカク Hallucination (英)の譯 感覺が鋭敏となつた結果病的となり見もせぬものが目前

に現はれたり白色のものが黄色に見えたりするなど全然意識を失つた状態になること。

【劍劇】ケンゲキ 俗にチャンバラ劇といふ、刀劍を振り廻し血みどろになつて闊ふ光景を面白く觀せやうとする民衆劇のこと。

【げんこ】(俗語)五を單位とする金錢勘定の隠語。
【現示的遊戯】ゲンジテキイウキ 競争を主とせず或一つの動作を爲し又或形を組立てるに興味あらしめる遊戯。

【減債基金】ゲンサイキキ 國債の償還・利拂ひ・發行等に關する費用に充當する爲め國債整理基金なるものを設け之を特別會計として毎年度一般會計又は特別會計からその資金をこの中に繰入れることにして居る、それが減債基金である。

【現實】ゲンジツ ①現に目のあたり存在するもの ②文藝上では現在に於ける人間の社會生活そのものをいひ之に觸れたことやそれより生れたものを現實感といつて居る。

【現象】ゲンシヤク Phenomenon (英)の譯 人の感覺に觸れる内外一切の運動のあらはれ。

【現狀維持】ゲンジヤウキチ ①現在の状態を持續すること ②外交用語としては自國に有利な事の多い場合諸外國の形勢を顧慮せずその時の状態を支持して進まうとする意。

【原色寫眞版】ゲンシヨクシヤシニバン 實物の色調のままにて寫したされた寫眞銅版。

【現像】ゲンザウ 寫眞の種板タネイタにうつし取つた物の像を目に見えるやうに現はし出すこと。

【原造的想像】ゲンゾウテキサウザウ 過去の經驗に基いて別に新らしい想像をつくること。

【現代思想】ゲイダイシヤウ 其時代に於て社會人心を支配するに足る最も優勢な人生觀又は社會觀の傾向をいふ。
【ケント】Kent (英) 英國のケント地方に産する繪畫又は製圖用の用紙。
【原版】ゲンバン 校正済となつた活字組版のこと。

【健忘性】ケンバウセイ 近代人のもつ病的現象の一つで無闇に物事を忘れる性質。

【玄米藪者】ゲンマイゲイシヤ 大正十二年關東大震災の直後東京の藪者にして京阪地方へ移住したものに與へた綽名、震災の時玄米の配給を受けて一時生命を保つたことに因んでいつた語。

【玄米食】ゲンマイシヨク 衛生と經濟の點から見て白米よりも玄米は有益なりとの見地から玄米を常食とする意。

【幻滅】ゲンメツ Disillusion (英)の譯 心に描かれた理想や空想が現實の世界に實現されずして消え去ること。「幻滅の悲哀を感じ」など、言ふ。

【原理】ゲンリツ Principle (英)の譯 法則の根源となるべきもの。

【權利株】ケンリキカブ 株式會社の創立に際して功勞ある者に對しお禮の意味でその會社から贈與する特別株。

【原理批評】ゲンリヒヒキヤウ 根本の原理を標準とする文

藝批判。

コ

【皇宮警察】クワウキョウケイサツ 宮内省内の警察及び消防に關する事務を處理する警察署。

【黃禍】クワウクワ Yellow-peril (英)の譯 白色人種に對して黄色人種が加へるわざはひの意。

【郊外】カウゴウイ 都市に接続する田舎、即ち都市の外劃をなす野原。

【梗概】カウガイ 大體のすぢがき、あらまし。

【公開狀】コウカイジヤウ 公衆に向つて廣く開示する書狀の意で或る個人又は團體に對して發すべき手紙を新聞・雜誌等に掲載して社會の批判に訴へる如きものをいふ。

【抗火石船】カウカセキフネ 建築用の抗火石で造つた船でコンクリートよりも軽くして便利が多い。

【高架鐵道】カウカテツダウ 煉瓦又は鐵材を以て市街中に大堤防の如きものを築きその上を汽車や電車

が走るやうになつた鐵道で堤防の内部は倉庫や貨店等につくられて居る。

【廣軌】クワウキヤ 狭軌の對、歐米諸國で採用されて居る幅四呎八吋以上の軌道を有する鐵道。

【後期印象派】コウキインキヤウ Post-impressionist (英)の譯、印象派とは別段何の關係もない自然派の一派で繪畫を描くに當つて作者の思想・情調・氣分をそのまま畫の上に表現することを特色として居る。

【硬球】カウキョウ Regulation-ball (英)の譯 野球用のボールを小さくしたやうな球で近時庭球競技に於て従来の軟球ナシヤに代へて用ゐられるやうになつた。

【高級】カウキョウ 高等の文字に代つて廣く用ゐられるやうになつた語、高等の項を見よ。

【工業裁判所】コウゲフサイバンシヨ 工業經營者と勞働者との紛議争闘を仲裁して勞資兩者の福利を増進することを目的とし一八〇六年佛蘭西のリオン

に創立された裁判所。

【工業試驗場】コウゲフレケンジヤウ 工業に關する試験・分析・鑑定・傳習等をつかさどり公衆にその設備の一部を使用せしめ又一般の求めに應じてゼーゲル温度計の製作をもする。

【工業動員】コウゲドウウケン 戦時に際し軍需品の補給を計るため全國の工場・従業員・原料・製品等を政府の所有として利用すること。

【航空局】カウクウキョク 逓信大臣の管轄に屬し軍事航空を除く以外の航空事業の指導獎勵及び保護監督等に關する事務をつかさどる役所で我國では大正九年に新設された。

【高空心理】カウクウシンリ 高度の航空に當つて飛行家が持つ特異の心理。

【航空隊】カウクウタイ 飛行機や飛行船を以つて編成された空中軍隊。

【航空郵便】カウクウイウビン 空中郵便に同じ。飛行機や飛行船が飛行する線

コ

路の相交錯せる状態、又その線をいふ。

【高原】カウゲン 山脈地帯に横はる丘陵・高地。

【工作局】コウサクキョク 鐵道七局の一で車輛の製作・改良・保存及び工場作業をつかさどる所。

【高山病】カウザンビヤウ 山嶽病に同じ。

【硬質陶器】カウシツタウキ 打撃や動搖や高温度に堪へ得るやうに製造された陶器。

【高調】カウテウ ①高い調子 ②物事の最頂點に達した時 ③主義・主張を力づく説諭すること。

【工場委員】コウチャウキケン Works committee, shop committee (英)の譯 工場員を代表し工場經營者たる資本家に對し經營上の發言權及び管理權を得ることを目的として一工場の労働者中から自治によつて選出された委員。

【公示催告】コウジサイコク 官報又は公報等に公告して或る物件の届出を催促する方法。

【公示送達】コウジソウダツ 物件の送達を受くべき人の現住地が不明なる場合裁判所の揭示板又は新聞

紙等にその旨を公示し本人の申込を待つて送達する方法。

【工場閉鎖】コウチャウヘイサ シャット・アウトに同じ。

【工場法】コウチャウハフ 労働時間の制限・工場内の衛生・娛樂・秩序に關する設備の改善・相當の勞銀の支給等を規定した法律。

【濠洲モンロー主義】ゴウシウモンロシユギ 歐洲大戰後濠洲首相ヒューズの主張によつて濠洲内に起る利害得失の問題は濠洲自ら之を解決すべきことを聲明しその保證として同洲の東海岸及び北海岸諸島は濠洲に於て管理するか或は之を他の勇氣ある國家の手に委ぬべきかを主張したこと。

【甲種興行】カフシユコウギヤウ 花柳界の情事・戀愛等を仕組んだものは子供の教育上害ありとして十五歳以下の者の入場觀覽を禁止された活動寫眞をいふ。

【公衆食堂】コウシユウシヨクダウ 一般の人々に手軽に食事をさせる飯屋といふ意にて平民食堂・民衆食

堂・大衆食堂など皆同意である。

【黄色新聞】クワウシヨクシンブン Yellow-press (英)の譯 アメリカの惡徳新聞が黄色の紙を使用してゐることに因み惡徳新聞の代名詞として用ゐられる

【黄色新聞調】クワウシヨクシンブンテウ Yellow Journalism (英)の譯 低級な市井の雜事を眼目とし人身攻撃的な野卑な記事のみを報道する惡徳新聞式の調子。

【コース】Course (英) ①競走、競馬 ②競技場、競馬場 ③洋食の一品。

【構圖】カウツ Composition (英)の譯 ①組立、組成、作曲、作文 ②寫眞用語としては物の像を寫眞に現はす布置。

【校正】カウセイ Proof-reading (英)の譯 印刷されたものを原稿と引合せて植字の誤りを訂正すること。

【校正刷】カウサイメツ Galley-proofs (英)の譯 げら刷ともいふ、原稿によつて誤植を正し且つ多少

の添削をする爲めの假刷。

【公生兒】コウセイジ 私生兒に對して作られた新語で正式の結婚による夫婦間に産れ正式に戸籍吏に届出た子供。

【公設市場】コウセツイチバ 政府及び自治體が生活資料をその生産地から直接購入し比較的安價に民衆に取次ぐために設けられた日用品市場。

【公設質屋】コウセツシヤ 内務省經濟調査會で決認した小資本の金融機關で流質の期間比較的長く利子も低率で且つ預入者に對して利益分配の方法も立てられて居る。

【コルセット】Corset (英) 西洋婦人が腹部を引しめる爲めに用ゐる絹製の帶。

【公選】コウセン 「知事公選」など言ふ場合によく用ゐられる語、正しく選ぶ、又公衆一般の投票によつて廣く選り上げる意。

【高速度】カウクド 普通の標準度よりも速度の早いもの、例へば高速度輪轉機リシテンキといへば普通

の印刷輪轉機よりも速度が二倍以上も早い類である。

【高速度鋼】カウツクドク High-speed-steel(英)の譯 特殊鋼トクシユカウ中の主要なもので硬度強く旋盤・シパン等につけ高い速度で鐵や鋼を切削し得るもの。

【コーチ】Coach(英) 蹴球や野球でチームの指導・訓練をすること、又その人、コーチャー。

【コーチャー】Cocher(英) コーチをする人のことであるが特に野球に於て一壘と三壘とに近くランナーに助言する人。

【交通巡查】カウツウジユンサ 市街地の交通頻繁な所に立ち交通の整理をして往來の危険を取締る巡查

【交通網】カウツウワウ 船車・道路・航空機等すべて交通機關の設備された状態をいふ。

【肯定】Nether Affirmation(英)の譯 否定の對で承認すること。

【後天的】コウテンテキ 先天的の對、生れて後周圍の

事情や經驗によつて會得した性質といふ意。

【コート】Court(英) バスケット・ボールや庭球等の競技區域。

【高度】カウド 觀測者の視線と天體とを結合する直線が地平面をなす角度。

【コード】Cord(英) 紐、綱、電燈の紐線。

【高等】カウドウ 高級と同じく他にすぐれて居るといふ意に用ゐる語。

【高等内侍】カウドウナイジ 東京日本橋の濱町あたりに出沒する賣春婦に比較的美人が多いのと客種がよい所から言つた語である。

【高踏派】カウタフハ Parissian(佛)の譯 古代希臘ギリシアのバルナシューズ山上に集つてパーナツシヤンと名づけられた人々の後を承けて起つた一派であるが現今では思想上の貴族主義のことをいつて居る。

【高等貧民】カウドウヒン 月給によつて生活してゐる中流階級の人々が物價騰貴の影響を受けて生

活難を叫ぶときの稱。

【高等封聞】カウトウハウカン 文壇與太話ヨクバナシの上手な人や氣焰を盛んにあげて相手を喜ばす人々のこと。

【高等遊牧民】カウトウイクボクミン 遊牧民が水草を追ふて漂泊するやうにカフエーからカフエーを遊び廻り五色の酒や青い酒を飲み氣焰を擧げる人々

【高等遊民】カウトウイウミン 高等の教育を受けながら就職難其他の事情によつて職業を得ず徒食せる人々。

【硬派】カウハ 新聞記事のうち政治・經濟に關する方面及びその記事を擔當する記者。

【硬派記者】カウハキシヤ 新聞・雜誌に於て軟派記者以外の總稱であるが主として政治・經濟部を擔任する記者を指していふ。

【コーヒー】Coffee(英) 珈琲の種子をいつて作つた興奮性の飲料。

【ニーヨー・シロペン】Coe-Shiropen(英) 珈琲・ミ

ルク・砂糖等を適宜に調合し熱湯又は冷水を注いで作る飲料、味附珈琲の素。

【光筆】クワウヒツ 書畫を複寫する寫眞製版。

【合百】ガフヒヤク 米穀取引所附近で行はれる賭博の一種。

【幸福主義】カウフクシユギ 一切の行爲の目標を幸福に置いて善惡を判斷する道德上の主義。

【幸福葉書】カウフクハガキ チェイン葉書に同じ。

【硬文學】カウブンカク 軟文學の對、戀愛や情調の方面を除き國家や社會や忠孝等を對照として出來た文藝上の作品。

【工務局】コウムキョク 鐵道七局の一で土地・線路・建設物等の保存・管理・改良に關する事務をつかさどる。

【光明小説】クワウメイセウセツ 普通一般の道德や因襲を基調として世態人情を寫し前途の光明を暗示する小説。

【鐵務局】テウムキョク 鐵業に關する一切の事務を處

理し工業出願や労働者のことについても取扱ふ役所である。

【編蝠政黨】カウモリセイタウ 形勢を觀望して利益のある方に加擔せんとする政黨。

【光教養】クワウケウヤウ 興味と熱心とを以て光を研究しそれによつて自己の作品を一層自然に接近せしめんとする畫家の教養をいふ。

【護憲三派】ゴケンサンパ 大正十二年の政變に際し殿様内閣の名を以て稱せられた寺内内閣に對し政友會・憲政會・革新俱樂部の三派が提携して立憲政治を擁護し内閣を倒さんとした時の稱。

【ニリンズ】Chorus (英) ①合唱、合唱歌 ②舞踏、合唱隊。

【ニラス・ガール】(Chorus-girl) (英) ①オペラなどで合唱を歌ふ少女達、合唱少女 ②端役ハナツク女優。

【ニリン】Koran (英) マホメット教の聖典、初代マホメットが其の布教に際し「劍かコーラン

か然らざれば死か」と言つた言は有名である。【工事】カウリ 或る機械による單位時間のうちに出來上る仕事の割合をいふ。

【航路標識】カウロハシキ 遞信省の所管で船舶が航海をなすに當つて夜間又は濃霧の折の場合等に目標を定めるために設けられる燈臺・燈竿トウゼン・信號の如きものをいふ。

【功利主義】コウリキヤウ Utilitarianism (英) ①最大多數の最大幸福を増進することを以て道德の目的とする倫理學上の快樂説の一種 ②普通に自己主義、我利主義等と混同して用ゐる。

【コールタール】Coal-tar (英) 一般にコールタといふ、石炭から採つた黒色有臭の液體で主として防腐劑として用ゐられる。

【コールド・カラー】Cold-colour (英) 寒色と譯する、青・緑・紫等の如く清冷の感じを與へる色調。

【コール・マネー】Call-money (英) 仲買業者に

對する當座貸付金。

【國家社會主義】コクカシャクワイニズム State-Socialism (英) の譯 國家社會の平衡を保つために強者を壓し弱者を保護し最大多數をして最大幸福を得しめんとする主義。

【國家主義】コクカニズム Nationalism (英) の譯 國家を離れて個人なく人類の發達は秩序正しい國家に於てのみ期待し得られるのであるから國家の爲めには個人は犠牲となるべきものとの説。

【克己説】コクキセツ 人生の目的は感情や慾望を超越して合理的の生活を營むことにあるのだから理性をもつて下劣な衝動を制しそれによつて高潔な理想生活に達すべしとなす説。

【小口落し】コグチオトシ 大正七年に禁止されて今は行はれて居ないが仲買人と取引所との間に用ゐられた決済法の一つで同期同種の賣買を當日仕切りに計算し賣と買を相殺し尙ほ殘部は前日のものと相殺して計算する法、帳簿の小口から次

第に消して行くところからこの文名が付けられたものである。

【コクテール】Cocktail (英) カクテルを見よ。

【固形アルコール】コケイ 携帶及び使用に便する爲め化學力でアルコールを固形としたもので之に點火すると少しづつ溶解して燃え火を消す時は殘部は固形のまゝに残るから登山者などが携帶使用するには甚だ便利である。

【國庫支辨】コクコシベン 或る入費を國庫から支拂ふこと。

【國債借替】コクサイカリカヘ 短期の國債は毎年償還期限の到達するものが多く之を一々償還することの困難なところから新らしい國債を募集しそれ等の國債の償還に振り當てること。

【極彩色】ゴクサイシキ ①印刷物・繪畫等で濃艶なる彩色を施すこと ②濃厚な化粧をして美々しく著かざること。

【國際主義】コクサイニズム Internationalism (英) の譯

國境を超越し多数の國家及び國民が共同の目的を達せんとして協調すること。

【國際版權】コクサイハンケン International Copyright (英)の譯 一八八六年スキズに集つた各國の委員によつて決議せられたもので相互國民の著作權を保護するため一つの著作物に對し十年の間許可なくして翻譯・發行・又は上演することを禁止した。

【國際聯盟】コクサイレンイ League of Nations (英)の譯 歐洲戦争後に成立した對外關係上の相互扶助で國際間の紛争を平和の手段によつて解決するため國と國との争ひを先づ國際裁判に附し違反國に對しては軍事上・經濟上に國家の命令による制裁を加へ成るべく外交破裂の危機を作らさぬやうにする爲めの聯盟。

【極秘】ゴヒ 極めて秘密であるといふ意で「極秘密裡に策動す」などといふ。

【國際保障】コクサイホシヤウ 國家の保證によりその國

民の商品を世界の市場にて自由に取引せられるやうにすること。

【國際補助語】コクサイホジョゴ エスペラントに同じ。
【國際乘替】コクサイリカヘ 舊國債の所有者が現金で償還を受けないでその國債を以て新しい國債に應募すること、つまり古い國債と新しい國債をと取替へること。

【國字改良論】コクジカイリヤロン 我國にて使用する舊來の文字をローマ字の如き簡單便利なるものに改めんとする議論。

【國粹會】コクスクワイ 大正時代に於ける反動運動の一つで社會主義思想の普及に對し國粹を保存せんとして俠客の仲間により組織せられた團體で時の内相であつた床次竹二郎氏が成立に斡旋し會名は杉浦重剛氏がつけた。

【黒線を引く】コクセンヲヒク 注意すべき問題の意、文章中特に注意すべき箇所へ邦文ならば側線・歐文ならば下線カセンを引く場合赤や青で引くこと

も行はれるが黒い太い線を引くことが普通に行はれるよりいふ。

【告白】コクハク 懺悔と同意味であるが懺悔が女性的であるのに反して告白は男性的に響く差がある、心中をありのままに打明けること。

【極貧】ゴクペン 簡易生活を營んでゐる階級の人人、貧乏のどん底、どんづまりの貧乏。

【告別式】コクベツシキ 一種の葬儀で寺院や齋場に於て葬式を行はず柩を自宅に置いたまゝ故人に對する永遠の告別の意味で生前知己の弔問を受けること。

【國民】コクミン 其國の君主によつて統一せられ政治的の組織によつて結合される民族。

【國民外交】コクミンゲイワウ 國家の外交を政府當路者にのみ一任せず國民の輿論に訴へて當局を鞭撻したり彼我の間に觀光團や實業團の交換を行つたりして國民と國民とが直接に親善を計ること。
【國民經濟】コクミンケイジ National economy (英)の

譯 個人經濟の對、社會經濟とほぼ同意で一國の國民たる資格に於て營む經濟的活動の總稱である。

【國民警察】コクミンケイサツ 國民各自が警察官の態度になつて自己の安全を保ち一々警察官の注意や保護を受けないやうにすること。

【國民性】コクミンセイ Nationality (英)の譯 人種・國土・血統・言語・思想等を條件として國民全體にわたり廣く持つて居る共通の性質及び體色。

【國民葬】コクミンサウ 國家に功勞のあつた者の死に對し國民全體の葬儀として營む葬式で國葬と異るところは單に國費を以てするのと「國民全體のもの」として行ふとの點にある。

【國民動員】コクミンドウギン 國家有事の時完全に目的を買かため國民全體をその業務に随つて之に参加せしめること。

【COCA】ココア (英) コーヒーに類する飲料でココアの種子から製したもの。

【小作制度調査會】コサクセイドテウサクワイ 地主對小作人の問題は從來頗る不完全であつたところへ近時我國民の生活程度や經濟能力が激變した爲め新舊思想の衝突から種々のいまはしい問題が擡頭しそれが益々惡化せんとする傾向を呈して來た之を根本的に改める目的で設けられたのが小作制度調査會で農林省の管轄に屬して居る。

【小作葬】コサクサウ 小作爭議の犠牲となつて死亡した者に對し小作人が合同して營む葬儀のこと。

【コサック】Cosack (英) 革命以前露國のコサック地方に住した人民で騎馬をよくし平時は屯田兵の如く農業を營み戰時には軍隊として召集せられた。

【腰巾着】コシヤンチャク 略して腰巾コシヤンともいふ、或る人の左右を離れず常につきままとつて歩き廻る風な人間のこと。

【ゴシック活字】Gothic (英) の譯 肉の太い字體で線に厚薄のない活字のこと、俗に變體又は太字

と呼んで居る。

【ゴシック式】Gothic Type (英) ①希臘の古建築物に見るやうな直線の勝つた無技巧な點を特徴とする一種の様式で主として建築上に用ゐられる②敬虔にして宗教的な感じのする人を評していふ語。

【ゴシップ】Gossip (英) ①漫談、茶ばなし、無駄ばなし②漫筆、漫録。

【五色の酒】ゴシヤンサケ 赤色のストロベリー・リキュール・白色のマラスキノ・青色のペパーミント・黄色のキュラソー・紫色のブランドーの五種の酒を一つのコップに盛つたものであるが各種共比重を異にするから混和せずして五段となつて居る、色彩と刺激の淫蕩的なのを特色とし性慾興奮の作用があるところから新らしい女達に愛飲せられる。

【個人】ゴジヤ ①一人づゝ分離して考へて見た人間の意②一つの性格中に就ては人格を有する人。

【個人經濟】コソクケイギ Individual economy (英) の譯 國民經濟又は國家經濟の對、一個人に關する一切の經濟活動。

【個人主義】コソクケイギ Individualism (英) の譯 傳統や因襲を無視し自由意志のままに生活する傾向、即ち自我をもつて自己の生活を統一向上せしめんとする主義。

【個人的幸福主義】コソクケイギカワフクレユギ 快樂主義の如く最大多數の最大幸福を目的とするのではなく一個人の快樂を目的としより多くの快樂を享する行爲を善となす主義。

【個人展覽會】コソクケイギランクワイ 個展又は個人展と略稱する、美術家が自己の作品のみで開く小規模の展覽會。

【コスチューム】Costume (英) 扮装に用ゐる俳優の衣裳のこと。

【コスメティック】Cosmetique (佛) 頭髮用とする一種の煉り油。

【コスモス】Cosmos (英) ①西洋草花の一種初夏より晩秋にかけて可憐な花をひらく②宇宙といふ意味もある。

【コスモポリタニズム】Cosmopolitanism (英) 世界主義に同じ。

【コスモポリタン】Cosmopolitan (英) ①世界主義者、博愛者②國境や國籍を無視して諸方に漂泊する人。

【個性】コソク Individuality (英) の譯 其人にのみ持つて居て他から犯し得ない特有の人格的性質をいふ。

【コダック】Coddack (英) 懐中用の輕便なフィルム寫真機。

【コック】Cook (英) クックに同じ。

【ゴッド】God (英) 神・天帝等の汎稱、耶蘇教の神とは別である。

【木つば拾ひ】コッパナ 川べりや海邊に流れて來る木片を拾ひ集めて自家用の燃料に充てたり又

は他に賣り歩いたりする商賣で歐洲戰爭當時物價騰貴に際して一種の職業的となつた、俗に「拾ひ屋」ともいつて居る。

【コピー】Copy (英) コピーに同じ。

【コップ】Cup (英) カップを見よ。

【孤燈】コウアーク燈に同じ。

【コニャック】Cognac (佛) 葡萄を原料とし酒精分の強烈な洋酒の一種で主として食後に飲用する

【ごねる】(俗語) 人が死ぬこと。

【木の葉返し】コハガシ 宙返り飛行の一樣式で機體を廻轉せしめながら木の葉が飛ぶやうに急激に落下すること。

【コバルト】Cobalt (英) ①俗に空色ソライロといふ

淡く群青色 ②金屬元素の一。

【コピー】Copy (英) ①原稿、したがき ②タイプライターや複寫用便箋に同文の控えを取ると、又その控え。

【コピーライト】Copy-right (英) 著作権、版權。

【コピーライター】Copy-writer (英) 編輯助手と譯する。

【小物】コモノ 復活した舊時代語の一種で商業廣告などで華客を劇場に招待する旨を附記する時「お土産小物附」などの語が書かれてある、即ち芝居や遊廊等で客に出す座蒲團・煙草盆の類。

【コミック】Comic (英) 喜劇的、又喜劇役者。

【ゴム輪】明治四十年頃から流行つたゴム輪をはめた人力車のこと。

【コメディ】Comedy (英) にわか芝居、喜劇。

【コラム】Column (英) ①圓柱 ②印刷用語としては行・段・欄。

【孤立義務】コリタギム 兵役・納税・義務教育等の如く權利と對立しない絶対的の義務の總稱。

【ゴルフ】Golf (英) スコットランドに始つた紳士の遊戯で廣い原野で百ヤード以上の距離をおいて十八ヶ所ばかりの穴をつくり其穴に向ひ打毬数を最も少くして順次クラブにより球を打入

れた者を勝ちとする遊戯。

【コレクション】Collection (英) ①一定の物を多数蒐集して楽しむ好事家のことを言ふ語で聚集集合等の意 ②集金、義捐金等の意もある。

【コレクター】Collector (英) ①好事家、聚集家 ②收税吏、集金人。

【コレスポネント】Correspondent (英) 通信記者、通信員、又探訪記者。

【カレッジ】College (英) ①學校、團體、集會、院會 ②綜合大學のことをユニヴァーシティーと言ふに對し單科大學のことをいふ ③大學の分科、高等學校、専門學校等の意味もある。

【殺す】コス 物品を入質することの隠語。

【コス】コスに同じ。

【コタインフ】Collotype (英) ゼラティン版ともいふ、厚い曇硝子面に膠をしき感光薬を用ひて日光に焼付た一種の寫眞版。

【蠱惑】コウク ①遠ざからうとしても一種不思議な

魅力によつて引つけられる心持「コケットを感じる」と俗に言つて居る ②挑發的な姿態を見せつけられた時それに引かれて慾望が理性を壓倒し誘はれゆく心。

【コンクリート船】コンクリート船を以て外部を包んだ船で歐洲戰爭に際し鐵材の缺乏を來した時考案されたものである。

【混合地帯】コンガフチタイ 住宅地や工業地や商業地等が各々截然と區別されずしてごた／＼と混合してゐる市街地のこと。

【混合米】コンガフチ 一・二・三等の種々の等級の白米を適宜に混合した米の意であるが主として外國米と内地米とを混合した場合にいふ。

【混合列車】コンガフチシャ 一・二・三等の車體 適宜に連結した汽車、一・二・三等急行や特急に對していふ語。

【コンサート】Concert (英) ①提携、共同 ②外交用語としては協調、協商、連合 ③音樂用として

は合奏、協和音、合奏曲、演奏會。
 【コンストラクション】Construction (英) 組立、結構、構造。
 【コンティニューイティ】Continuity (英) 映畫脚本、活動寫眞の筋書。
 【コンデンス】Condense (英) 凝縮する、粹をとる
 【コンドーム】コンドームを見よ。
 【コンドミニウム】Condominium (英) 外交用語で二國以上が共同して他の國の政治を行ふと、共同支配。
 【ゴンドラ】Gondola (伊) 伊太利のヴェニスで使
 用せられる半月形の小船のことであるが世界的に名高い水の都ヴェニスを背景としてゐる所から非常に詩化して宣傳されて居る。
 【コントラスト】Contrast (英) ①對照、對比、配合 ②相違、反對の意味にも用ゐる。
 【コンパス】Compass (英) ぶんまわし、羅針盤、轉じて人の兩脚。

【コンビネーション】Combination (英) ①聯合、組合、團結、共同動作 ②婦人又は兒童用の股引付のシャツ。
 【コンファーマーション】確認狀と譯する、其項を見よ。
 【コンフュッション】Confession (英) 告白、懺悔、又口供書、くちがき。
 【コンヴェンショナル】Conventional (英) 習慣的な、舊例を墨守せる。
 【コンヴェンション】Convention (英) 主として道徳上又は風俗上についていふ、因習、傳習。
 【コンポジション】Composition (英) 構圖と譯する、其項を見よ。
 【コンマ以下】イカ小數點又は標準點以下の意、但し小數點はコンマ(,)でなくデシマル・ポイント(・)であるが普通に誤つて混合して居るより起つた語で價値が低い、人並でない、等級が下である等を意味する。

【コンマーシャル・アーティスト】Commercial Artist (英) 店舗設計家、商業美術家。
 【コンミッション】Commission (英) ①商業上物品の販賣依頼者から仲介人に支拂ふ手数料 ②秘密の口止料、上前をはねた金。
 【コミュニズム】Communism (英) 共產主義に同じ。
 【コンモンセンス】Commonsense (英) 常識と譯する、其項を見よ。
 サ (ザ・ス・ア・ツア)

【サーヴァイヴァル・オブ・ザ・フィittest】Survival of the Fittest (英) 適者生存と譯する、其項を見よ。
 【サーヴァント】Servant (英) 召使、下女、下男、雇女。
 【サーヴ】Serve (英) 庭球にて競技開始の第一球を投ずること。
 【最右翼派】サイウヨクハ 反動思想を抱持して穩健中正なる行動をとる一派で政治上では極端なる政府黨を意味する。
 【サイエンス】Science (英) 科學と譯する、其項を見よ。
 【在外研究員】サイグワイケンキョウケン 大正九年度から文部省の海外留學生のことを在外研究員と稱するこ
 とになつた。
 【最惠國條款】サイケイコクテウクワン 一八六三年英佛兩國間に始めたる成立にして條約で締盟國の一方が第三國に對して與へた利益と權利は他の締盟國

にも及ぶべきものであることを規定したものである。

【歳計剰餘金】サイケイジョウヨウキン 豫算以上に歳入が超過した場合その一部を翌年度の歳入に繰入れ他を剰餘金として國庫に保存し緊急の事件が起つた場合にその費用に充當する。

【サイロ・アナリシス】Psycho-analysis (英) 精神分析學と譯する、普通人の精神現象を研究の對象とする心理學ではなく犯罪・精神病・變態性慾・迷信等の特殊心理・變態心理に關する精神を研究する新らしい科學。

【在郷軍人】サイガウジン 現役を終つて故郷に歸り自己の事業に従事してゐる人々。

【最高善】サイカウゼン Highest (英) の譯 人生又は道徳上の理想とする善、至上善。

【最後通牒】サイゴツウテツ 國際上文書を以てする最後の交渉のこと、この交渉の纏らぬ場合には遂に戦争となるのであるが最後通牒の發せられる時

には既に兩國の間は戰事状態になつて居るのがつねである。

【サイロロニー】Psychology (英) 心理學と譯する、其項を見よ。

【最左翼派】サイサヨクハ 最右翼派の對、左傾思想を有して過激なる言行をなす者のうちにて最も極端な一派。

【サイズ】Size (英) 大きさ、又は型。

【最善觀】サイゼンクワン 全智全能の神を基調とする樂觀說。

【濟生會】サイセイクワイ 恩賜の資金百五十萬圓を基金とし別に二千四百十七萬七千餘圓の寄附を集めて設置され貧民に對して施藥救療を講ずる財團法人。

【サイダー】Cider (英) 正しくは林檎の果汁を醗酵せしめて作つた酒であるが普通にはそれと異なる清涼飲料のことに用ゐてゐる。

【最大限度】サイダイゲンド これより上へは出ることを

得ない最高の程度、英語のマキシム (Maximum) に相當する。

【サイド・カー】Side-car (英) オート・バイの側面に運搬籠を取附けた輸送車のこと。

【サイノロジー】サイノロジーの發音をもぢり妻君にのろいことを言つた俗語。

【茶無デー】サイナシ 無茶主義を見よ。

【サイレント・セールスマン】Silent-salesman (英) 無言販賣人と譯す、商品陳列窓や店頭裝飾のこと。

【サイレント・プレイ】Silent-play (英) 白科セリヤを用ゐる劇、無言劇、轉じて映畫劇。

【サイン】Sign (英) ①三角法用の記號 ②署名捺印 ③野球の勝負の點數。

【サイン・ペインター】Sign-painter (英) 看板かき、看板屋。

【さくら肉】ニク 馬肉のこと、山櫻が花より葉が先に出ること因み馬の齒が鼻より先に出張つて居るところから馬肉を櫻にたとへて美しく言つ

た語である。

【サクリファイス】Sacrifice (英) 犠牲、供物クセツ、献身的努力、殉死的行爲。

【左傾】サクイ 政府の施政方針や國民の標準思想から見て過激又は危険と思はれる社會主義・共產主義・無政府主義等の思想を抱くことであるが本來は議會用語で西洋では政府黨は議場の右側反對黨は左側に座を占め前者は保守又は賛成を意味し後者は急進又は反對の意嚮を示し政府黨を右翼黨・反對黨を左翼黨と稱ぶ例となつて居る隨つて保守的傾向は右傾・急進的傾向は左傾であるが新しい言葉では「左」に「惡」の意味をもたせるやうになつて左傾をそのまま「惡化」の意味とするのである。

【ザ・サマー・アジャーストメント】The Summer adjustment (英) 商店の夏物歳拂ひの大安賣。【座敷乞食】ザシヤコシヤ 國士を装ひながら富豪や高官の家へ出かけて種々の寄附金や補助を強請し

又は哀願して歩く者のこと、風采が堂々たるとその遣り方が趣を異にしてゐるところから路傍の乞食に對し座敷乞食と稱へる。

【サタイア】Satire (英) あてこすり、悪口、諷刺。

【サタン】Satan (英) 魔王、悪魔。

【錯覺】サカク Illusion (英) の譯 或る對象に對して誤り知覺すること。

【サッカリン】Saccharin (英) ①砂糖に三百倍する程の強烈な甘味をもつ防腐劑の一で人體に害がある爲め砂糖の代用とするは法規によつて禁じられて居る ②甘い人間、おひとよしの代名詞に用ゐる。

【サツゼン】Suggestion (英) 暗示、諷刺、人れ智慧、又忠告。

【サツゼステイヴ】Suggestive (英) 諷刺的、暗示的【雜種税】ザフシユゼイ 地方税の一で料理店・待合・貸座敷・理髮人・湯屋・興行物・自動車其他百二十餘の雜多なものに賦課する税金。

【殺人風邪】サワシカセ スペイン風邪の異名。

【殺人相場】サワシナウバ 物價が騰貴に騰貴を重ねて下落する所を知らずその爲めに中流以下の生活が極度に脅される時の相場をいふ。

【サッパー】Supper (英) 佛語のミールズに同じ、其項を見よ。

【薩摩守】サマノカミ 平家の都落ちの時「さい波やしがの都はあれにしを昔ながらの山ざくら花」の和歌を遺したとによつて風流をうたはれた薩摩守忠度タダノリの名から思ひつき汽車や電車に只乗することを「薩摩守をきめこむ」などいふ。

【サタイリスト】Satirist (英) 諷刺家と譯する。

【サファイア】Sapphire (英) 寶石の一種、青玉、碧玉。

【サフォイズム】Saphoism (英) 婦人同志の變態性熱發現の一種で希臘キリシタの歌妓サフォの名から出た語。

【サフスタンス】Substance (英) 實體、本體。

【サブゼクティヴ】Subjective (英) 主觀的に同じ。

【サブゼクト】Subject (英) ①問題、主題、主格 ②主觀の意もある。

【サブヘッド】Sub-head (英) 新聞・雜誌等の記事の標題の次に附記する小文字の補助標題。

【サフラン】Saffran (和) 球根植物の一で薬用に供し又酒をつくる。

【サフレジスト】Suffragist (英) 参政權賛成論者又婦人參政論者、ウーマン・サフレジスト (Woman's Suffragist) は穩健なる手段にて参政權を得んとする女子、ミリタント・ウーマン・サフレジスト (Militant woman's suffragist) は直接行動によつて之を獲得せんとする者のこと。

【サフレゼット】Suffragette (英) 女子參政權請求運動者のこと。

【サフレゼティズム】Suffragetism (英) 暴行又は直接運動によつて婦人參政權を得やうとした主義で米國に於て行はれたことがある。

【サウヰジオパシー】Savageopathy (英) 半獸主義と譯する、原始時代の野蠻殘忍な人々の單純にして強烈な感情や意志を研究する藝術上の一派

【サボターチ】Sabotage (佛) ①木履製造工 ②意業の意味に用ゐる。

【サボタージュ】Sabotage (英) 佛語のサボターヂユから来た語 ①議事の進行を妨害する目的で議場に於て床を踏鳴らし大聲を發してやじること ②業務を怠つてのらくらすること。

【さぼる】(俗語)サボターヂユを日本語の動詞化した語で主として仕事を怠り科程の進捗を妨げること、轉じて時間を盗む意にも用ゐる。

【ザボン】Zabon (英) 柑橘類の一種で朱棧と當て字で書く、情調派の詩人たちによつて歌はれることが多い。

【サムンク】Something (英) ①或る物、多少 ②言はぬが花の意に利用す。

【小夜曲】サマヤク 夕暮の曲の意、十八世紀以後の

伊太利の民謡に多く佛蘭西語ではセレナードといふ。

【さよなら五分】人を訪問して歸りにさよならと言つてから五分もかゝる意で編上靴をはく面倒くさゝ手間とを皮肉に言つたもの。

【ざら紙】ガミ西洋紙の一種、きめの粗いざら／＼した紙で新聞印刷用として多く用ゐられる。

【サラダ】Salad (英) サラドとも言ふ、洋食の生菜料理 ナマナレウリのこと、ハムサラドは之に鹽漬の豚肉をあしらつたもの。

【サラリアート】Salaris (英) サラリー・マンのこと、俸給生活者。

【サラリー】Salary (英) 月給、給料、俸給。

【サラリー・マン】Salary man (英) 勤め人、俸給衣食者。

【サラリー・メンス・ユーニヤン】Salary mens' nio (英) 略してエス・エム・ユー (S. M. U.) ともいふ、物價騰貴に對する中産階級者の自衛策と

して設けられた俸給生活者組合のこと。

【サルーン】Saloon (英) ①客間、旅館の廣間、大集會堂 ②寄席ヨモ、又美術展覽會場 ③米國では酒場のこと。

【サルバーサン】Salvarsan (英) サルバーサン注射液の略で俗に六〇六號といつて居る、梅毒・回歸熱等の注射劑として廣く用ゐられて居る。

【サレム】Salem (英) 昔ナザレの聖者耶穌をして屬々訪れしめたユダヤの都城エルサレムを略して言ふ語。

【サロン】Salon (佛) ①客間 ②美術展覽會、特にパリにて開催されるものゝこと、初め貴人の客間で催されたから此の名がある。

【山嶽家】サンガクカ 高山植物の採集・登山その他山嶽に關する事を學理的に研究する人。

【山嶽病】サンガクヒヤウ 登山者が山上の空氣が稀薄なために心氣の亢進を來したり眩氣を起したりなどする不快な氣分。

【三ABC政策】サンエービーシーセイサク 世界に於ける三個の大なる政策の意、即ちアメリカ (America) アラスカ (Alaska) からアジア (Asia) に通ずる鐵道を敷設して勢力の伸張を計らうとするのが

アメリカの三A政策・ベルリン (Berlin) からビサンチウム (Byzantium) を經てバグダッド (Bagdad) に勢力を張らんとするのが獨逸の三

B政策・喜望峰 (Cape) からカイロ (Cairo) に通ずるアフリカ縱貫鐵道を東に折れカルカッタ (Calcutta) にまで達せしめてその間に雄飛せんとするのが英國の三C政策である。

【三M政策】サンエムエムエム 一に人 (Man) 二に金 (Money) 三に武器 (Muniton) を以て行はんとする政策の意で近時世界的問題の一となつた。

【サンガー夫人】フジニ 産兒制限論を唱導したことによつて知られる米國婦人の名。

【三角關係】サンカククワンケイ 一人の女が二人の男と關係することや二人の女が一人の男を中心として

關係することであるが多くの場合は男一人に女二人の場合を指すやうである。

【三角同盟】サンカクドウメイ 英國に於ける炭坑夫組合と運搬業組合と鐵道従業員組合との聯合のこと

で三組合中の一組に屬する労働者が同盟罷工をした場合には他の二組合の労働者も同時に罷業して之を援助することになつてゐるがこの場合援助する爲めの罷工を同情罷工と稱へる。

【三行廣告】サンギヤウクワウコウ 安價と簡單とを眼目とし一回三行に制限した新聞廣告のこと、結婚・貸借・賣買・用不用の要求等に廣く利用される。

【産業蠶食】サンギョフキョウシヨク Enormous control (英) の譯 資本家の獨占を排斥し労働者が漸次産業管理權にも加入してその經營權の一部を握らうとする要求。

【懺悔】サンゲ 自分の犯した罪を懺悔僧又は神の前にて包みかくさず語ること、告白と異なる點は懺悔にはそのことによつて罪の赦免を豫想するが

告白にはその豫想のないことである。

【蠶業試験場】サンゲフシケンヂヤウ 農林省に屬し蠶絲業に關する試験調査・原蠶種の製造配附・桑の摘穂・苗木の生産配布並に桑葉・繭・生絲・製絲用水其他物料の分析等の事をつかさどる。

【産業部長】サンゲフフチャウ 東京・京都・大阪・愛知・兵庫・福岡・神奈川の三府四縣にのみ存する地方官で農・工・商・森林・水産及び度量衡に關する事務を管掌する。

【三絃藝術家】サンゲンゲイジュウカ 藝妓のことを皮肉に言つた語。

【塹壕戦】サンガフセン 野戦に當つて塹壕を掘り兵士をその中に隠し銃砲弾や爆弾等で互ひに破壊を企てつゝ敵の塹壕を奪ひ合ふこと。

【三五版】サンゴパン 書物の型の稱で縦五寸・横三寸の大きさのもの。

【サンディカリズム】Syndicalisme (佛) 佛蘭西獨特の労働組合で無政府主義の傾向を帯びた労働

共産組合のことをいふ、英語ではシンサカリズムと讀む。

【参事】サンシ 鐵道省が鐵道廳時代各省の事務官と區別する爲め設けた鐵道事務に携はる高等官の名稱であつたが現今では本省に於てその稱號は廢せられ地方鐵道局の高等事務官にのみこの名が残つて居る。

【参事官】サンシグワン 各省及び各省に等しい官廳に置かれ大臣又は長官の命によりて其所管内の各種の立案をなし又之れを審議する役目をもつて居る。

【産兒制限】サンジセイゲン 産兒制限論の主導者サンガ1夫人が米國より來朝して盛んに之れを稱へしよりはじまる、要するに少しく生んでよく育てよといふことを理想とし種々なる受胎制限の方法を講じ受胎出産を少くすること、産兒の二字は不穩當なりといつて近頃では受胎の二字が用ゐられる。

【三色版】サンシヨクパン 赤・青・黄三色の理論を應用して寫眞をとりそれを三枚の原版にかけ原色のまゝの色彩を表はす印刷法。

【撒水電車】サンスキデンシャ 貯水タンクを装置して運轉せしめ其進行中に左右の排水口から路面に向つて水を撒く電車、俗に水まき電車といふ。

【サンスクリット】Sanskrit (英) 梵字ボジジ又は梵語「三千米」サンゼンノートル「お熱くなる」といふ意で飛行將校の間に用ゐられて居る。

【サンタ・クロス】Santa Claus (英) クリスマスの夜煙突から入つて来て子供等の寢て居る隙にクリスマス・プレゼントを新しい靴下の中に入れて置いてくれると傳へられる老翁のことで基督教國では子供達に歓迎される。

【三段論法】サンダンロンポフ 論理學上の語で推理の形式が大前提と小前提と斷案の三段から成るものをいふ、例へば日本人は強い(大前提)彼は日本人である(小前提)故に彼は強い(斷案)といふの

類であつて演繹法も歸納法も皆この論法によつて居る。

【サンデー・クリスチャン】Sunday-christian (英) 日曜日だけの基督教者の意、専門學校程度の學生が直接外人に接して會話練習の便を得る目的からして一時信者となつて教會通ひをする者の稱である。

【サンドウィッチ】Sandwich (英) 麵包の間にハム又は焼卵・野菜等をはさんだ食物、サンド・ウィッチといふ地名から來た語。

【サンドウィッチ・マン】Sandwich-man (英) 街上廣告の一、厚紙に廣告畫や廣告文を書いたものを人間が腹と背に懸けて人通りの多い街上を歩くのをいふ。

【三人稱】サンニシヤウ が小説などを描く時「彼は」と云ふやうに作者が第三者とし作中の人物とはなれ客觀的に之を描くのが第三人稱である。
【三年貯金】サンネシチヨキ 石の上にも三年といふ言

葉を冠して近頃盛んに用ひられてゐる貯金、三年間据置いてままとまつた金を取るやうに貯金する方法。

【産婆役】サンバヤク 團體を組織したり會社を創設したり其他物事を成立せしめる時その中心人物となつて専ら奔走努力する人のこと。

【三部合奏】サンシラガナウ「H.O.」(英)の譯 三種の樂器で合奏すること。

【サンプル】Sample (英) 見本、標本。

【散文的】サンシニナキ Prose (英)の譯 ①格調の整はぬ詩を評する語 ②無趣味又は無興趣等の意にも用ゐる。

【三益主義】サンエキシユギ 事業上の利益を資本家と事務家と労働者の三階級に適當に分配せんとする主義。

【三面記事】サンメンキジ 新聞の社會記事のこと、四頁新聞のみ存立した時代市井の雑事・花柳界の情話・警察事故等を第三面に記載してから起つ

た語。

【三面記者】サンメンキシヤ 三面記事を擔當する記者の意で一般社會から社會部記者を多少輕蔑していふ語。

【三面種】サンシメダネ 新聞の三面記事の材料といふ意である、市井の雑事・警察事故・花柳界の情話・人物月旦その他所謂軟派向の事件を總稱していふ。

【三六版】サンロクバン 書物の型、縦六寸・横三寸の大ききものをいふ。

シ (シヤ・シユ・シヨ)

【思案】シアン 精密周到なる推理によつて深く廣く物事を考へ求めること、即ち思考の一層深刻なるものをいふ。

【思案所】シアンジヨ 大便所をしゃれて言つた語である。

【シ・アンド・ウ・エイト】See-and-wait-principle

【英】 御都合主義・御天氣主義等の意でジャバシタイムス社で造られた語。

【示威運動】ジキョウドウ Demonstration (英)の譯 まさに來らんとする迫害を排除する手段として自己又はその團體の偉力を示し對者を威嚇する運動のことでメーデー等も労働者が資本家に對する一種の示威的行動に屬する。

【シークレット・カメラ】Secret Camera (英) アイグスカメラに同じ。

【シース】Sheath (英) ①萬年筆やナイフ等を挟み込んでポケットに入れる革製紙入形の容器 ②刀劍の鞘。

【シーズン】Season (英) 時期、季節。

【シーン】Scena (英) 遊戯の一種、板の兩端に人が跨つて交互に上下せしめるもの。

【シート】Sheet (英) ①うへかけ、敷布 ②一枚の紙

【シール】Seal (英) 緘封・ペ・ふうじ。

【シーン】Scene (英) ①情景、光景、場面 ②劇の

シ (シヤ・シユ・シヨ)

一幕・二幕などいふ幕のこと。

【宗教局】シウケウキョク 文部省五局の一で宗教に關する一切の事務をつかさどる役所。

【宗秩寮】シウチフレイウ 宮内省に屬し皇族・王族・公族・華族・朝鮮貴族・有位者に關する事項及び皇族會議・爵位に關すること等をつかさどる。

【試運轉】シウシテン ①汽車・汽船・發動機等を實地に使用する前に當つて試験的に運轉すること ②俗に若き女が初めてスタンプをおされることにいふ、スタンプの項參照。

【市營住宅】シエイジユウタク 市の社會課に於て低利資金や寄附金を利用して建設した借家のこと多くは一定の年限を附して家賃を徴收しその年限を經過した後は居住者に家屋の所有權を移す制度となつて居る。

【シ・ヒュー】Shade (英) ①日かげ、蔭 ②日がさ、日おひ、ランプの笠、又衝立ワイタテ。

【シ・ヒーン】Shon (獨) 訛つてシヤンともいふ、

美人、美。

【ジュエリー】Jewelry (英) 果實・肉類等の汁に砂糖を加へて煮固めたもの。

【自我】ジガ Ego (英) の譯 ① 自己を保存して生長せしめんとする意欲の主體、即ち「我」といふ意識 ② 自己を客觀視カククワシする時その觀察される自分のこと。

【シガー】Cigar (英) 葉巻煙草。

【シガレット】Cigarette (英) 紙巻煙草。

【私學】シガク 個人で行ふ學校教育の意であるが一般には私立大學のことに用ゐられる。

【自覺】ジカク Self-awakening (英) の譯 自己の本體は如何なるものであるか、自分は何を考へ何を望みつゝあるかなどを明確に意識すると、自意識・自己省察。

【自我實現論】ジカクケンリョウ Theory of Self-realization (英) の譯 自己の個性を完全に發達せしめることを倫理上の目的とする學說でエゴイズム

(主我説)と異なる點は後者が物質方面に重きを置くに反し自我實現論は精神的の自我を發揮せしめんとする所にある。

【四月馬鹿】シグワツバカ 歐米諸國で行ふ奇習の一つで毎年四月一日午前中互ひに奇抜なことをして人を騙し合ふ惡戯が行はれ平素は謹嚴そのものの様な紳士も女王のやうに取りすました貴婦人も小兒のやうになつて騙し合ひ若しだまされて怒るやうな者は野暮な人として笑はれる。

【自家撞着】ジカドウチャク 自己の言行が前後相矛盾衝突して一致を缺くこと。

【時間的藝術】ジカシキゲイジユツ 空間的藝術の對、繪畫・音樂・舞蹈の類をいふ。

【自給自足】ジキフジツク 自國に於て消費せられる物資の生産は一切自國に於て之を供給し外國から少しも原料・材料の供給を受けず供給と需用とを自國內で調和せしめんとする經濟上・政策上の問題。

【色魔】シキマ 甘言を以て巧みに女性をたぶらかし之をもてあそび物にする人のこと。

【式部職】シキフシヨク 宮内省の一局で皇室の祭典・儀式・交際・雅樂・狩獵等に關する事務を掌る。

【シグナル】Signal (英) 信號、目標、合圖、又暗號。

【紙型】シケイ Paper model ma rix ma (英) の譯 印刷用のかた紙、濕した美濃紙の面に雲母末やボマツを塗布し之を植字された原版の上に當て、壓し型を取つて乾したものを、之に鉛を流し込んだものをステロといふ。

【私刑】シケイ 英語のリンチ、裁判所の判決によらず犯罪人を勝手に刑罰に當てることで米國などでは往々行はれる。

【試験地獄】シケンヂゴク 教育制度の不充分なる爲め中等程度以上の學校に對する入學志望者を全部收容するを得ず入學試験を行つて其の優秀なる者のみを選抜入學せしめる現今の状態に於て募集人員の數倍に達する入學希望者がその選に

當らんとして激烈なる競争心を抱きながら試験場に臨む状態を地獄の苦惱にたとへて言ひし語

【市區改正】シクカイセイ 交通・保健及び外観を整へる見地から市街地の區劃・住宅等を整頓改善すること。

【自濟團】ジケイダン 町内の火災其他の災害を豫防する爲め有志によつて自發的に組織された團體で

大正十二年關東大震災の時から始まる。

【死口座】シカク Dead Account (英) の譯 貯金其他の計理事務に於て口座取引が完結した結果口座番號が缺號となつた不用口座のこと。

【自己表彰】ジコヘウシヤウ 自己を他人より判然と區別してその偉大さ又は特徴を表示しやうとする慾望のこと。流行の基調となる場合が多い。

【時刻報知】ジコクハウチ 全國の郵便電信局・鐵道停車場等へ東京天文臺から電氣信號法を以て毎日正午時を通報すること。

【シゴマ式】シキ佛國ル・マタン新聞に掲載された

探偵小説の主人公の名から来た語で變幻出沒極りなき意、又極めて横暴なる振舞の形容語。
【ジゴマル】ジゴマを動詞化した語で蠻勇を振つて遣つ付けるといふ意。

【思唆的】シサチキ 實際の行爲又はその結果を示して教唆する方法等についていふ。

【詩趣】シシユ 詩に作る程のおもしろいおもむき、詩的な情景。

【市政浄化】シセイジャウクワ 腐敗に傾き或は紊亂して居る市の行政を改善刷新すること昭和四年の春には東京市に於て「市政浄化」の聲は盛んに叫ばれた。

【四十三字歌】シジウサンジカ 普通の和歌よりも文字數を多くして緊張した気分や感情を歌つたもので或る感情詩人の考案によつて生れ主として革命・天才・英雄等を歌つて居る。

【四十分の一勾配】シジフブノイチコウバイ 四十尺毎に一尺づゝの割合で上下する傾斜。

【私小説】シセウセツ 自分が親しく踏んで来た過去に於ける心の經驗を文章の上に再現する小説で自叙傳と異るところは後者が自分自身の生涯の歴史的事實を整理・配列して叙するものなるに反し前者が廣く見聞した事を取材する點にある。

【私書函】シシヨバコ 一等郵便局等の受附の側に二寸四方位の硝子をはめた番號入の小函が數段備へつけられ英語を用ゐる場合には D. O. Box の記號がついて居る、それが私書函で所屬郵便局に宛て私書函使用願を出し許可となつた上で一年の使用料二圓を前納すると函の番號を記した鍵が渡され其人に宛てた郵便物は郵便局からこの函の中に入れ置かれる、この函は大都會の目抜の場所等で配達を持たずに郵便物を受取りたい人によつて利用せられ勝手な時に開けてその中の郵便物を取出すことが出来る。

【スイスター】スイスター (英) 略してシスともいふ、姉妹、又單に姉もしくは妹。

【システムティック】Systematic (英) 系統的な、組織的な。

【システム】System (英) ①系統、組織、組立 ②制度、方法、又主義。

【自然】シゼン Nature (英) ①人間に對し外界のすべての存在又は現象を指す ②人工を加へないものによつてもいふ。

【次善】ジゼン 最善に次ぐといふ意、即ちベストを盡さざることを意味する語。

【至善】シツパン Highes vertue (英) の譯 最高善に同じ。

【自然科学】シゼンクワガク Natural science (英) の譯 動植物・礦物・地文・天文・地理・化學・心理・生理等の如く自然界・物質界の現象を組織的に研究する學問。

【自然主義】シゼンシテキ Naturalism (英) の譯 科學の進歩した結果人間の思想方面を動かして生れた主義で人生及び人間の有する「眞」に對し本然

の姿を見きはめんが爲め科學者と同じ解剖的態度を以てあらゆる現實の自然に接近する主義、即ち傳來の慣習や權威を打破し「ありのまま」を尊重する主義。

【自然人】シゼンジン 生れながらの人間、即ち人間の社會生活・共同生活に於ては各個の慾望・性情を制限する必要があるにも拘らず一切の束縛・約束を無視し自己の本能・慾望によつて生活を支配する人。

【自然増收】シゼンゾウシヨウ 財界の好況時に於て訴訟手数料・印紙収入・官業収入等が増加する結果國庫の収入が政府の豫算よりも超過すること。

【自然的生活】シゼンテキセイクワツ 社會的生活から超越して自己本能のままに動く生活で利己主義・個人主義などはその極端なものである。

【自然哲學】シゼンテキワク Natural philosophy (英) の譯 自然科學の基調となるべき認識論的原理を研究する學、即ち自然科學の一般的な價值及び

意義を批判して共通せる認識・原理を哲學的に推究する學問。

【自然淘汰】シゼンタラフ Natural Selection (英)の譯 人為淘汰の對、驚くべき率を以て繁殖増加しつゝある動植物に對し自然界に適應するもののみを生存せしめ之に反するものは絶滅せしめんとする自然の作用。

【自爲と語る】シゼントカタル 自然界と人間界との間は極めて緊密な關係を以て結ばれて居るところから外形上のみならず靈的方面にも何かの交通がありはしないかとの考を以て自然に親しみ且つ之を研究・洞察すること及びその心持をいふ、畫家や詩人の心情がそれである。

【慈善鍋】ジゼンナベ 救世軍によつて考案された喜捨金キキヤケンを入れる鍋で毎年十二月になると之を市井の四辻に並べ立て通行人から喜捨の金を受けそれを以て正月に無くてならぬ物を調へ貧民に分け與へる。

【自然に歸れ】ジゼニカヘレ 人間の本性に立ちかへれの意、十八世紀の佛蘭西思想家ジャン・ジャック・ルソーによつて叫ばれた語で自由・平等・親愛の思想を鼓吹する合言葉としたものである。

【自然派】シゼンハ ①英國の湖畔詩人コハンシジンの如く人生を厭ひて自然に親しむ人々 ②ありのままの姿の中に自然的な美を發見することを眼目とする類廢的な藝術的鑑賞又は運動をなす人々 ③原始的な人間性の醜邪を露出して強い刺激を求め一派。

【自然描寫】シゼンベウシヤ 藝術上の語、外界の状態をありのままに描き出して毫も主觀を加へないこと

【自然法】シゼンハフ Natural Law (英)の譯 法理學上の語で人定法の對、即ち國法に對する自然の大法をいひこの大法は古今東西を通じて不變不易のものであつて國法の制度はすべて之を基礎として作るべきものとされて居る。

【自然を讀む】シゼンラウム 自然と語ると同意。

【思想劇】シサウゲキ 劇そのものによつて或種の問題を提出したり又は暗示を與へたりして觀客自身をして考へしめる劇、隨つて觀客の感情に訴へたり娛樂を主眼としたりする劇ではない。

【自治食堂】ジチシヨクダウ 市の補助を受け組合員の管理の下に安價なる原料を公設市場から求め安くうまく食べさせる飯屋。

【時代錯誤】ジダイサカシ Anachronism (英)の譯 必然的な周圍の條件に基かないで舊時代の政策や主義を行はんとすると ①舊弊な者に對する罵辭 ②時代思潮 ジダイシタウ 或る時代に於ける社會一般の思想界の傾向をいふ。

【事大主義】ジダイシユギ 無定見・無節操で何等の定見も根據も有せず單に強大なる故を以てそのものに附随せんとする主義。

【時代精神】ジダイセイシン Time spirit (英)の譯 その時代の中心となる思想又はその傾向。

【時代相】ジダイサウ 時代思想のあらはれとも見るべき其時代の表面に現はれた種々相。

【時代病】ジダイビヤウ 近代人の抱く不安・懊惱・焦燥・懷疑等の心持。

【下町式】シタマチシキ 東京の京橋・日本橋・神田・芝・本所・深川などを山の手に對して下町と稱し舊江戸時代の風習が幾分存して居る所から「舊江戸時代の型」といふ意に用ゐられる語、即ち落つきのあるしどい、いき好み等の總稱。

【詩壇】シダン 詩又は詩人に關する全活動範圍。

【實感】ジツカン 實際に感じたそのまゝの感覺のことであるが思想や感情についてもいふ。

【實感挑發】ジツカンテウハツ 肉感を見よ。

【實験小説】ジツケンセウセツ 作者自身が經驗し觀察した事物をそのまま精密に描出した小説。

【實験心理學】ジツケンシンリガク 實験を基調として精神方面の諸現象を研究する學問。

【實在】ジツヤイ Reality (英)の譯 人類の認識ニシキ

を離れて存在する物自体、即ち宇宙の本體を指す、之に對し認識に現はれる事物の象は現象である。

【實在論】*Realism* (英)の譯 認識論中の觀念論が人類の認識する對象は外界に存するのではなく單に主觀の中に生じた觀念であると説くに對し人類が認識し得た事物は外界に存在するといふのが實在論である。

【實質】*Positivism* (英)の譯 カント等の主唱した哲學論で人類が知り得るものは現象並に現象と現象間の關係のみであるから實際と觀察を尊び實際の經驗を以て證明しながら積み上げて行かうといふ説で積極論とも譯する。

【實踐哲學】*Practical Philosophy* 哲學・倫理・美學等の如く實踐躬行を主とする學問の總稱。

【實踐的理性】*Practical Reason* 理性の批判に訴へて善なりとは是認したことを實際の行爲の上に現はさ

んとする意志。

【實彈射撃】*Live Fire* ①銃砲に實彈を裝填して發砲すること ②人を籠絡する手段として從來用ゐられた贈品・嘆願などを手ぬるしとし現金を掴ませて目的を達する意に用ゐる。

【詩的】*Poetic* 詩趣ありて吾人の美感を動かすおもむき。

【實用看護婦】*Practical Nurse* 看護・救護等の本職の仕事の外に炊事・掃除・使ひ歩き等のことも手傳ふ女中兼務の看護婦をいふ。

【實用主義】*Pragmatism* (英)の譯 プラグマティズムに同じ。

【寬利主義】*Pragmatism* 實際の利得のみを眼目として行動する主義。

【シチュー】*Chowder* (英) 訛つてシチューといふ、西洋料理の一種肉類や野菜を一しよに煮込んだ物 【指定商人】*Designated Merchant* 政府・官廳又は團體からそれ等の所にて使用する物品を供給すべきことを

指定せられた商人、即ち御用商人。

【自傳】*Autobiography* 自ら自身自身の閱歷を記した傳記、自叙傳。

【自動車學校】*Automobile School* 自動車運轉手や製作職工の品性・技能等を向上改善せしめ科學的方面から一種の技術として運轉術・製作術を修業せしめんとして起つた學校。

【自動兵士】*Automobile Soldier* 歐洲大戰の時丁抹ゲンマルクで發明して特許を得た軍用機械の一つの大圓筒内に鋼鐵の圓筒を二重に入れ之に無線電信用の電氣を送る時は内部の内筒は地上二尺の點まで現はれ自動的に四百發の彈を發射する装置となつて居る。

【シトロン】*Citron* (英) 清涼飲料水の一種。

【シナリオ】*Scenario* (英) シナリオに同じ。

【シナルコ】*Shinarco* 清(飲料水の一種)「アルコールナシ」をもちつて婦人・小兒にも適する意味を含ませた語といふ説もある。

【シネマ】*Cinema* シネマトグラフの略。

【シネマトグラフ】*Cinematograph* (英) 米國讀みではスィニマトグラフといふ、活動寫眞のこと。

【死の勝利】*Triumph of Death* (伊) の譯 伊太利の文豪ダモンテオの作品の一種戀人同志が互ひに疑つて苦んだ結果相抱いて死ぬ迄の筋を書いたもの「死」によつて戀を全うし得たこの意。

【芝居をする】*Act* 俳優がいる／＼のしぐさをする ②種々なる策を弄して人を籠絡したり誇張の態度を示したりすること。

【自發運動】*Spontaneous Motion* 自ら自己に鞭撻を加へてなす總ての運動をいふ。

【自發的】*Spontaneous* (英)の譯 無意的又は不隨意的とほぼ同意、即ち自己の志とは無關係の状態でおのづから發すること ②積極的に自ら意思する傾向。

【支拂猶豫】*Payment Hesitation* モラトリアムを見よ。

【師範面】シハシツラ 女子師範や女子高等師範學校の學生に美人の少きことに因み良妻賢母を標十して顔のみにくき女を諷していふ。

【試風船】シフワセン ①飛行船が飛行するに際し氣流キリウの方面を察知する爲めに飛ばす風船 ②外交用語としては種々の作り事を言ひふらし相手に背負投を喰はす準備、即ち釣リ込の記事風評をいふ。

【シウイリゼイシム】Christianism (英) ラテン語のシグニス (Ivis) から出た語で本來は都會の意であるが都會化することが文明であるといふ意味から文明・開化・文化等の意に用ゐられる。

【シフツシー】Gypsy (英) ①初め印度から出て自らローマニーと稱し放浪漂泊を事とした一種族の名であるが現今では土耳其古トルコ・露西亞・ハンガリア・西班牙スペイン等に散在し簪賣り・籠つくり・ト占ウラナヒ・伯樂バタラク等を職業として居るが困難になれば強劫盜にも變ずる ②だらしない女や

色の黒い女のことにも用ゐる。
【姉妹】シマイ 本來の意味は姉と妹であるが姉妹鑑姉妹篇など、稱し同類・一組・一對などの意に用ゐられる。

【字幕】シマク 活動寫眞で畫面の説明を記した文字のうつつる場面、英語でタイトル (Title) と書く。

【ジムネイスアム】Gymnasium (英) ①時刻・天候・季節に關係なくいつにても各種の運動競技を爲し得る屋内體育場、又體操 ②中學校、高等學校、又獨逸では大學豫備校。

【使命】シノイ 當然爲すべく與へられた特權、又は役目。

【指名入札】シノイニラツラ 工事又は物品の購入をなすに際し特に一定の請負業者・商人を指名して競争入札せしめること。

【死面】シノニ デット・マスクに同じ。

【霜降】シモフツ 牛肉のロースの一種で肉の切口に霜が降つたやうに點々と脂肪が入つて居る。

【指紋法】シモンハフ 一八〇二年獨逸のプールクン博士の發見したもので人々の指先の渦に現はれた特徴を判断・鑑定する法。

【ジャーナリスト】Journalist (英) 新聞・雜誌記者・通信記者。

【ジャーナリズム】Journalism (英) 新聞・雜誌向き、新聞中心、新聞業。

【ジャーナリズムの文藝】ブンゲイ ①新聞・雜誌等にある雑報的文藝で純文藝としての價値なきもの ②眞實な文藝でなく新聞や雜誌の記事によつて動かされる文藝。

【ジャーナル】Journal (英) ①新聞、雜誌、日誌

②議事録、報告書、又仕譯帳。

【シャープ・ペンシル】Sharp pencil (英) 正しくはエヴリー・ペンシル・シャープ・ペンシル (every-ready sharp pencil) であるがシャープ・ペンシル又はレディー・シャープ等と略稱して居る、鉛筆の芯を細い金屬製の軸に挿しその先を僅

かに露出せしめて繰出式に使用する鉛筆。

【ジャーミネーティング・フィギュア】Germinating-figure (英) 種蒔人形と譯する、其項を見よ。

【シャーロック・ホームズ式】Sherlock Holmes (英) 英國の探偵小説家コナン・ドイルの傑作「シャーロック・ホームズ」の名に因み探訪の巧妙なることをいふ語。

【ジャイアント】Giant (英) 巨人と譯する ①偉人・豪傑の意 ②仁王のやうな大男。

【社會】シヤクワイ ①自然的に集合生活を營む團體 ②世間一般をさしていふ。

【社會意志】シヤクワイン Social will (英) の譯 ①人類が社會生活を營まんとする衝動的意志、即ち社會組織に缺くべからざる意志 ②社會を成立しつゝある個人の合成意志、即ち社會全體の共通意志。

【社會改良主義】シヤクワイカイシュウニキ Social Reform (英) の譯 社會主義の如く根本的に現在の社會

制度を立てかへんとする主義ではなく私有財産制を認め現状を保持しながら経済及び組織の缺陷に對して漸次改善の歩を進めんとする主義。

【社會科學】シヤクワイクワク 科學の一分科で一般社會上に於ける人口・國家・土俗・國民經濟等に關することを研究する學問。

【社會學】シヤクワイガク Sociology (英)の譯 物理・心理・生物等の智識を基礎として人間の相互關係及び社會運動等を研究する一種の精神科學。

【社會劇】シヤクワイゲキ 問題劇に同じ。

【社會契約説】シヤクワイケイヤクワツ Social contract (英)の譯 民約説を見よ。

【社會教育】シヤクワイケウイク 庶民教育・民衆教育等と同意、國民教育を目的とする學校教育に對し一般の民衆に社會人として必要な智識・技能を授ける教育をいふ。

【社會局】シヤクワイキョク 内務大臣の所管に屬し社會問題・勞働問題に關する事務を處理する役所。

【社會主義】シヤクワイシヤキ Socialism (英)の譯 社會人の生活に要する一切の物質的要素を公有としその生産及び分配を公營とする政策、即ち現今の社會制度組織を變革し各人をして同一程度の富を得しめんとする主義。

【社會政策】シヤクワイセイサク 革命的又は過激な社會主義にあらざる現在の社會組織制度の上に立脚して徐々に貧富の調和を計らんとする政策で社會主義と異なる所は後者が經濟的富者の地位を引下げて弱者と同等たらしめんとするに反し強者の地位はそのまゝにし弱者の地位を漸次に向上せしめんとする點にある。

【社會葬】シヤクワイサウ 社會主義者の死亡者を同主義者によつて營む葬儀。

【社會的感情】シヤクワイケカンビヤウ Social feeling (英)の譯 相互扶助・共存共榮・他愛等人類の社會生活の基調となるべき感情。

【社會的生活】シヤクワイケセイクワツ 各個人が努めて自

己の本能・慾望を自制し社會全體の平和と進歩とを計らんとする態度。

【社會的動物】シヤクワイテキドウブツ Social animal (英) 希臘ギリシアの哲人アリストテレスが「人間は社會的動物である」と言つた語に始まり共同生活によつて生存し得る人間のこと。

【社會黨】シヤクワイタク 社會主義を標榜する政黨のこととて「社會民衆黨」といふやうなものもある。

【社會奉仕】シヤクワイハウシ 社會一般の幸運福利の爲めに盡すこと。商店の廉價販賣に於て薄利多賣・お客本位等の意味に用ゐられる。

【社會問題】シヤクワイモンダイ Social problems (英)の譯 社會に於ける經濟上の強者と弱者との間に於て富の分配上の不平均から起る諸問題。

【寫像】シヤシヤウ 心理學上の語、觀念に同じ。

【射空砲】シヤクウハツ Aud air craft (英)の譯 飛行機・飛行船等を射撃する太砲。

【寫兄】シヤケイ 寫眞界に於ける先輩の意でカメラ。

フアンなどが能く手紙の上を書く語。

【社交ダンス】シヤカウダンス レストーラントやホテルなどで行はれる和洋並に男女混合ダンスをいふ。

【社交病】シヤカウビヤウ 社交場の中心が花柳界となつて居る社會に於てこゝより傳播する梅毒を花柳病といふのであるが近時その病名を低級な感じを與へるものとして改められたのが社交病である、又別に開業醫によつては「性病」の文字を用ゐて居る向もある。

【寫實主義】シヤシヤウシヤキ Realism (英)の譯 文藝上の語で理想主義の對、事象の表向に現はれたる種々相をありの儘に忠實に描出せんとする主義

【寫場】シヤシヤウ 人物寫眞を撮る爲め特別に設備したアトリエ風の家。

【車掌用語】シヤシヤウヨウゴ 電車の車掌が勤務中乗客に向つて注意を促す爲めに使用する言葉の意で簡潔にして明快なることを主眼として居る。

【寫眞結婚】シヤシヤウケツコン アメリカの日本移民が母

國から配偶者を求める時互ひに寫眞を交換して見合をなしその上で結婚することであるが現今は移民法によつて禁止せられその名目のみが残つて居る。

【寫眞漫畫】シャシマシグワ 寫眞によつて現はされる喜劇、漫畫化した寫眞、カメラ・コミック。

【ジアスターゼ】ディアスターゼに同じ。

【寫生文】シャセイブン 正岡子規の創唱したもので見たまゝ聞いたまゝの事象を毫も粉飾せずに書いた文章、即ち自己の思想・主觀を交へず有りのまゝを文字によつて寫し出した文章。

【社説】シャセツ 新聞及び雑誌社が自社の政策・方針に基く意見としてその重要欄に掲載する論説文

【シャッター】Shutter (英) 光線を瞬間的に遮断する蓋、即ち寫眞機などのレンズの開閉器。

【ジャズ】Jazz-Band (英) の略 ①音楽隊 ②騒々しく賑やかなこと、又大都市の騒音サウザン。

【ジャップ】Jap (英) 正しくは Japan, Japanese

露國人に對するロスキー・支那人に對するチャシ〜、米國人に對するヤンキー等の如く外國人が日本人に對する嘲語又は綽名。

【車夫煙草】シャフタバコ 官製兩切煙草のベツトが車夫や労働者階級に愛用せられるから起つた語でこの外に労働煙草・馬方煙草・惡魔煙草等いろいろの別名がある。

【ジャヴリン】Javelin (英) 陸上競技の一、投槍。

【シャベル】Shovel (英) 匙鍬と譯する、熨斗ビシ、十能・杓子の類。

【ジャム】Jam (英) 訛つてジャミともいふ、果實を砂糖で煮詰めた食品。

【シャンデリア】Chandelier (英) 大傘燈ダイサントワ、大枝燈、美しい金具の裝飾をつけて天井から吊した花電燈。

【シャン】シェインの訛、美、美人。

【ジャンク】Junk (英) 支那の大河及び近海にて貨物輸送用に使用せられる小帆船。

【シャンパン】Champagne (佛) 三鞭酒と書く、佛

蘭西のランス及びエペルネ地方から産出する沸騰性葡萄酒で主とし祝賀用として用ゐられる

【シャンパン・サイダー】Champagne-cider (英) 正しくはシャンペン・サイダーと讀む、林檎汁にブランデー・砂糖又は蜂蜜などを混合して醸酵せしめた芳醇な飲料。

【ジャンプ・ヘッド】Jump head (英) 新聞・雑誌等にて記事が頁から頁へ移る時念の爲めに再記する標題のこと。

【シャンペン酒】Champagne (佛) シャンパンに同じ。

【周囲】シウキ 環境クワンキヤウを見よ。

【自由意思】ジイウイシ ①傳統・慣習・法規及び神等によつて支配されず人の有する意思の向ふまゝを尊重する意 ②我まゝ勝手、氣隨氣まゝ。

【自由意思論】ジイウイシロン Indeterminism (英) の譯 決定論の對で非決定論ともいふ 人類の意思の活

動は意識的又は無意識的原因によつて決定せられるといふのが決定論であり之に反して意思の活動には原因や規定はなく之等を規定せんとする原因と反對の方面をとるといふのが非決定論である。

【自由畫】ジイウガク 兒童が見るまゝ考へるまゝを自由に描き出す繪の意。

【シュー・クリーム】Sucre creme (佛) 正しくはシュー・ククレームといふ、乳酪ニウラタと砂糖とを溶しこんだものを薄い焼皮で包んだ菓子。

【スーパー】Super (英) 超と譯する、尙その上の、卓越した、飛び越えた等の意でスーパー・ナチュラル (Super natura) といふば超自然、スーパー・マン (Super-man) といふば超人と譯する類である。

【自由競争】ジイウキヤウサウ 支配や束縛等から離れ自由自在に相競争すること。

【自由講座】ジイウカウザ 講義者が特殊の題目を設け

ず隨時隨所に連續講義をなす組織で聽講者も男女年齢等を問はず自由に之を聞くことが出来る講演風の講義。

【自由劇場】ジイウゲキヂヤウ 「自由」の二字は從來の演劇的習慣から脱する意から冠したもので娛樂本位でなく現實の社會及び生活上の諸問題を忠實に寫出して人生を味ふ暗示ともなるべき劇を上演する所。

【自由結婚】ジイウケツコン 兩親の干涉・因襲的形式・法律上の手續等を除去し戀愛を基礎とする結婚で日本の民法では男子三十歳・女子二十五歳以上ならば自由結婚を行ふて差支なきことを認め居る。

【自由研究】ジイウケンキウ 慣習・束縛等を脱し自由の境地に立つて研究すること。

【銃後の人】ジュウゴノヒト ①戰場に於て戦線外に勤務する軍醫・輜重兵の類 ②味方を後援して戦争せしめる一般國民。

【自由詩】ジイウシ Vers libre (佛)の譯 韻律キツクや詩形などの束縛を脱し専ら内部生命の要求に應じて自由に感情や思想を抒した無形式の詩、即ち近代人のうたふ無定形詩。

【使用貸借】シヨウタイシヤク 當事者の一方が無償にて相手方より或る物件を借用する時の貸借契約。

【十字架】ジフジカ 基督教徒のをがむ十字形のもの、古代佛蘭西に起原を發した十字架は農産・生殖の象徴として用ゐられたが後には嘲笑・侮蔑の意味に變じ其形も最初は斜十字形又は十字の下に球の附いたものであつた、近年獨逸の學者の研究によると男子生殖器の象徴であつたといふことである。

【十字火】ジフジカ 標的の附近に至つて彈道ダンダウが十字に交叉するやうに兩側から發射する砲彈

【十字街】ジフジガイ 辻、四角ニカド、交錯する所。

【修辭學】シウジガク Rhetoric (英)の譯 文章を作る時用ふべき言葉を研究して科學的體系に收める

學、從前の修辭法は如何にすれば美しい文章が書けるかといふことを目的としたが現代では如何にすれば眞實を書けるかといふことを眼目とするやうになつた。

【就職難】シユシヨクナシ 相當の素養を有しながら一定の職業に就くこと能はずして生活の安定を得られざるなやみで世上不の景氣からも來るが社會教育の普及した結果として多少の教育や經驗を有する者が多くなり過ぎたことに原因する場合が多い、即ち人物經濟上供給が需要に超過する結果のあらはれである。

【修繕加封】シウセンカフウ 郵便物の封裝が輸送中に毀損した場合郵便局にて手入れをすること。

【袖珍】シユチン ポケット型の書物、普通は四六版半截の本。

【柔盜】ジフタウ 強盜に對する新語、不正拂下や賄賂等によつて不當の利権を獲得すること。

【十二階下】ジフニカイシタ 大正十二年の大震災にたふ

れたが東京淺草の十二階下といふ意でこの邊は所謂「淪落の女」の巢窟として今も廣く唱へられて居る。

【主計局】シユケイキョク 大藏四局の一で總豫算・決算・特別會計豫算決算・金品會計統一・支拂猶豫・出納官吏の監督等をつかさどる。

【主税局】シユゼイキョク 大藏省に屬し諸税に關する事務をつかさどる。

【シュパー・ツェッペリン】Super-Zeppelin (英) 超ツェッペリン飛行船、ツェッペリン飛行船の項を見よ。

【シュパー・ドレドノート】Super-dreadnought (英) 超弩級艦と譯す、弩級艦ドクファカニよりも大きく二萬噸以上の排水量・二千四百乃至三萬馬力の機關・十二吋以上十四吋砲十門以上を具へ二十ノット以上の速力ある軍艦。

【シュパー・ナテュラル】Super-natural (英) 不可思議なる、理外の、超自然の。

【スーパーマン】Superman(英) 超人チラジと譯する、其項を見よ。

【スーパーラテラティブ】Superlative(英) 文法上形容詞の最上なるもの「スーパーラティヴで評した」といへば「最上級の言葉で褒めた」といふことになる。

【集約農業】シマクノウケフ 比較的狭い土地に多くの資本と努力とを投じて經營する農業、之に對し廣い土地に比較的少しの資本と努力とを投ずる農業は粗放農業である、而して前者は人口が稠密で土質も氣候も適當し努力と資本の豊かな土地に行はれ後者は交通が不便で土地・氣候ともに佳良ならず且つ農産物の廉價なる土地に行はれる、我國に於ける農業の大部分は前者に屬するが同じ集約農業のうちにも資本的集約・努力的集約・絶對的集約の三つの階級がある。

【醜類】シウルク 收賄をする官吏・利權あさりの政治家・專横なる行爲ある者等の總稱であるが主として

して收賄官吏や政界の利權者を指す。

【自由營業】ジイウエイゲフ 政府から十特の認可又は許可を受けずして自由に營み得る營業。

【自由港】ジイウカウ 關稅なしに貨物を自由に輸出入し得る港、又各國の船舶が關稅を拂はずして自由に入出碇泊し得る港。

【自由戀愛】ジイウレンアイ 從來の慣習や法律の規定によらずして相愛の男女が互ひに配偶者として選び合ふこと。

【自由戀愛名簿】ジイウレンアイメイボ 歐洲大戰當時露西亞が女子國有法を施行し獨逸の側面結婚と同等の効果を擧げんと試みた時作製した帳簿で規定には「女子が十八歳以上に達した時は自由戀愛名簿に登録し十九歳以上五十歳以下の男子と自由結婚することが出来る」といふ意味の明文が記された。

【自由労働者】ジイウラウドワシヤ 精神労働者に同じ。

【自由廢業】ジイウハイゲフ 前借をして藝娼妓となつた

者がその義務を果し終らざる前に於て自己の意思によつて其の營業を廢し自由の身となること。

【主義】シユキイジム(英)の譯 或る事についてそれを實行すべきことを基礎として纏つた見解を持つ意

【主義者】シユキシヤ 不良少年・少女を單に「不良」といつて意味の通ずると同じく無政府主義者や社會主義者などに對し概稱的につけた稱呼で現今では普通名詞の如く用ゐられる。

【淑徳持ち】シユクドクモチ 右の手首に包をかゝへそれを上腕に支へて持つこと、淑徳女學校の生徒が始めたことよりいふ。

【宿命說】シユクメイセツ Fatalism(英) 人生の幸福・非運・榮華・落魄などはすべて前世からの約束ごとで人力では如何ともしたいといふ說、運命說と同意であるが主として東洋で信ぜられる因果應報說のこと。

【受験生】ジケンセイ 高等學校や専門學校の入學試験前に於て之に應ずる準備をなしつゝある學生

即ち試験勉強をする學生。

【主參加】シユシヤカ 一つの訴訟に於て當事者の双方に對し自己の權利を直接に保持する目的を以て

第三者がその訴訟に加はること。

【主治醫】シユヂイ 傷病者の治療に對してその主任の地位に立つ醫師のこと。

【主戰論】シユセンロン 「戰爭は道德進歩の源泉・犠牲奉公の觀念の基礎なり」といつたヘーゲルの説「戰爭は最高の權威・愛・勇氣に優る」と説いたニイチエの論「戰爭は神の下し給ふた倫理的要素の一である」と論じたハロルド・エフ・ワイヤットの言等の如く軍國主義者の主唱を指す。

【主體】シユタイ 法律上にて權利義務の主體が人にある如く總て物事の本體なるものをいふ。

【術語】ジユツゴ 學術又は専門上の用語の總稱。

【受動的】シユドウテキ Passive(英)の譯 能動的の對、他から働きかけられること、受身である状態。

【主物】シユブツ 法律上の語にて従物に對する語、即

ち主たる物件のこと。

【主動者】シユドウシヤ 中心となつて事を起す人の意であるが普通には暴動・一揆等についていふ、發頭人・張本人。

【主務大臣】シユムダイジン 行政事務を主宰する役所の長官の意で事務大臣としての各省の長官をいふ

【ジュピター】Jupiter (英) 希臘神話中に現はれる最上の神で人間の世界と神の世界を司配する

【主賓】シユビン ①主となるべき賓客のこと ②主人と客。

【主馬寮】シユマロウ 宮内省の一局で帝室の馬車・馬匹・自動車・牧場等に關する一切の事務を掌る。

【巡回手形】シユンクワイテガタ 銀行が旅行者の便宜をはかるため本人の希望する土地の銀行に於て金銭を受取ることを得しめる證券。

【純一性】ジュンイツセイ 自然界の諸現象は各特殊の状態を有しながらも其の差別の一面に於て又平等一如の性を有すと説く哲學説。

【巡回圖書館】シユンクワイトシヨクワン ①貸し本の一種で一定の期日を限り配本屋が巡回して來て各種の書物を引替へて貸し歩くもの ②個人又は團體に對し社會教育の一助として圖書館或は篤志家から一定の期間圖書の貸し出しをするもの。

【巡回病院】シユンクワイビヤウケン 貧民救護の一法として官廳・團體又は特志家が病院組織の一隊を諸方に派遣巡回せしめ無料にて診療せしめるものをいふ。

【巡回文庫】シユンクワイブナ Traveling library (英) の譯 ①圖書館が各地に分館を置いて一定の期間その分館に書物を送附して公衆に閱覽せしめる組織のものをいふ ②巡回圖書館の ③の場合にも用ゐる。

【瞬間寫眞】シユンカンシヤン 主として動體をうつす寫眞のことで歩行せる人物又は種々に移り變る風景などの瞬間を捉へて撮影するもの。

【純正哲學】ジュンセイテツガク 現象界の裏面に存在して

現象を成立せしめる根本原理を研究する學。

【春期發動期】シユンキハツドウキ 露骨を避けて「春の目ざめ」ともいふ、其項を見よ。

【正金建値】シヤウキンケンタネ 外國爲替相場の一で正金銀行がお客相手に賣買する相場、外國爲替相場にはこの外正金銀行以外の銀行同志又は商人と賣買する方法もあり之を市場相場シヤウワザバと稱するが一般の標準となるものは正金建値である

【春の氣分】シユンチキキブン ①春期發動期に達した少女達の覺える青春のなやましい氣分 ②性慾學上では情慾のきざすこと。

【純文學】ジュンブンガク ①純粹の創作的動機から生れる文學 ②一般的には小説・歌などの軟文學を指していふ。

【ショー・ウインド】Show-window (英) 形容して「無言の販賣人」などいふ、厚板の一枚ガラスで仕切つた中に人々の購買心をそゝるやうに商品陳列した店頭窓、商品陳列窓、現今では

衣裳店のショー・ウインドにマネキン・ガールを立たせて置くことが流行しだした。

【商行爲】シヤウカウキ 物品賣買の媒介を目的とする營業的行爲。

【商慣習法】シヤウクワンシヤフハフ 商業に關し國家が是認する一般の慣習のことで商習慣ともいひ法律と同等の效力を有して居る。

【憧憬】シヨウケイ 或る事物に深く心を引つけられること「あこがれ」を見よ。

【商業心理學】シヤウゲフシンリガク Business psychology (英) の譯 心理學を商業上の活動に應用することとで廣告・販賣等とその効果の大きさが認められて居る。

【消極的】セウキョクテキ Negative (英) の譯 積極的の對、不賛成・否定・緊縮・缺乏・現狀維持等物事の靜止せる状態を形容する言葉。

【消極的倫理主義】セウキョクテキリンリシユギ 進んで善を行はんとせず退いて自己自身を深くせんとする

る禁欲主義の道徳。

【小劇場】セウゲキヂヤウ 娯樂の爲めの芝居でなく藝術的氣分の豊かな社會の諸問題を題材として人生の諸相に深く觸れしめる劇を演ずる劇場、大衆を相手とせず小人數でも理解ある人々の來觀を望む意味からこの名を用ゐる。

【小公園】セウコウエン 都市の美觀と市民の保健を目的として通常の公園以外に市街地の各所に設置せられる庭園式の公園。

【商工會議所】シヤウコウクワイギシヨ 或る地方の實業家の利益を計り且つ商工業につき官廳に對する意見を具申して經濟行政を補助する機關、以前は商業會議所といつた。

【招魂飛行】セウコンヒカウ 殉職飛行將卒の爲めに招魂祭を行ひその靈を慰撫する意味にて行ふ飛行。

【常識】ジヤンキヤウ Common sense (英)の譯 日常生活上何人にも心得て置かねばならぬ必須なる一般的の智識。社會人として一通り心得て置く

必要ある程度の道徳心。

【少女歌劇】セウヂョウカゲキ 少女俳優によつて演ぜられる歌劇で阪急電鐵で經營する大阪の寶塚少女歌劇は廣く知られて居る。

【少女小説】セウヂョウセウセツ 少女の立場から眺めた世態・人情の動きを描いた小説

【精進電車】シヤウジンデンシヤ 男の乗客ばかりで女客の一人も乗合せぬ殺風景な電車のこと。

【小説】セウセツ 抒情シヨジヤウ・叙景・叙事の三つを結合せしめて世態・人情の上に現はれた種々相を文章の上に現はしたるもの。

【招待日】セウタイビ 美術展覽會開催の前日に於てそのことに關係ある人々を招待すること。

【象徴】シヤウチョウ Symbol (英)の譯 表徴といふも同意、無形物を有形物で現はしたり他の物を此の物になぞらへ譬へたりすること、例へば「山ざくらは大和心の象徴である」といふの類である。
【象徴主義】シヤウチョウシヨキ Symbolism (英)の譯 客

觀の事象によつて喚起された感情・感覺の上に一歩を進め暗示・官能の交錯等の技巧を加へて幻影の如き一種の情調を表現することを尊重する主義。

【掌典長】シヤウテンチヤウ 宮内省式部職の官吏で祭典・儀式等の事務をつかさどる。

【衝動】シムウドウ Impuls (英)の譯 慾望の如く意識を加へることなく外界の刺激によつて自然に動き出す無批判的の意向や動作のこと。

【ショート・スカート】Short skirt (英) 婦人洋服の裾の意。

【聖徳太子薨】シヤウトクタイシマゲ 大正時代に流行した婦人の鬢の型「耳かくし」に同じ。

【少年義勇團】セウネンギユウダン Boys Scouts (英)の譯 少年に硬教育を與へることを目的として英國の陸軍中將パーテン・ボウエルが創唱した新運動の一。

【少年軍】セウネンジン 少年義勇團に同じ。

【少年裁判所】セウネンサイバンシヨ 十八歳以下の少年の犯罪又犯罪の虞れある者に對し少年の世界に立ち科學的な立場から慎重・精密に之を裁判して訓誨を加へ或は父兄に引渡して保護せしめる等主として不良少年を善化せしめるを目的とする裁判所。我國では大正十一年に設置された。

【少年小説】セウネンセウセツ 少女小説の對、少年の世界から見た世態・人情の動きを描寫して少年に讀ませる爲めに作る小説。

【小農制】セウノウセイ 一農家が比較的狭い耕地を有し之を耕作するに大農制の如く大仕掛の機械を使用しない經濟上の制度。

【情報局】ジヤウハクキョク 外務省の一局で國際間の情報に關する事務を取扱ふところ。

【小品】セウヒン 作者の耳目に觸れた自然や心に湧いた感想を短文にて描寫した作品。
【消費稅】セウヒセイ 砂糖・石油・織物等の如く物品を消費する者に負擔せしめる間接稅の一で物品を

購入する時その代金のうちに税の幾分が加つて居るものをいふ。

【消費組合】セウヒクミフヒ 日常生活必需品を比較的安値なる生産者から直接購入し之を組合員に賣捌きて其生活上の負擔を軽減し且つ賣買によつて得た利益金は買上高に應じて組合員に配當する組織の組合。

【消費貸借】セウヒタイシヤク 金銭又は之に代るべき代替品グイタイヒンを借り受けそれを返却するに際し同一の數量又は種類を以てする貸借法。

【商品券】シヤウヒンケン 商品切手ともいふ、一定の金額を記入した無記名式證券の一種で之をその發行商店に持参すれば随時に所要の商品と交換することが出来るのみならず少額を割引して現金と引替へる營業者も出来て居る、又別に電車の回数券式になつた「小口商品切手」といふのや各種の商品販賣者に共通する「共通商品切手」といふものもある。

【消滅時効】セウメツジカウ 法律で定められた一定の期間を経過して債権の効力が消滅すること。

【乗務員】ジヨウムケン 汽車・電車等で直接乗客に接觸する車掌・給仕などをいふ。

【情味】ジヤウミ 感情や情調のゆるく豊かな味ひ。

【勝利の扮装】シヨウリノフニサウ タンク帽子を見よ。

【條約局】ジヤウヤクキョク 外務省四局の一で條約及び

國際間の法律に關する事務及び陸海軍戰爭法規その他軍事に關する條約の制定・改正等をつかさどる。

【剩餘價值説】ジヨウヨクナセツ 獨逸の社會學者カール・マルクスの價值説である、マルクスは經濟價值はすべて労働より生れるものとした、従つて労働によつて生れた製品の利益或は富は労働者に歸すべきであるが其實は労働者の生んだ富の大部分は資本家の手に入つて了ふ、従つて資本家の得る富は労働者に對して支拂つた最低の賃銀の剩餘である即ち資本家は労働者を搾取した剩餘の富をいふ。

餘價值に依つて富むと言ふ事實をこの學説に依つて説明した。

【女給】ジヨキフ ①女給仕の如であるが主としてカフェエーの女をいふ。②活動寫眞館の切符賣や女案内人のこと。

【職業病】シヨクゲフビヤウ ①紡績工の肺病・仕立職の胃腸病等の如く其職業によ起る病氣。②職業婦人に見る生活の不安定を憂慮する一種の神經病。

【職業婦人】シヨクゲフフジン 一定の職業に従事して自力で生活を營み又は家計を補助する婦人の總稱であるが主として女タイピストや事務員や看護婦などについて言ひ農業や漁業や其他の激しい筋肉労働に服する女子については言はぬ。

【植字】シヨクジ 普通には「チヨクジ」と訛つて言ふ、印刷所で活字を植ゑつけて版に組むこと、又その係りの工手。

【職女】シタクジヨ 男子の工場労働者を職工といふに對し女子の工場労働者、即ち紡織工場に働く種

類の女工をいふ。

【食餌療法】シヨクジレウハフ 病氣は藥物以外に日常食物の性質・分量の良否によつて治し得るとの見地から飲食物に學問的研究を加へたものが食餌療法である。

【食堂車】シヨクダウシャ Dining car (英)の譯 長距離を走る汽車に對し乗客の便利をはかる爲め聯結する食堂装置の車輛。

【助産婦】ジヨサフ 昔の産婆サンバ・取上婆のこと、現今の産婆の大部分は若い婦人である所から「婆」の字を不穩當なりとして改めた語。

【女子國有】ジヨシコクイウ 歐洲大戰當時露國が極端なる人口増殖策として採用した法律で十八歳以上の女子をすべて國有とし國家に利益のある場合は女子の承認を待たず國家の命令によつて一切の結婚をなさしめることを規定した。

【食糧局】シヨクリヤウキョク 農林省の一局で米穀法の施行其他主要食糧の需供を調節し又耕地に關する

事務をつかさどる。

【處女演説】*Shoeborn Maiden speech* (英)の譯
初めて演壇に立つてする演説の意。

【處女會】*Shoeborn* 義務教育を終つてから結婚する迄の女子を會員とし修養と親交とを目的として青年團と同様市町村に組織せられる團體。

【處女航海】*Shoeborn Maiden voyage* (英)の譯
①船盤が建造されて後初めて試みる航海
②新に開かれた航路を初めて航海すること。

【處女作】*Shoeborn* 藝術家が初めて社會に公表する作品。

【處女出版】*Shoeborn* 初めて刊行する出版物。
【處女地】*Shoeborn* *Virgin Soil* (英)の譯 まだ一度も手を入れぬ天然のまゝの原野。

【處女林】*Shoeborn* まだ一度も手入れをせぬ天然のまゝの森林。
【處女飛行】*Shoeborn* ①飛行家が初めて飛行すると
②新に開かれた航空線を初めて飛行すること

【女性中心説】*Shoeborn* 現在に於ける女性の性情・状態が人間本来のもので男性は變態であるから社會各方面の中心を女性に置かねばならぬといふ説で米國の社會學者の言ひ出した言である。

【シエック】*Shock* (英) 感動・激動・動搖、又感觸・衝突等の意にも用ゐる。

【シエット】*Shot* (英) ①彈丸・彈丸の發射・射撃、又射手
②陸上競技の球投げにもいふ。

【シブ・ガール】*Shop-girl* (英) 商店の店頭で働く賣子のこと。

【女人主義】*Shoeborn* 女性の地位向上・束縛の解放・女權擴張・性の解放等をモットーとする主義、即ち婦人解放の意。

【庶民銀行】*Shoeborn* 地方自治體によつて經營せられる質屋式の簡單な銀行。

【庶民】*Shoeborn* ①廣い意味では一般人民
②財政・經濟上では銀行から金融の便宜を得ることの出來

ぬ階級の人々、近來は特にこの階級に屬する人の金融機關たることを標榜して「庶民銀行」と稱するものが出現した。

【庶民教育】*Shoeborn* 社會教育と同意。

【諸陵寮】*Shoeborn* 宮内省の一局で歴代天子の御陵・皇族陵墓の管理及び調査に關する事務をつかさどる。

【女優まげ】*Shoeborn* 女優によつて創められた髪のかき方、結び方で髪を出さずして髪を後ろに垂れ襟のあたりで卍字形に編んで結ぶもの、しやれて前方を二つに分けたのもある。

【死亡賜金】*Shoeborn* 官吏が在官中死亡した時高等文官ならば在職最終年俸の三分の一・判任官ならば同三ヶ月分をその遺族に與へる一時賜金
【女流作家】*Shoeborn* 詩家・小説・文章等を創作する婦人。

【女流飛行家】*Shoeborn* 女子にして飛行家となつた人、婦人の飛行士。

【ジョン・ブル】*John-bull* (英) 日本人に對するジャップ・米國人に對するヤンキー等と同じく外人が英國人に與へた綽名である。

【シリンダー】*Cylinder* (英) ①蒸氣機關・發動機等の發動汽筒
②各種の機械に取つけられる圓筒
③印刷用の金屬棒。

【シルク・ハット】*Silk-hat* (英) 洋式の禮裝に用ゐる絹帽、禮帽。

【白】*Shoeborn* 帝國美術展覽會の審査に於て入選と決定せられた出品に貼る白札、轉じて其作品。

【白い秋】*Shoeborn* 秋になると自然も人もその他地上のあらゆるものが一様に白い色に包まれたやうな氣分を起さしめるところから秋を形容していつた語。

【白い手の労働者】*Shoeborn* 總て労働者の手は黒いものであり又黒いものゝ如く想像されるが獨り室内文筆労働者たる新聞・雜誌記者等の手が白いところからそれ等の者の意味として用

ある。

【四六版】シロクパン 書物の型の稱で四寸に六寸の大きさのもの。

【シロップ】Syrup (英) 正しくはシラップと發音する、砂糖水や精蜜や舍利別シヤラップの總稱であるが近頃は濃厚な砂糖水のやうに珈琲を溶いたコーヒー・シロップが最も流行して居る。

【白煉瓦】シロレンダワ 白色の煉瓦、化粧煉瓦。

【ジン】Gin (英) 麥類を原料とし之に糖液と酵母カッポトを加へて酒精醱酵を起し蒸溜せしめてから杜松トショウの實を之に浸し更らにテレピン油・ホッフ等の少量を加へ再度蒸溜せしめて作る白色透明の火酒クワシ。

【人為淘汰】シニクセク Artificial I selection (英) の譯 自然淘汰の對、人生に利益を與へる動植物について良好なるもののみを選択し之に人工を加へて改良・繁殖せしめ不良のものを淘汰すること。

【進化】シニクツツ Evolution (英) の譯 ①動植物その

他の生物が不定形から定形に・不調和から調和に・同質から異質にと變化・進歩する普遍的の方式 ②一般的には普通の進歩・開化等の意に用ゐる。

【シンガー】Singer (英) ①歌女、唄ふ人、鳴く鳥 ②歌人、詩人。

【人格】ジニカク Person lity (英) の譯 ①自由な意志と統一された意識を具有し道徳上の責任を受けるに堪へる資格、即ち意識・意志が明確で義務・責任を解し得る一人前の資格 ②人がら、人のねうち、人品。

【人格化】ジニカクツツ Personification (英) の譯 擬人法ジニハフを見よ。

【人格統一】ジニカクツツイフ 人類の複雑なる意識を智的作用によつて統一すること。

【人格同一論】ジニカクツツイワロン 歐洲中世紀に於ける神學者の説で人間の思想は時によつて變化するが自我は終生變はることなしといふ説。

【新人】シニジン ①新しい思想を抱ける人々 ②罪

を許されて新たに社會に生れ出る人 ③新婚の人の對、宇宙間に存在する一切の生物は簡單より複雑に、構造・分化なき生物より分化した構造へと進みつゝありとなす説であるが自然淘汰を以て説明したダーヴィンの進化論が現はれてからは學術界の空氣を一新せしめ空理・冥想を排して實驗を主とする傾向を生じた。

【心境小説】シニキヤウセツセツ 心境は人間本來の心持ちといふ意、一つの作品をつくる時の作者の心底境涯を小説の上に應用したのが心境小説で主として作者自身の或る場合に於ける心持或は鋭く心に映じた印象を表現するを趣旨として居る

【新機軸】シニキヂク 従來のものに一段と嶄新味マシシニミを加へたといふ意で商店の廣告等に多く用ゐられる語。

シ (シ+ハ+ハ)

【シングル・ベッド】Single-bed (英) 一人用の小型寢臺。

【新傾向句】シニケイカクツ 従來保守的・因襲的によつて規準せられてゐた我國の俳句が明治初年に擡頭ダイトウした自然主義の運動の影響を受けて言葉の上の約束や季節などの古い殻を脱し思つたまゝの氣分・感情・情調を率直に言ひ現はさんと試みるやうになつた、その傾向の句。

【新劇運動】シニゲキウन्दウ 裝飾的ではなく實生活そのままの印象を観客に與へる目的に施された舞臺装置の下に嚴密に忠實に人間生活の眞髓を演出せんとする運動。

【ジノイイズム】Jingoism (英) 主戦論・桃太郎主義・侵略主義・力づくで取る主義。

【新講談】シニカウダン 形も内容も千遍一律であつて従來の「講釋師式」の講談に多少の新味を加へて小説風に書いたものをいふ。

【人工避妊法】ジニコウヒニンハフ 人工を以て妊娠を防ぐ

法で國家としては特別の政策として行ひ個人としては養育の煩勞を避けることや婦人の容姿の衰退を防ぐために行はれる。

【審査外】シナグライ オール・コンクールに同じ。

【信使】シナ Messenger-boy(英)の譯 銀行・會社・商店等に雇はれて取引先や得意先へ商品を配達したり書面を送達したりする給仕・小使に類する人。

【人證】ジンシヨウ 法廷に於ける證人の陳述による證據、即ち證據人。

【人身權】ジンシケン ①身體の安寧・自由・名譽等に關する權利 ②夫婦・親子等の親屬に對する權利。

【心證】シンシヨウ 裁判官が證據物件によつて判斷して得た確證。

【人事局】ジンシキョク 陸海軍の兩省にあつて軍務内に於ける人事に關する一切の事務を取扱ふ。

【神社局】ジンシヤキョク 内務省の一局で神宮・官國幣社・府縣郷社・招魂社・その他神社に關すること

及び神職・神官に關する事務を行ふ。

【紳章】シンシヤウ 臺灣の住民にして學識・資望を有する者に對し名譽の表徴として總督府から附與する記章。

【シンデイカリズム】Syndicalism(英) 産業・労働革命主義及びその運動。

【シンデイクート】Syndicate(英) ①企業の聯合、買占め、市場を獨占する目的を以て事業の一部又は全部の聯合をなすこと、又 Under King syndicate は事業引受組合と譯し運河・鐵道等を共同出資して經營する事業家の聯合、Underwriting syndicate は債券募集保險組合と譯し公債・社債等の賣出しに際し聯合してその募集を引受ける銀行團のこと ②委員會、理事會。

【進水式】シンスイシキ ①新造艦船を初めて水上に浮遊せしめる式 ②初めて經驗することや使用する意味にも用ゐる。

【人生觀】ジンセイクワン 人生の目的・價值・標準・狀態

等に對してその人の有する見解。

【人生の縮圖】ジンサイノシュツツ 人間生活の複雑極りなき状態を繪圖で現はすの意で極めて狭小なる場所に於てあらゆる裏面的事象の行はれて居る外觀をいふ。

【人生の爲めの藝術】ジンサイノタメノゲイシュツ Art for life's sake (英)の譯 藝術の爲めの藝術に對する語で藝術の目的を社會・人生の福利の上に置いて作られた作品又はそのことを以て創作上の標準とする主義。

【人生派】ジンサイハ 人生の爲めの藝術を目的とする一派。

【新世界】シンセカイ 新たに開かれた場所、又南北アメリカ洲をいふ ②精神方面に於ても新たに安住の境地を見出した時などにいふ、即ち精神の生くべき新しい世の意。

【人造眞珠】ジンギョウジンジュ どぶ貝等を原料として種種の工を加へ化學應用にて光澤をつけたまがひ

眞珠で主として貿易品として取扱はれる。

【人造絹絲】ジンギョウケン Artificial silk (英)の譯 略して人絹ジンケンともいふ、濃硫酸八五・硝酸一五の割合にて混合した液中へよく洗つて乾燥せしめた綿を浸し一定時間後引上げて十分に絞り洗つて乾かしたもので濕氣に弱い缺點はあるが生絲の代用品としてネクタイ・刺繡・組紐等の原料に用ゐられる。

【人造肥料】ジンギョウヘリウ 金肥に同じ。

【新中央團體】シンチュウウワウダントアイ 歐洲戰爭後に獨立したチエツクスロバツク人・ポーランド人・ユーゴイストラヴ人の組織した團體でハンガリーに於て同政府の壓制下に苦んで居るそれ等の國民を解放し中歐民族全部の利益を保護することを目的とする。

【人定法】ジンテイハフ Artificial Law (英)の譯 自然法の對て法理學上すべて人類が制定した法律をいふ。

【心的科學】シニテケツカク 心理・論理・教育學等の如く主として心意現象を研究する學問。

【清朝體】シニテウタイ 活字の一式で「しんてう」と略稱し名刺の印刷などに廣く用ゐられる。

【人道主義】ヒトドウシヤク Humanism (英) ①博愛主義と同意、各個人が自我・慾望を制して自己と同様に他人を愛し人類全體の幸福をはからんとする主義 ②文藝上では自然主義によつて求め得た人間性はまことのものでなかつたから正しい健全な愛を以て之に代へ本當の人間性にめざめんとする主義。

【新馬鹿大將】シニバカダイシヤウ 伊太利のイタラ活動寫眞會社專屬の喜劇俳優アンドレー・デイードの扮装が昔のドンキホーテ物語の主人公に似ていかにも間が抜けて居るところから新しい馬鹿大將といふ意でつけた名、一般に道化ダウゲ上手な人をつぶ。

【シンパシー】Sympathy (英) 同情、感懐、慰藉。

【新派悲劇】シニバヒゲキ 大正の初年壯士芝居風の小説を活動寫眞にとつて悲劇と稱したが現今では安價な涙を催ふさせるお芝居的な低級なものをいふ。

【神祕】ハヤ Mystery (英) の譯 普通の理論や認識の外に超越し言語・思想を以て説明することの出來ぬ絶対不可思議のもの。

【審美學】シニビガク 美と醜との性質・法則等について研究する學。

【神祕主義】シニバヒゲキ Mysticism (英) の譯 ①哲學上では理性主義と相對して一切の事物を批評し理性的に思考する傾向に反對して客觀と主觀とを對立せしめず直接に現象の中に於て實在を發見せんとする主義 ②文藝上では自然と人生とのうちに不可思議の力や存在を探り實感を超越した冥想や靜觀に生きんとする主義 ③宗教上では教會の形式や束縛に拘泥せず直接に神靈と融合せんとする主義等總て理性を超越して絶対に悟

入する傾向をいふ。

【シンフォニー】Symphony (英) ①靜音、和音 ②合奏、絃樂。

【シンプリファイ】Simplify (英) 單一にする、簡明にする。

【シンプル】Simple (英) 單純、單調、平易な、露骨な。

【人文】ジンブン culture (英) の譯 人類の開化、文化

【新聞學】シニブンガク 新聞の編纂から印刷・販賣に至るまで新聞紙に關する一切のことを研究する學

【新聞眼】シニブンガン Newspaper (英) の譯 普通人の氣づかぬ處へ著眼して新聞材料を探し出す眼力又は能力。

【新聞縮刷】シニブンシュツサツ 新聞紙を縮刷版に複寫したもので昭和二年に朝日新聞の試みとして一ヶ月分を纏めて四分の一大に縮刷し紙質も上等のものを使用して發賣したが保存に適する爲め好評を博した。

【新聞辭令】シニブンジレイ 官公吏の任免をまだその當人が辭令を受けぬ先に新聞社に於て探し出して書き立てること。

【新聞通】シニブンツウ ①新聞學の別名 ②新聞に關することならば何でも知つて居る人、新聞の通人。

【新聞電車】シニブンデンシャ 大阪の郊外電車會社が夜の十二時に終電車を出した後特に郊外住宅地に配達される新聞の朝刊を輸送する爲めに運轉せしめる貨物室附の電車のこと 午前二時乃至三時頃に發車する。

【新聞の新聞】シニブンノシブン 新聞の記事を集めて一冊の雜誌とし讀者に對する刺激を新らしくする意味で提供されるもの。

【新聞博士】シニブンハカセ ①大學の新聞科を卒業した後博士號を得た人 ②新聞通。

【人文範圍】ジンブンハンキ 人類が國家的單位から離れて同一程度の文明を保ち同一種類に従つて互ひに交通し人間一切の慾望に満足する素質をつく

ることに努力する範圍。

【新法博】シンハフハク 新聞の標題などによく出る文字で近頃學位を與へられた法學博士の意。

【シンボリズム】Symbolism (英) 象徴主義と譯する、其項を見よ。

【シンボル】Symbol (英) 象徴に同じ。

【人本教育】ジンホンケウイク 人々の個性を尊重し規律ある自由の下に置いて調育する教育法。

【新マルサス主義】シンマルサスシュイギ 英語では Neo-Malthusianism 一八二二年英人ブレースが創唱した論、マルサス主義は人口の増加と生活必需品の生産とが伴はないから各人の道徳的意志によつて節約し人口の増殖を制限して之を調節するといふにあるが新マルサス主義では多産から起る生活上の困難・出産によつて早老する婦人の不幸を除去することを眼目として受胎を豫防し二兒以上を産んではならぬと主張してゐる。

【シンメトリー】Symmetry (英) 調和、釣合、相似、取合せ。

似、取合せ。

【人類愛】ジンルキアイ ①萬物の長たる人類として享有せる高尚なる愛情 ②人間に對して有する愛情

【人類教】ジンルキケウ 人類の爲めに盡す愛他の情を宗教の根本要素とする教、人道教。

【心理】シンリ 事實と思想とを連結する永久不變の靜的關係をいふのであるが同時に又人生を完全の域に導く動的のものでもある。

【心理學】シンリガク Psychology (英) の譯 人類の意識・精神の活動を解剖分析して共通の法則を見出し全體的の精神活動・意識生活の真相を明らかにする學問で普通心理學と特殊心理學とに大別し特殊心理學は更らに社會心理學・變態心理學・兒童心理學・實驗心理學・青年心理學・動物心理學・精神分析學等に分類されて居る。

【心理的】シンリテキ 物質的の對、精神的といふに同じ、すべて人類の精神方面に關することについていふ。

【心理派】シンリハ 經濟學・社會學その外すべて學問を基調として心理的方面から社會現象・經濟現象を説明せんとする學者の一派。

【心理描寫】シンリベウシヤ 自然描寫の對、近代小説の一特色となつて居るもので自然よりも心理を描出することを主とする文藝上の手法。

【心理療法】シンリレウハフ 病者に對し藥餌を用ゐることなく専ら精神感應の理論を應用して適當の治療法を施すこと。

ス (ス・ツ)

【スイート】Sweet (英) あまじ、楽しい、香ばしい。

【スイート・ハート】Sweet-heart (英) 愛人、戀人、男から見て愛する女のこと、女から見て愛する男はラヴアーである。

【スイート・ピー】Sweet-pea (英) 蔓性豆科の植物で花は豌豆エンドウに似て白・淡紅・淡紫等いろいろあるが何れも粗野の中にあつて可憐な情趣に

富んで居るのみならず戀を語る花として若き男女に愛せられる。

【スイート・ホーム】Sweet-home (英) 英國人が理想とするものゝ一で楽しい家庭の意。

【隨意契約】スイイケイヤク 物品の購入・請負工事等の際公入札の手續によらず相手を自由に選んで行ふ取引契約。

【水泳ガール】スイイガール スキエイ活動寫眞の映畫中に水泳著をきて半裸體のまゝ現はれる女優のことで日本ではさほど注意されて居ないが歐米では水泳著のまゝカメラの前に立つのは醜業婦の外にないから水泳ガールは卑しいものとされ従つて之を使つた映畫は下品なものとして取扱はれる。

【水彩畫】スイサイガク 油繪に對して生れた語で水で溶いた繪具で描く洋畫、水繪ミヅエともいふ。

【水産局】スイサンキョク 農林省の一局で漁政・水産・北洋の三課に分れ全國の水産に關する一切の事務を取扱ふ。

【推薦校友】スチセシカウイウ 私立大學の在學生にして病氣・入替・成績不良などの廉を以て半途退學した者が後日相當の社會的地位を占めるに至つた時寄附金其他の援助と交換的に母校から卒業生と同等の待遇をなす意味を以てその人に附ける名稱。

【スイッチ】Switch (英) ①電燈等の開閉器 ②鐵道では轉轍機テンテツキ。

【水雷堰】スクリイセキ 歐洲大戰當時國英國で行はれたもので從來の水雷豫防法の如く網を引廻したり水面下十八尺乃至二十尺のところに機械水雷を布設して敵の潜航艇を防いだりする方法よりも一步を進め海底にまで機械水雷を沈設し海中全體に水雷の堰をつくる防禦法。

【水神社】スヘイシヤ 舊時代の制度の缺陷から同じく日本臣民でありながら特殊部落として區別されて居た同胞が名實共にその誤れる階級を打破する爲めに組織した團體。

【スイス・アブサント】Swiss Absinthe (佛) アブサントの代表的なもので南佛蘭西から産出するアブサントの項を見よ。

【睡眠口座】スチメンツキ Sleeping-Account (英) の譯貯金其他の計理事務に於て一時的に取引が休止の状態になつた口座のことで例へば銀行の當座預金取引で取引は一時休止してゐるが當座契約は存続してゐる如き類である。

【推理】スキツ Reasoning (英) の譯 或る一つの事實・斷定からその理論を推し進めて次の事實・斷定を見出すこと、例へば「梅も散つた、櫻も散つた、桃も散つた」といふ事實から「梅も櫻も桃も花である」と考へ及ぼし「花はすべて散るものである」といふ斷定に到達する類である。

【スイート・ケース】トランクを見よ。

【スーパー】Super (英) 正しくはシューパーと發音する、超過・超越等の意。

【スープ】Soup (英) 西洋料理の本皿の前に出る

吸物、肉汁。

【据置貯金】スエキチヨキン 月掛・月二回掛等の定めて特定の預金を繼續し契約期間の満了した時に至つて纏つた金を受取る貯金法で期間内に拂戻しすることは出来ぬ。

【スカート】Skirt (英) ①婦人のはかま、裾 ②横隔膜ソウカクマツ。

【スカート・ダンス】Shirt-dance (英) 袴の裾を振廻すやうにして踊るダンス。

【スカーフ】Scarf (英) 肩かけ、襟巻の類。

【スカイ・ブルー】Sky-blue (英) 色調の一、濃碧色ソウヘキシヨク、そらいろ。

【巢鴨行】スガモユキ 東京の癡狂院が巢鴨行電車の終點際にあつたところから其所へ行くといふ意で狂人のことをいふ。

【スキー】Ski (英) 雪靴と譯する、三尺乃至四尺の木製の角棒をつけた靴で氷雪の上を滑る戯具、轉じてその遊戯。

【スクラップ・ブック】Scrap-book (英) 新聞・雑誌の切抜を貼込む帳、切抜帳、轉じて「新聞の新聞」をスクラップ・ブックと形容することもある。

【スクリーン】Screen (英) ①屏風、衝立、障子、すだれ、又目かくし ②活動用語では映畫幕 ③寫眞製版用語では寫眞網版ファミンを作る時に用ゐるレンズと反對の所に置かれる網目又は砂目スナノガラス板。

【スクリーン・サン】Screen son (英) 映畫劇中の子役。

【スクリーン・プレイ】Screen play (英) 映畫劇と譯する、その項を見よ。

【スクリーン・マザー】Screen mother (英) 映畫劇に於て母となつた者。

【スクリーパー】Screw propeller (英) の略 船の螺旋推進機ラセンスケツキ。

【スケイティング】Skating (英) スケートともいふ、氷雪の上を滑走する遊戯。

【スケール】Scale (英) ①物さし、度合、等級 ②階段、梯子段 ③かまへ、かまひ、規模。
 【スケッチ】Sketch (英) 小品、寫生、又粗畫。
 【スケプティシズム】Scepticism (英) 懷疑説と譯する、其の項を見よ。
 【スケプティック】Sceptic (英) 懷疑的と譯する。
 【スコア】Score (英) ①畫線聯合奏樂 ②總得點、又得點表。
 【スコリア・ブック】Score-book (英) 總點數記入帳簿、採點簿。
 【スコッチ】Scotch (英) 毛絲の一種、又それにて織つた毛織物。
 【スコラステシズム】Scholasticism (英) 歐洲中世紀に基督教の黄金時代を示現した時には學問も哲學も單にその教義を解釋する道具に過ぎなかつた、その頃の哲學のことで煩瑣哲學ハンナラガと譯する。
 【涼しい顔】スズシイカホ ①物にこだはらずして罪の

ない顔付 ②或事に關係を有しながら無關係の如く裝ふてすまし込んで居る顔付。
 【涼しい博覽會】スズシイハクランクワイ 納涼博覽會と同意であるが「納涼」の語調が堅くして著しい感じを與へると言ふ見解から「涼しい」と稱名したもので讀賣新聞が初めて用いた語。
 【鈴蘭】スズラン 蘭科植物の一、山野に自生して可憐な合瓣花を開き詩人などに愛好せられる。
 【スター】Star (英) ①星、星標 ②勳章 ③大立物、花形、轉じて一般に映畫俳優中の人氣者をいふ。
 【スタート】Start (英) ①發端、出發する、出發點 ②動き出すといふ意にも用ゐる。
 【スター・プレーヤー】Star-player (英) 運動競技の花形選手。
 【スターベーション・ポリシー】Starvation policy (英) 絶食政策、兵糧攻め。
 【スタイル】Style (英) ①態度、風采、風采 ②建築上では「式」文章上では文體の意に用ゐる。

【スタチュ】Statue (英) 彫刻した肖像、彫像ヲウ、又畫像。
 【スタンド】Stand (英) ①起立 ②視覽臺、棧敷、講座、演壇 ③商店、販賣臺。
 【スタンプ】Stamp (英) ①印刷、足跡 ②郵便消印、俗にスタンプを押したと言へばしるしをつけられた意から若い女が既に情交済となつたことを意味する。
 【スティム】Steam (英) 湯氣ユゲ、蒸氣、又それを用ゐる暖房裝置。
 【スチュー】Stew (英) とろ火で蒸煮にすること、ステュード・ミート(蒸煮した肉)、ステュー・パン(蒸焼鍋)などトココフ。
 【ステューデント】Student (英) 學生、大學生、又研究者。
 【スツールム・ウント・ドラング】Sturm und Drang (獨) 獨逸のロマンティズム以來の合言葉で舊來の傳習を破壊せんとする傾向についてい

ふ語、破壊又は狂癡と譯する。
 【ステリオタイプ】Stereo-type (英) 俗にステロといふ、活字で組んだ原版を紙型に取りそれを鉛版に寫したものを。
 【ステインド・グラス】Stained-glass (英) 各種の色を焼付けた硝子の小片を組合せ種々の模様・圖案等を現した板硝子、裝飾硝子の一。
 【ステージ】Stage (英) 臺、階段、又劇場。
 【ステージ・エフェクト】Stage-effect (英) 舞臺の上に於ける出來榮デキバエ、舞臺效果。
 【ステージ・マネージャー】Stage-manager (英) 演劇の時舞臺全體について指揮監督する役、舞臺監督。
 【ステートメント】Statement (英) ①記事・宣言書・始末書・陳述摘要書・一覽表 ②國の元首又は大官が外交上の懸引から新聞記者を通じて關係國民に發表する文書。
 【ステインリス・ステイル・ナイフ】Stainless steel

cel knife (英) 鋼鐵の成分から錆を生ずる成分を化學的に抜いて作ったナイフで鹽水につけても錆びない。

【ステップ】Step (英) 足どり、歩調、又汽車・電車等の段落。

【ステューディオ】Studio (英) ①畫室、作業室、仕事場、アトリエ ②寫眞館。

【ステンシル】Stencil (英) 薄板・皮・厚紙等に文字・繪畫を切抜きその型に繪具をつめて刷り込みにする印刷。

【ストイシズム】Stoicism (英) 克己説と譯する、その項を見よ。

【ストーム】Storm (英) 暴風雨、轉じて學校の寄宿舎に於ける賄征伐などをいふ。

【ストック】Stock (英) ①仕入貯藏品・持合品・在庫品 ②木の幹・丸太・家元・元金 ③公債・株式・貯蓄 ④農具・家畜。

【ストップ・ウォッチ】Stop-watch (英) 競走の時間を計る時極めて微細な時間まで計算し得る時計秒時計。

【ストライキ】Strike (英) ①労働者が豫定の目的を達する爲め的手段として多數團結して行ふ一時的の労働休止行動、即ち同盟罷工 ②學生に於いてもいふ、即ち同盟休校。

【ストライキング】Striking (英) 目につく、著しい、又拔群な。

【ストラックル・フォア・エキジステンス】Struggle for existence (英) 生存競争と譯する、その項を見よ。

【ストレンジジャー】Stranger (英) ①一面識もない人、又外國人 ②局外者、門外漢。

【ストロベリー】Strawberry (英) ちぢこ、草莓クサイナゴ、又その味のするもの。

【スナップショット】Snapshot (英) ①映畫劇中呼物の一部又は一場面を撮つた普通寫眞、又活動寫眞の映畫中に現はれる小スケッチ映畫 ②早取寫

眞、又連射レシヤ。

【砂風呂】Sand-bath 保養風呂の一種であるが内實は女を雇ひ置いて醜行をなさしめる場所。

【スパーク】Spark (英) 火花、電車のボールと架空線カクセンの間から發する火花、電氣火花。

【スパイ】Spy (英) 間諜、密偵、手先、いぬ。

【スパイク】Spike (英) 野球に用ゐる裏に特種の釘をうった靴。

【スパッツ】Spats (英) 短靴用の短いゲートル。

【スピーチ】Speech (英) 演説、講演、言語、發言。

【スピット・ボール】Spit-ball (英) 野球にてカーダを出す時空氣面と球との摩擦個所に一部分だけの相違をつけるため油又は唾をつけた球。

【スピリチュアル】Spiritual (英) 形而上クイビジャウ・靈的・精神的。

【スピリット】Spirit (英) ①生氣、靈魂、精神 ②幽靈 ③酒精の意味もありガン・ブランドー等の強烈な酒をいふ。

【スピリット・フォトグラフ】Spirit-photograph (英) 念寫と譯する、その項を見よ。

【スフィンクス】Sphinx (英) 建國時代の埃及人エジプトンが建造した人頭獅子身像でカイロー附近に今も残つて居るがその風貌が黄古の謎を語るもの、やうで有る所から謎の意味にも用ゐる。

【スプーン】Spoon (英) 洋式食器の一、匙サビ、ティール・スプーンは珈琲・紅茶用の匙。

【スプリンター】Sprinter (英) スプリント (Sprint) は全速力で走る意、短距離競走者。

【スペイン風邪】Spanish-Induenza (英) インフルエンザ菌の作用に基く危険性の流行性感冒で全世界を通じて流行するから世界風邪ともいふ。

【スペース】Space (英) ①空間、餘地、間隔、場席 ②船腹センツク、又時間の意味にも用ゐる。

【スペキュレーション】Speculation (英) 思索、投機

【スペクトラム】Spectrum (英) 三稜鏡サンリウウキヤウ

等の分光器で分解された光線のつくる色帯シキタ
イ、分光、分光影。
 【スペクトル】Spectre (英) 化物、幽霊、妖怪、
 スペクトラムと混用するのは間違つて居る。
 【スペシャル】Special (英) ①特別の、特殊の、別
 仕立の ②特別、特殊トクダネ、新聞の號外、特派員、
 特別試験、臨時列車。
 【滑りネクタイ】スベリ 締りをうまくする爲めカラ
 ーと接觸して滑り易い様に考案されたネクタイ
 【スペル】Spell (英) ①呪文ジュモン、綴字 ②休憩時
 間、勤務時間、又交代。
 【スペンセリア】Spenseria (英) 英國のスペンセ
 リア會社で製造する先の細いペンで細字を書く
 に用ゐる。
 【スポイド】Spoid (英) 万年筆のインクさし、注
 入管、又洗濯用器。
 【スポーツ】Sport (英) 遊戯、運動、娯樂、競技、
 戸外遊戯、スポーツマンは運動家。

【スポーツマン・シップ】Sportsman-ship (英) 運
 動家氣質、運動家精神。
 【スポンジ】Sponge (英) ①海綿 ②食客、かゝり
 人、こくつぶし。
 【スポンジ・ケーキ】Sponge-cake (英) カステラ
 を適宜に切り砂糖又は果物のあしらひを添へた
 もの。
 【スポンジ・タイヤ】Sponge-tyre (英) 内部に海
 綿狀の護謨ゴムを充填した最近發明のタイヤ。
 【スポンテニアス】Spontaneous (英) 自發的と
 譯する、其項を見よ。
 【スモーキング・ルーム】Smoking-room (英) ス
 モークとも略稱する、喫煙室のこと。
 【スライダー】Slider (英) 野球競技でベースに滑
 り込みをする時受ける傷。
 【スライディング】Sliding (英) 野球競技でベース
 の減り込みをすること。
 【スライディング・ルール】Sliding-rule (英) 計算

尺と譯する。

【スリー・ベース・ヒット】Three base hit (英) 野
 球競技に於て打手が安全球を飛ばし一擧して三
 塁まで突破すること。
 【スレート】Slate (英) 石瓦、石盤、又屋根を葺
 く用ゐる石盤瓦。
 【スレーヴ】Slave (英) 卑劣漢、破廉恥漢、奴隸、
 雇主の監視の下にある賣笑婦。
 【スローガン】Slogan (英) ①突喊、突喊の時の合
 言葉 ②商業用語としては廣告・包裝・便箋等を利用
 して消費者に向つて突貫する意味の標語として
 用ゐる。
 【寸鐵記事】センチメンタル 新聞・雑誌等にて時事問題を
 捕へ來り僅かな行數にて巧みに報道し且つ評論
 する記事。

て軍事上・經濟上その他他國政府のすべての行
 動を制限し得る國家の權利。
 【生活意識】ライフ・ウィル Wille zum Leben (獨) の
 譯 意識を用ゐず自然的に死を厭ひ生を欲する
 人間本來の欲望。
 【請願巡査】ペイワランジュンナ 當局にて配置せられる巡
 査以外に個人又は會社・銀行・町村等に於て入費
 を納付し地方長官に請願して許可された者に對
 し特に配置せられる巡査。
 【世紀病】セキビヤウ 物質文明の脅威と精神生活の
 動搖とから生じた一種の精神變動病で十九世紀
 以來に現はれた厭世的懷疑思潮がそれである。
 【世紀末】セキマツ Fin de siècle (佛) の譯 厭世・懷
 疑・無信仰・生活苦の時代といふ意で十八世紀の
 産業革命以後思想上や生活上に雑多ないら／＼
 した陰鬱な病的現象が續出し人々を刺激興奮せ
 しめ病的状態に陥らしめるのがその特徴である
 【聖苦】セイク 夫婦愛の結晶が嬰兒エイジとなつて現

セ (ゼ)

はれる時の陣痛チンワウの苦しみ、生みのなやみ。
【静劇】セイゲキの静 Theatre (英)の譯 舞臺上の動作を以て最大要件とした従来の劇に反し専ら情調を尊び幽玄神祕の気分又は意匠を舞臺面に演出せんとする劇で極端なものには科白セリフさへ用ゐぬ默劇セゲキもある。

【星董派】セイキンハ ①雑誌「明星」が詩壇のオーソリティーであつた頃その派に屬して星や董を歌つた人々 ②戀愛至上主義を信奉してきざな清新味を街ふ歌人や詩人。

【静坐法】セイザハフ 精神修養又は疾病治療の一手段として行ふ法で静座して臍下に氣を落ちつけ沈黙考して精神の集中統一をはかる法。

【政治劇】セイヂゲキ 政治的の色彩を加へてその變化及び將來の傾向を暗示する劇。

【生殖の管理】セイショクノクワリ 女子國有・側面結婚等によつて政府が國民の生殖のことについて特別の管理を行ふこと。

【生殖本能】セイショクホネノウ 生物にはすべて自己保存の本能と種族保存の本能とを持つて居るが生殖本能はその種族本能の働く力で春機發動期に於て最も旺盛である。

【成人教育】セイジンケウイク マダルト・エヂュケーションに同じ。

【精神検査】セイシンケンサ メンタルテストに同じ、其項を見よ。

【精神生活】セイシンセイクワツ Spiritual-life (英)の譯 肉體的生活の對、精神的方面なる思想・感情等の活動上の變化についていふ語。

【精神動員】セイシンドウキン 戦時に際し國民の敵愾心を振作せしめん爲めの標語で全國民舉つて戦争に参加して居る覺悟をもつこと。

【精神病】セイシンヤウ Mental disease (英)の譯 白痴・痴呆症・ハウシヤウ・虚言癖・舞蹈病・中毒・ヒステリー・色慾異狀症・生來犯罪人等の如く精神に異常ある疾患の總稱。

【精神分析學】セイシンブンシキガク Psycho-analysis (英)の譯 サイロ・アナリシスに同じ。

【精神療法】セイシンレウハフ 精神作用を應用して疾患の原因を究めて行ふ對症療法で心理療法と同意である。

【精神労働者】セイシンラウドウシヤ 筋肉労働者の對、業務の上に於て主として頭腦を使用する官公吏・會社員・教師等の勤人を言ふ。

【税制整理】セイセイセイリ 租税の負擔が過重であつたり納税者の負擔が不公平であつたりした場合之を整理して負擔を減じ且つ公平ならしむると。

【成績】セイセキ ①出来ばえ、仕上げ工合、成したる事の結果 ②自由労働者間にてはその勤務ぶり、又は操行等についていふ。

【生存競争】セイゾンキョウサウ 生活上・生物學上に於て同種族又は異種族相互の間に行はれる優者と劣者のあらしひ ②生活上の競争の激しいことを言ひ現はす語。

【青踏派】セイタフハ ①十八世紀に英國に起つた婦人參政權要求者の一派が青色の靴下を用ゐた所からその派の人々の稱呼となつた語 ②日本では新しい文學運動を起した女子の一派の意に用ゐて居る。

【政壇演説】セイダンエンゼツ 政治家が自己の政見を發表する爲めに試みる演説。

【青島劇】セイチウゲキ アメリカの活動寫眞會社ブルードで製作した映畫劇の意で米大陸を背景として極めて幽幻的に戀愛物を撮して居る點を特徴として居る。

【政黨】セイタウ 政治上の意見を共にする政治家によつて組織せられる繼續的の團體。

【政黨政治】セイタウセイヂ 政黨内閣によつて行はれる政治。

【政黨内閣】セイタウナイカク 官僚内閣に對する語、政黨員によつて組織せられる内閣。

【青年團】セイネンダン 地方自治體の青年によつて組

織せられた團體で團員たる青年の智徳の啓發をはかり兼ねて其地方に於ける社會・公共の爲めに奉仕すべきことを目的として居る。

【生の争闘】 *セイノトウサウ* 自我のままに生活し得ざる人間界の苦しみ、即ち人間として生きんが爲めに経験する各種の苦惱のこと。

【性病科】 *セイビヤウクラ* 性病が科學として取扱はれるやうに成つてから生じた語で花柳病其他の性的病疾を診療する一分科の意。

【静物畫】 *セイブツガク* Still life painting (英) の譯 人物畫や風景畫や動物畫に對して器具・花卉・果實等の静物を描いた繪をいふ。

【生物化學】 *セイブツケガク* 動・植物の生活現象を化學的に研究する學問。

【姓名判斷】 *セイメイハンダン* 姓名の字畫・運數・性質・意義等によつて其人に來らんとする吉凶・禍福を判斷し惡しきものは改名せしめんとするうらなひの一種。

【性慾】 *セイヨク* Sexual desire (英) の譯 異性に對する肉體的の慾望をいふ。

【生慾】 *セイヨク* ① 生物の有する性慾其他の一切の慾性をさしていふ ② 性慾に對して生きんとする欲望。

【懲政者流】 *セイヨクシャリウ* 政治家のうち己の勢力・地位を高めることのみを念とし努めて政權を掌握せんことに熱中する人々。

【制慾主義】 *セイヨクシユイ* 一切の慾望を節制して清き生活に生きんとする主義。

【精力主義】 *セイリョクシユイ* Effortism (英) の譯 ① 至善を實現するために人々の能力を圓滿に發達せしめんとする倫理學上の主義 ② 旺盛なる精力をもつて目的物に突進するやり方。

【政略結婚】 *セイリョクケツコン* 愛情の結合によるに非ず他に別個の目的又は野心等があつて政略的に行はれる結婚。

【セイラー】 *セイラー* (英) 水夫をいふ。

【セーフ】 *Safe* (英) 正しくはセイフである ① 無事、安全 ② 通行券、又金庫 ③ 野球では投手が完全にベースを保つた時又はそれに入つた時のと

【セーフ・イン】 *Safe-in* (英) 野球にて投手が走塁して生還することをいふ。

【セーフティ・アイランド】 安全島に同じ。

【セーフティ・ファースト】 *Safety-first* (英) 安全第一と譯する、其項を見よ。

【セーフ・ヒット】 *Safe-hit* (英) 野球にて大飛球を打つて相手の盜塁に便利を與へること。

【セーム・カラー・ディスプレイ】 *Same colour display* (英) 印象を強くする目的で同じ色彩の裝飾材料のみを用ひてする陳列方法。

【セオリー】 *Theory* (英) 正しくはスイオリーと發音する、學理、學說、原理、理論。

【世界】 *セカイ* 新語としては其社會・階級・範圍・天地等の意に用ひる。

【世界觀】 *セカイクワン* 宇宙の本質・構造・目的の有無

等に関する知見。

【世界苦】 *セカイグ* Weltschmerz (獨) の譯 フランス革命に因を發し舊信仰が破れたまゝで新信仰は未だ起らずその爲めに世界一般の人々が不安・懷疑の念におびやかされた十九世紀の疾患的風潮をいふ。

【世界語】 *セカイゴ* ① 各國がその國語を異にせる爲めに起る不便を除かんとして考案された世界共通の理想的言語のこと ② エスペランド語・ウルトランク語等がその中でも注意されたが廣く行はれなかつた ③ 比喩的の意味では「英語は世界語である」と言ふ諺から英語のことを世界語の意味に取る場合もある。

【世界主義】 *セカイシユイ* Cosmopolitanism (英) の譯 種族や國境を超越し廣く人類同胞説に根據を置いて相互の利益の爲めに世界を改良發達せしめんとする主義。

【世界的】 *セカイテキ* 一國や一地方を標準とせず或物

の存在や價值が世界を標準となし得る意、偉大であることを現はす語。

【世界風邪】セカイカゼ スペイン風邪に同じ。

【背皮】セガハ 背革とも書く、書物の背の部分だけ皮を使つて装幀したもの。

【赤衛軍】セキエイグン 革命の表象たる赤を衛る軍隊の意で露西亞の過激派政府に屬する軍隊をいふ

【石油消費税】セキイウセウヒゼイ 石油に賦課する間接税で製造場・税關・保税倉庫から引取る時一石につき二圓づゝ徴収する。

【赤化】セキカワ 「赤」が革命の表象となつて居るところから思想や政策が危険の方向に傾くこと。

【赤化防止】セキカワバウシ 過激思想を増長延蔓せしめんとする運動を赤化運動といひ其思想の延蔓又は其運動を防ぎ止めんとす赤化防止といふ。

【積極的】セキキョクテキ Positiv (英)の譯 消極的の對、肯定・作爲・進取・斷定等の意味を含む語。

【赤道祭】セキダウサイ 艦船がその航行中赤道直下を

通過する時に行ふ行事。

【赤道無風帶】セキダウムフウタイ 赤道の南北に起る貿易風の下層流が赤道地方で會する時一時大氣が靜穩となる現象。

【責任感】セキニンカン 業務上に於ける自己の責任を尊重する感情。

【責任支出】セキニンシユツ 政府が勝手に國庫剩餘金を以て支出に充當することで國法上禁じては居ないが常に其金額が多い爲め時々問題が持上る

【セクション・ペーパー】Section-paper (英) 製圖用紙の一で四つ目格子のついたもの、方眼紙ハッセンと譯する。

【セコンド・ハンド】Second-hand (英) 俗にセコハンとも略稱する、二度人手に渡る意で中古チラブル・古物等のこと。

【セセッション式】Session (英) 一八九七年英國の建築家ウグナーの主張した造形美術の一様子の世相】セウウ 移り變り行く社會の有様、世慮。

【セックス】Sex (英) 人類については男女、動物については雌雄の性別。

【ゼクステット】Sextet, Sextette (英) 音楽用語、六聲音又は六箇の樂器の合奏、六重奏、又其樂譜

【節奏】Rhythm (英)の譯 言語や音樂の上に現はれる調子又は拍子、即ちリズム 人類の感情に内在する情調のあらはれ。

【絶對】ゼツタイ 對者を絶すの意で「對比するものがない」「他に依存せぬ」「他の制限は受けぬ」等の意味を含む。

【絶對溫度】ゼツタイワンド 攝氏寒暖計の零下二百七十度を零度として起算する溫度。

【セット】Set (英) ①映畫の撮影に際してその場内に設備した舞臺装置の全部 ②一部、一組 ③口座、又仲間。

【節米】セツマイ 米價調節の一法として常食の米の分量を減じ代用食を以てその節約した分量を補ふこと。

【利那主義】セワナシユキ 人の心は利那に變化し一定の方針などはなしとする立場、即ち利那々々の情調・氣分を尊重しその間の斷定に基いて生活する主義。

【説明科學】セツメイカワガク 科學の一分科で心理學・物理學等の如く事物生起の事實を説明するものをいふ。

【節約同盟】セツケツドウメイ 生産と消費とがその權衡を失つて經濟界に動搖を生じた結果として生活難を來した場合等に於てそれを調節する目的で多數人が一致し節約の斷行をすること。

【セナリオ】Scenario (伊) 映畫劇の脚色、又番附。【ぜにとるマン】ゼントルマンをもじり紳士面をしながら慾張り金錢をたぬる人に對する冷評語

【セウン屋】セウエンヤ、一六銀行、質屋、英語のセウンがセである所から出た語。

【セラテイン】Gelatin (英) 動物の脂油から採つた膠ニカラ。

【ゼラニウム】Geranium (英) 天竺葵テンヂカアフリ

といふ西洋花の一で四季を通じて花を開く。

【セルフイッシュ】Selfish (英) 自己中心的な、わがまゝな。

【セルロイド】Celluloid (英) ヨムと樟脳シャウノウを
化合せしめた物で燃焼し易い缺點はあるがフイ
ルムの製作・装飾品其他の製造原料として廣く
用ゐられる。

【セレナード】Serenade (佛) 一種の戶外樂で夜
の調シラベ又は小夜曲等といふ、伊太利の民謡か
ら起つたものであるが後世には廣く聲樂又は管
絃樂クラウゲンガク等に用ゐられて居る。

【ゼロ】Zero (英) 正しくはジエロと發音する、
零、なし、零位、零點

【全權委員】ゼンケンキヤク 或る團體を代表して或る事
件に關しそれを解決するにつき必要なる一切の
權限を行使し得る代表者のこと。

【潜航艦戦】ゼンカウカンセン 潜航艦が本艦隊から分離

獨立し一つの艦隊を組織して敵艦隊と戦ふと。

【潜在意識】ゼンザイイシキ Sub-consciousness (英) の譯
心理學上の語で一種の潜勢力となつて意識領内
に保存されて居る意志の原素をいふ。

【潜在統一】ゼンザイトウイツ 精神作用を統一せしめる
こと、感情の統一。

【センサス】Census (英) 戸口調査、國勢調査、戸
口統計。

【全集】ゼンシュフ 一人の作者の作品を一部に纏めて
發行する書物。

【戦時法】ゼンジハフ 戦争に關する國際公法。

【戦時禁制品】ゼンジキンセイヒン 國際公法の局外中立法
により戦争中に於て中立國から交戰國に對して
輸入することを禁止した貨物。

【センシブリティ】Sensibility (英) ①覺性、感性
②實感、感光度カンクワウド、又敏感。

【センシユアル】Sensual (英) 官能的、肉感的、肉
慾をそゝる、肉體の。

【先取特權】ゼンシユトクケン 他の債權者に先んじて債
權を行ひ得る權利。

【全人格的】ゼンジンカクテキ 單なる感情の動きや利害
關係による行爲ではなくして人間としての全部
を盡す意。

【センス】Sense (英) ①五官、官能 ②意識、分別 ③
意味、意義。

【センセーション】Sensation (英) ①知覺、感覺、
感應 ②人氣、評判。

【戦争國】ゼンサウケン 國難に際し間接に軍隊を援助
する目的で米國に於て試みた設置で團體・個人
の區別なく全國を通じて百九十五萬個所の空地
に野菜栽培を行ひ之を戦争國と名づけ同時に國
民戦争國委員會といふものも設けられた。

【戦争病】ゼンサウビョウ 歐洲大戰以後戦禍に對する恐
怖と食料の缺乏による壓迫から起つた現象で多
くの婦人は心身に異狀を來しその婦人によつ
て産れる嬰兒も極めて不健全なる状態を呈した

【漸層法】ゼンソウハフ クライマックスの ②に同じ。

【專屬裁判籍】ゼンソクサイバインセキ 格段なる權利關係に
つき或る一定の裁判所に於て之を管轄すると。

【センチュリー】Century (英) 一世紀、又百人組。

【センティメンタリズム】Sentimentalism (英) 感
傷主義と譯する、感情が極めて鋭敏になつて少
しの事にも感應すること。

【センチメント】Sentiment (英) 感情、意嚮、情操
【先手をうつ】センチ 先んじて人を制し己を有利に
導く遣りぐち。

【先天】ゼンテン Al priori (羅) の譯 後天の對で生れな
がらにして具有する意。

【センテンス】Sentence (英) ①文章、佳句 ②宣告、
判決、又格言。

【ゼントルマン】Gentleman (英) 教養ある人、品
位ある人、紳士。

【先入主】ゼンニフシユ 前に得た體驗が後から得た體
験の上に働いて行く精神作用。

【潜熱】セネツ 固體が液體に變じたり液體が氣體に化したりする時その熔融液又は蒸氣に含まれて居る熱をいふ。

【專賣布告】セニバイフコク 革命後の露國政府が威嚇政策を遂行せんとして無闇に「布告」の文字を使用し宛ら露國政府の專賣の如き觀を呈した爲め之を諷刺していつた語。

【千三つ屋】セニミツヤ 萬三つ屋ともいふ、特許品や鑛山の賣付其他種々の事柄を周旋する人のとて「千に三つも當らぬ」といふ意を諷していつた語

【战友共済保險】セニイウキヨウサイホケン 陸軍服務者に限り加入せしめて種々の便宜を計ることを旨とする保險。

【專用權】セニヨウケン 人の智能によつて得た特許權・著作權・意匠專用權等の私權をいふ。

【千里眼】セニリガン 現今の心理學では未だ科學的に説明は下されて居ないが潜在意識の作用によつて能く遠方の物が見えたり密封した器物内の物を透視したりすること。

を透視したりすること。

【選良】セニリヤウ 代議士、衆議院議員。

【洗禮】セニレイ Bap-tism (英) ①基督教信者となる時教會に於て受ける儀式の一 ②純潔を破つたり眞人間マニゲンが泥棒の仲間に入つたりする意にも轉用する。

リ

【想化】サウクラツ Idealize (英)の譯 藝術家が製作するに當り自然のままを模倣せず自己の理想に基いてそれ以上の物として表現すること、即ち醇化又は理想化。

【造花屋】サウクラワヤ 東京淺草千束町造花屋組合東進會の勢力範圍に屬する私娼窟シヤウクラフで震災前は數千名の賣笑婦を雇入れ十二階下に於て一勢力を占めて居た。

【象嵌】ソウガン ①桌子や椅子の裝飾用としてそれに嵌める象カク ②印刷ではステロ紙型を改訂す

る時或る箇所を切り取つて訂正したものを嵌めること。

【葬儀社】サウギシヤ 營業的に葬式一切のことを引受ける所。

【葬儀電車】サウギデンシヤ 特に葬式用として用ゐる電車で名古屋市に假に創始せられた。

【早教育】サウケウイク 社會活動の要求と生活難の壓迫から一日も早く子供を一人前にせんとする主義より自然的の發達を無視して兒童の教育過程を急速且つ簡便に終らしめんとする教育法。

【造形美術】サウケイビジュツ Bildende-Kunst (獨)の譯 繪畫・彫刻・建築等の如く主として觀覽に關する方面の美術をいふ。

【象牙の塔】ゾウガノタワー Ivory tower (英)及び Tour Ivoire (佛)の譯 無味・乾燥・醜惡な世界から逃れて寂しい生活を楽しむ自分だけの天地の意で詩人などの隱家を指していふ語。

【創見】サウケン ①初めて發見すること ②自己の意見

によつて作り出すこと。

【綜合】ソウガフ Synthesis (英)の譯 哲學上の語で二つの概念ガイネンを其のまま合さず更にそれ等の概念によつて新しい概念をつくることで科學の分析に相當する語。

【裝甲車】サウカフシヤ 歐洲戰爭當時英國が初めて使用した陸上巡洋艦と異稱せられる軍用自動車の一で鋼鐵板を以て全體を包み速射砲・機關銃等も設備されて居る。

【造石稅】サウコクゼイ 酒・醬油等の醸造稅の如く石數に應じて賦課する稅金。

【相互感應】サウゴカンオウ 電氣感應の一様式で相連結せる甲の輪道中リンダウチユウに電流を通ずると乙の輪道中には之と反應の方向に流れる電流を起しその電流を中斷する時は甲乙共に同方向の感應電流を起すこと。

【相互扶助】サウゴフジョ 人類愛を基調として互ひに扶け合ふ意、露國の貴族で且つ無政府主義者で

あるクロボトキンの著「ミューチュアル・エイド」から有名となつた語。

【創作】サウサク ①翻譯や翻案によらず自己の創造力によつて作り出すこと ②小説・長詩・短歌等の如く文藝批判以外の文藝作品の代名詞 ③新しい描寫による小説のみの代稱。

【作家】サウサクカ ①自己の創造力によつて作品をつくる人々の總稱 ②小説家の代稱。

【ソシアリズム】Socialism (英) 社會主義に同じ

【ソシヤル・セツルメント】Social Settlement (英) 宗教と産業とを結合せしめて移住民の生活を健全なる本國の一分子たらしめんとする見地から移民と共に社會改良家の居住する區域をいふ。

【ソシヤル・ドラマ】Social-drama (英) 社會劇に同じ。

【ソーセージ】Sausage (英) 西洋料理の一、腸詰チャウソフのこと。

【想像】サウソウ Imagination (英) の譯 過去の經驗に基いて實現し得られる新しい心象を構成すること實現し得られないものは空想である。

【創造】サウキウ Creation (英) の譯 作り出す、編み出す、新しい物をうみ出す。

【創造説】サウキウセツ 靈魂は人間が産れる時神から授けられるものとなす神學上の説。

【相對】サウタイ 絶對の對「他に比べて」「他に制限されて」「他に依存して」の意を含む語。

【相對性理論】サウタイセイヤナ Relativitätstheorie (獨) 又は Theory of Relativity (英) の譯 すべての自然法則は絶對的のものであるとしてもそれは假定的の説で觀測又は考へ方の如何によつて種々なる見解上の相異を來すといふのが相對性理論の骨子で一九〇五年獨逸のアルベルト・アインシュタイン博士が初めて發見してから漸次に展開しつゝある新學説である。

【相對性原論】サウタイセイヤナ Relativitätsprinzip

(獨) の譯 相對性理論とは全然別でガリレオ・ニュートンの時代から力學上の法則として示されて居る相對性原理のことである。

【相對賣買】サウタイバイバイ 賣買の當事者が物品の取引に際し公定相場によらずして直接に代價を決定すること。

【ソーダ水】スタ Soda-water (英) 清涼飲料の一、炭酸タンサンを水に飽和ハワツしたもの又は液狀炭酸を水に溶解せしめたものをいふ。

【ソーダ・ビール】Soda-beer (英) 蛋白・酒石酸とセキサン・砂糖・メリケン粉・レモン液の混合物に水を加へて煮沸し冷却せしめた上重炭酸曹達水の中に注いで泡を立たせた飲料。

【相談の相談】サウタンノサウタン 身の上相談の項を見よ

【装釘】サウツライ 正しくは装幀と書く、書物に表装する意匠の總稱。

【總同盟罷工】ソウドウメイワ General strike (英) の譯 社會組織又は經濟組織の破壊・變革等の目

的を以て之が効果を擧げ得る範圍に於て各種労働者が休業すること一國內のあらゆる種類の労働者が一時に休業する意ではない。

【ソープ】Soda (英) 寢椅子。長椅子。

【ソープ】Soap (英) 石鹼のこと It is a cake of soap は一個の石鹼の意。

【總まくり】(俗語) 遠慮なくどしどしと批評すること、棚おろし。

【總領事】ソウリョウジ 領事の最高級で經驗のある古參者を以て任命される。

【總務】ソウム 或る團體に於ける事務の一切を總理する役員の意で大政黨などに置かれる。

【總理大臣年賀狀】ソウリョウダイジンネンガシヤウ 歴代の總理大臣及び多數の大臣が判でおしたやうに「賀正」の二字の下に自分の名前だけのついた年賀狀を送るところからかくの如き種類の年賀狀をいふ。

【ソーリンゲン】Sollingen (獨) 獨逸の金物會社のことでこゝで製造される西洋剃刀などは特に

名高い。
 【創立總會】サウリフツクツイ 会社の創立に際して開く出資者の總集會。
 【組閣】ソカク 内閣組織の略、即ち舊内閣が倒れて新たに内閣を組織すること。
 【組織學】ソシキガク 動植物體の組織を深く研究する學問。
 【屬性】ソクセイ Attribute (英)の譯 その物にのみ屬して特點・特徴を明らかにし他に分離することの出来ない性質。
 【屬人特權】ソクジントクケン 法律上その人の身分によつて具はる特權をいふ。
 【屬人法】ソクジンハフ 法律の支配すべき範圍を人によつて定める法。
 【屬地法】ソクチハフ 法律の支配すべき範圍を土地によつて定める法。
 【促成栽培】ソクセイサイバイ 温室又は温床ランシヤウに特別の裝置を施して野菜類を普通採取期よりも早く

く生熟するやう栽培すること。
 【側面結婚】ソクメンケツコン 歐洲大戦中獨逸政府が斷行した非常人口増殖法で政府は夫婦の承諾を得た上夫の出征中にその妻を一時他の男子に配せしめ一人の男兒を産むに及んでその結婚を解除したること。
 【側面奉仕】ソクメンハウシ 行幸又は行啓の際乘輿の左右に従ひて警護すること。
 【祖國】ソコク 生れ故郷、父母の國、本國等の意、古い語であるが新文藝の勃興と共に故郷を言ひ現はすにふさはしい語として盛んに用ゐられる。
 【組織的】ソクキテキ Systematic (英) 個々の物が集つて一定の關係・秩序を保ちつゝ整然と組立てられた仕組。
 【素質】ソツハツ Predisposition (英・獨)又はPredisposition (佛)の譯 ①變化・矯正を與へることの不可能な先天的具有的性質 ②「學者の素質」「腺病の素質」などいふ如く精神的及び肉體的の能力

の潜在力にして將來具體的となるべきもの。
 【粗製濫造】ソセイランゾウ ①仕上げを急ぐ爲め手を抜いて品物を造ることや見本と違ふ粗悪品を製造すること ②すべて一時的な粗悪な物を作ること。
 【塑造】ソゼウ 油土イワド・塑土・粘土等で彫刻すること。
 【塑像】ソゾウ 粘土などでつくつた彫刻像。
 【即興詩】ソクキヨウシ Improvisation (佛)の譯 その場の感興に乗じて作つた詩、即吟。
 【即決裁判】ソクケツサイバン 俗にぶちつけ裁判といふ豫審を経ずして判決を與へる裁判。
 【卒業飛行】ソツグフヒカウ 航空隊の練習生が飛行將校に昇格する時に行ふ試験的の飛行をいふ。
 【ソナタ】Sopra (英) スーパの訛。
 【ソナタ】Sopra (英) 正しくはソナータと發音する、琴樂ギンガク、又獨奏樂の曲。
 【其他一同】ソノタイチドウ 劇場に於て端役々者ハタカヤクシヤを一括していふ語。
 【其筋】ソノスヂ その係り又はその向の役所の意で

あるが主として善惡關係を指す場合が多い。
 【ソビエト】Soviet (英) 勞兵會、過激派。
 【ソフィスト】Sophist (英) 故意に論理に缺陷をこしらへ置き聽者をしてまことらしく思はせる論法、詭辯家キベンカ、屁理窟をいふ人。
 【ソフト】Soft (英) 柔かいといふ意。
 【ソプラノ】Soprano (英) ①音樂にて最高音のと、又最高音部の唱奏者 ②婦女子の高調子な聲。
 【素描】ソベウ Dessin (佛) 繪具を用ゐず線のみで大體の形を描くこと、すがき。
 【粗放農業】ソハウノウゲウ 集約農業の項を見よ。
 【ソムナムバリズム】Somnambulism (英) 夢遊病と譯する、其項を見よ。
 【染分船】ソメクワフネ 戦時に際し敵の目をくらます目的から遠方から見て一隻の船が二隻に見えるやう船體を二色に分けて塗つた船。
 【空の宮様】ソラノミヤサマ 山階宮武彦王殿下の御事を稱したてまつる語。

【ソロ】Solo (英) 獨唱、獨奏、獨奏曲。
 【ソング】Song (英) 詩、うた、又さへづる聲。
 【ソネット】Sonnet (英) 大きさを十四行に制限する一種の詩型で英國で行はれる、十四行詩。

夕

【ダーク・サイド】Dark-side (英) 裏面、暗黒面、社會の裏面。
 【ダーク・チェンジ】Dark-change (英) 演劇で舞臺面を變へる時一時燈火を消して暗中に次の場面を作ること、暗轉アンテン。
 【ターニング・ポイント】Turning-point (英) ① 回轉期、轉化點 ② 野球にては勝敗の分岐點 ③ 又契機タキキと譯した新聞記者もある。
 【タービン】Turbine (英) 發動機で蒸氣を壓搾して管の先から水車の形をした羽車、ネグールの金屬性の羽に強く吹つけて廻轉せしめそれを原動力として各種の運轉機關に利用せられるが動搖が

少いので旅客船などには最も適して居る、廻羽式發動機。

【ダリア】Dahlia (英) 俗にダリヤといひ歌女ウタヒメといふ意味がある、菊科に屬する西洋花で妖艶などくくしい色調を特徴として居る。
 【ダイアボロ】Diabolo (英) 獨樂ヲ廻しの遊戯の一で中四ナカホの白狀の車を二本の棒の間に渡した糸にかけて廻すもの。
 【ダイアモンド】略してダイヤと言ふ、金剛石のこと。
 【第一印象】First-impression (英) の譯 初めて人に會つた時や物を見聞した時などの瞬間に受けとる感銘、最初の印象。
 【第一階級】First-class 王の階級。
 【第一義】First-principle 第一に爲さねばならぬ必然性ヒツネヒツキを持つてゐること、第一の要義又は要件、隨つて必然性の薄いものは第二義である。
 【第一義的生活】First-principle-life 因襲を打破

し個性を尊重して「自分」を正しく育てる爲めに生きる生活。

【第一人者】First-person 第一に數へ擧げねばならぬ程の權威を持つた人物の意。
 【耐寒旅行】Winter-travel 夏の「耐熱旅行」の對、嚴寒を冒して山野を跋涉する旅行。
 【耐寒飛行】Winter-flight 冬の嚴寒を冒して強行する飛行。
 【耐火煉瓦】Fire-brick 火災の時にも燒きくづれぬ耐火性の強い特別製の煉瓦。
 【胎教】Prenatal 妊婦の精神作用が胎兒に種々の影響を與へることを利用して妊娠中に胎兒に好感化を與へんとして行ふ種々の教育的方法をいふ。
 【待遇乗車券】Fare-concession 鐵道に關係ある運送店・廣告取扱人・警察官・新聞雜誌記者等に對して發行する無賃乗車券で定期のものではなく必要の都度請求に應じて發行せられる。
 【體現】Embodiment 直接に自分のものとして形に表は

す表現の仕方と模倣と異なる所は後者が仲介的であるのに反し前者が直接的である點にある。

【題材】Material 主となるべき材料。
 【大作】Masterpiece 精神を打込んで作品、力作。
 【第三階級】Third-class フランス大革命の後一七八八年時の宰相ネツケルが召集した三民會のうち平民部を第三部と稱したのが第三階級の起源で王を第一階級・貴族僧侶を第二階級といふことに對し庶民階級のことを意味する。
 【第三者】Third-party (英) の譯 法律上の語で當事者以外の者の稱。
 【第二帝國】Second-empire 人間の生活を靈・肉の二方面から觀察して肉の帝國は第一帝國、靈の帝國は第二帝國と言ひ次で來るべき靈肉一致の帝國は第三帝國であると爲した説で更らに文明的に見れば第一は古代・第二は中世・第三は近代國家觀に相當する。
 【耐酸陶器】Acid-resistant-ceramic 酸類の作用を受けて變色。

變質することを防ぐために考案された陶器で硝子製の試験管シケンクワシンの代用として用ゐられる。

【第四階級】ダイシカイキフ ①第三階級以下の階級の意で労働者階級のこと。②滑稽の意味を含ませて新聞記者のことをいふ。

【第四帝國】ダイシテイコク 第一帝國は王・第二帝國は上院・第三帝國は下院・第四帝國は「力」即ち國民の總體の力で國家統治上の主要素なりと説く佛蘭西の一政治家の説。

【第四の壁】ダイシノカベ 近代劇派の主張する演劇の目的は見せる爲めの芝居ではなく人生を味はふための演劇であるから四方を壁で圍はれた一つの部屋である所の劇場の観客に面した(即ち舞臺)を取除きそこから観客をして人生の縮圖である所作を覗かせるといふ意を現はした語。

【太子齒】タイシマゲ 婦人の髪結び方の一、耳隠し。【對照】タイソウ Contract (英) の譯 對比と同意、全然相異なる物事や相反對するものを並立比較し

て各自の特色を明らかにすること。【對象】タイシヤウ Object (英) 目的物、客體カクタイ、手に取るもの。

【大衆撮影】ダイシュウサツエイ エキストラを使用して大部隊を動かし廣い範圍の映畫撮影をすること。

【大衆文藝】ダイシュウブンゲイ 通俗小説の一種で昭和の初めに勃興した劍劇の影響を受けて隆盛を來した文藝趣味に富む講談や小説。

【大正風邪】ダイショウカゼ 世界風邪又はスペイン風邪に同じ。

【大正藝者】ダイショウゲイシャ 大正時代の藝者、即ち最新式の藝妓の意であるが同時に輕便の意味を含んで居て藝よりも内を賣る方に重きを置く簡便藝者のことに解されて居る。

【大正琴】ダイショウシン 鍵キーと爪とで奏する卓上琴。

【對症療法】ダイシヤウレウハフ 病源の根治はそのままになし置き單に病狀に應じて施す治療法。

【大正スケート】ダイショウスケート L字形の板片に小車を取つ

けてハンドルを装置した運動具で右足を板にのせ左足で地を蹴つて勢をつけハンドルを廻し方向を轉換しながら滑走するやうになつて居る。

【大臣横町】ダイシヨコチョウ 内閣が更迭する毎に麹町區の中六番町の住民から大臣になる者が多く出る所からその町に冠した綽名である。

【對人信用】タイジンシンヨウ 物件の擔保によらず相手の人物の信用を標準として取引すること。

【大膳寮】ダイセンシヤウ 宮内省に屬し天皇の御食事調理及び御宴會の事務をつかさどる所。

【タイタニック】Titanic (英) 強力であるといふ意に擴張し從來の十五區のみでなく近郊の郡部をも併合して東は江戸川の上流から西は多摩川に到る迄の間を劃してやがてこの所に新らしい東京市が建築されるといふ意味の標語で東京に限らず大ロンドン・大ニューヨーク・大大阪・大横濱等大都市の上に「大」の字を冠することは近頃

の流行となつた觀がある。【對等主義】タイトウシユギ 社會政策の要諦エウタイを言ひ現はした語で資本家とその企業によつて得る収益と労働者が收得しつゝある労働報酬とを適當なる方法と割合を以て配分せんとする主義。【體得】タイトク 十分に會得了解して自分の物となし身を以て表はし得ること。

【臺所電車】ダイドコロデンシャ 電氣ストヴ・水槽・料理人等一切の臺所道具を具へた食堂電車で英國で最近試みたものは一回の往復に一千皿の料理を調理供給し得る仕組となつて居る。【タイトル・ページ】Title-page (英) 俗に「とびら」といふ、書物の標題・著者名等を記した最初のページ。【ダイナモ】ダイナモーター (Dynamotor) の略、電動發電機。【第二階級】ダイニカイキフ ①貴族・僧侶の階級。②民衆に無交渉な政治を行ふ官僚を中心とする准貴族

の階級。

【耐熱飛行】タイネフヒカウ 臺灣の如き温度の極めて高い空中で炎暑を冒して強行する飛行。

【第八藝術】ダイハチゲイジュツ 文藝映畫及び藝術價値のある映畫のことで藝術進歩の過程から見て文學を第一藝術とし順次に音楽・繪畫・演劇・建築・彫刻・舞踊・映畫と階級をつけた所から起つた語。

【タイピスト】Typist (英) タイプライターを取扱ふ人、打字手又は打字師、女子に限らず男子でもタイプライターを打つ職業の人はタイピストである。

【タイピン】Tie-pin (英) ネクタイに指す裝飾用のピン。

【タイプ】Type (英) 型、風、様式、又活字の意もある。

【代物辨濟】ダイブツベンサイ 債務者が債権者に對し或る給付に代へて別途の給付をなすこと。

【タイフーン】Typhoon (英) 氣象學上の語、颶風

ダラウよりもゆるやかで小低氣壓の集まり生じた時に起る風、颶風タイフウと譯する。

【タイプライター】Typewriter (英) 鍵キーを押すと活字式のタイプで所定の用紙に印刷し得るやうに装置した機械、印字機。

【體膨脹】タイボウチヤウ 温度が高まるに隨ひて物體分子の容積の増すこと。

【タイム】Time (英) ①時、時代 ②野球では試合休止の意。

【タイム・イズ・マネー】Time's money (英) 有名な西洋の諺で「時は金なり」と譯されて居る。

【タイムス】Times (英) 新報、新聞、時報。

【タイム・スタンプ】Time stamp (英) 時間登録器と譯する、表面には時計・裏面にはゴム印を取つて必要に応じてその時の時間を印刷し得る装置となつて居る。

【タイム・スピリット】Time spirit (英) 時代精神と譯する、その項を見よ。

【ダイヤ】 ①ダイヤグラムの略 ②ダイヤモンドの略稱。

【タイヤ】Tyre, Tire (英) 自動車・自轉車等の車輪に取りつけるゴム輪。

【ダイヤグラム】Diagram (英) ダイヤと略稱する ①鐵道等では列車の運轉を示す豫定表 ②新聞社等では外勤員の出勤状態を記す豫定表、一般に表又は豫定事務進行表と譯する。

【ダイヤモンド】Diamond (英) ①金剛石 ②トランプの菱形の赤いマーク ③野球では競技の區域内、内野ナイヤ。

【ダイヤログ】Dialogue (英) 問答、對話。

【代用食料】ダイヨウシヨク 米食・パンに於ける甘諸・餛飩・馬鈴薯等の如く常食料の代用となる食物で戦時又は物價騰貴の時などに之が調節法として用ゐられる。

【代用學校】ダイヨウガクカウ 公立小學校に代用し得る資格ある私立小學校。

夕

【タイラント】Tyrant (英) 暴君、壓制者、暴王。

【大陸時計】タイリクトケイ 歐米の天文臺で實行して居るもので午前・午後の區別を廢し十二時以上を十三時……十四時……二十四時と稱へ時計の文字板モジイタにも I II III 等の内側にそれ〴〵 I II III IV などを記し之を大陸時計といつて居る。

【代理部】ダイリブ 新聞・雜誌社・大商店の一部營業として信用ある各種商店の賣品を取次いで販賣してゐるところ。

【タイル】Tile (英) ①粘土製の床石 ②裝飾を施した壁瓦、又土管。

【第六感】ダイロクカン 五官以外の心の働き、即ち神經の作用によつてよく物事を察知する特別の感覺をいふ。

【對話】ダイワ Dialogue (英) の譯 纏つた意見・話題・論題等について談話を交換すること、日常の出來事を話し合ふことは嚴密の意味に於て談

話とは言はぬ。

【タオル】Towel (英) 西洋風の手拭、西洋手拭。

【高土間】タカドマ 劇場の土間から一段高くなつた

下棧敷の下の通りのこと。

【蛸配】タコハイ 蛸配當の略、蛸がいよ／＼食物に缺
乏すると自身の足を食ふといふ話から生れた語
で利益の上らぬ会社が儲かつて居る如く世間や
株主に見せんとして無理な決算報告を作り配當
をすること。

【打字師】ダジシ タイピストに同じ。

【だしに使ふ】ツカフ (俗語) 人を道具に使つてう

まい汁を汲ふこと。

【惰性】ダレイ Inertia (英) の譯 ①物理学では静止

せるものは飽くまで静止せんとし動いて居る迄
は永久にその運動を續けんとする物體上の性質
②通俗語としては習慣性又は餘勢・餘力と同意。

【脱線】ダツセン 車體が一定のレールから外れるこ
と、轉じて常規を逸して横道にふみこむ意に用

ゐる。

【タッチ】Touch (英) ①觸れる、觸感シヨクカン、手ざ

はり②繪畫では畫面中の最暗黒部、彫刻では工
具の切れ工合。

【タッチ・メソッド】Touch-method (英) タイブラ
イターで印字する時打鍵に着目せず單に原稿の
みを見て十指を分業的に働かせて鍵キーを打つ
こと、十指法。

【縦の闘争】タテトウサウ 横の闘争の對として生れた
語、即ち貴族階級と平民階級との争ひの如く上
下に連る者の間に於て行はれる闘争。

【高場】タカバ 劇場で向棧敷の下土間シタマの奥が一
段高くなつて居て興行主側の手代・劇場の監督
者などが席全體を見回はす爲め控へる所。

【高砂社】タカサゴシヤ 結婚媒介所の總代名詞で最初
の營業者がその屋號を高砂社と名づけた所から
生れた語。

【多感性】タカクセイ 感情に激し易い性質。

【タキサ・メーター】Taximeter (英) タクシー

に具へ付けた自働賃金表示器。

【タクシー】Taxi, Taxicab (英) タクシーの轉訛

で時間貸自動車のこと。

【タキシード】Tuxedo (英) タキシードは米國讀

みで英國ではスモーキング・ジャケットといつて

居る、燕尾服エビヅクに似た略式の禮服。

【タクシー】Taxi (英) 正しくはタクシと讀む、辻
待自動車、時間貸自動車、メーター計量付貸自
動車。

【タクシ・カップ】Taxicab (英) タクシーに同じ。

【タクシ・メーター】Taximeter (英) 貸自動車に

取りつけたメーター計量器の意で自働賃金表示

器と譯する。

【卓上電話】タクシヤウデンワ 卓上に備へ付けた小型電

話機。

【内匠寮】タクミレウ 宮内省に屬し宮殿其他皇室に關
する建築物の保管・監守並に御庭苑・園藝等に關

する事務及び電氣・寫眞に關することを掌る。

【多元論】タゲラン Pluralism (英) の譯 原子論・單

子説等の如く宇宙の本體を以て本來獨立自存す

る多數の實在から成るとする哲學論。

【多血質】タケツツ 心理學上古くから言はれてゐる

語であるが現代一般的の解釋では外來の刺激を

感ずること早くして之を保有することの困難な

氣質の意、即ち感情の冷熱が迅速な氣質をいふ。

【妥當性】タタウセイ 無理がなく能く適當してゐる
意、過不足なき状態。

【種取り】タネトリ 探訪員が新聞・雜誌の材料を探り

に行くこと、轉じて探訪員を多少侮蔑的の意を

含めていつた語。

【種蒔き人形】タネマキニギヤウ 素焼スヤキの人形で頭部

について居る多數の溝へ穀物の種子などを蒔い

て水氣を注いで置くと自然に發芽して頭髮が生

えたやうな觀を呈する。

【多方興味】タハウキョウミ 經驗的・推究的・審美的・同

情的・宗教的・社會的の六種から成る教育學上の興味。

【たばこ】Tobacco (英) 煙草と書くがこの文字は支那から來た當字である。

【ワシントン・コロンビア】W. C. ①ウォーター・クロセツトの略、その項を見よ。②女學生間では頭字に因んでワシントン・コロンビア (Washington College) と居つて居る。

【ダブル】Double (英) ①二重、二倍、繰り返す。②ダブルカラーの略。

【ダブル・カラー】Double-collar (英) 折返し式の二重襟。

【ダブル・ダブル・ライン】Double double line (英) 鐵道線の上り下りの兩線の外に貨物専用線を設けた線路。

【ダブル・ヘツダー】Double header (英) 二臺連結の機關車が先になつて列車を索引する汽車。

【ダブル・ベッド】Double-bed (英) 大型寢臺、二

人用の寢床、夫婦用の寢臺。

【タブレット】Tablet (英) ①圓盤、又單線の鐵道で列車を運轉する時上下兩列車の衝突を避ける爲め電氣應用で裝置せられた機械。②錠劑。シャウゼイ

③書簡箋、便箋。【ダブルット】Doublet (英) 男子用胴衣。ドッキのいで首から腰のあたりを被ふもの。

【だべる】駄辯。タマンを弄することを動詞化していふ、くだらぬ事をしゃべる意。

【タマニー】Tamany (英) 一時米國ニューヨーク市政に一大勢力を有した私黨本位の團體でその勢力を濫用して市政を紊亂せしめたことに因み市政紊亂者の代名詞の如くなつた語。

【タリア】ダリアの略、その項を見よ。

【タリスマン】Talisman (英) 魔よけ、護符、おまもり。

【だれ場】ダレバ ①演劇中役者のしぐさがだるんで見物を飽かしめる如き場面。②演説や講演などで

も聽いて面白くない場合をいふ。

【斷案】ダンジョン Conclusion (英) の譯 一つの事件・對象等に對して斷定的の結論を得ること、判斷・斷定・判定等と同意。

【短歌】タンカ 和歌と同じであるが等しく三十一文字の歌でも和歌といへば舊式に聞へ短歌といへば新派の和歌を意味する。

【タンキスト】Tankist (俗語) 短歌 (Tanko) 21st を繼いで作つた語で短歌を作る人の意。

【探險小説】タンケンセウセツ 蠻地・戰場・深山幽谷等を背景とし之に人間以上の體力と智識とを有せる人物を配した冒險趣味の小説。

【探險小説】タンケンセウセツ 探險小説の如く奇想天外的のものでなく主として學術的の調査・探險を主材とした冒險趣味の小説。

【斷郊競走】ダンカウキョウサウ クロッス・カンツリーの語譯。

【單行本】タンカウボン 雑誌・新聞等に掲載されるやう

な斷片的の記事でなく長短に拘らず一冊にまとめて刊行する書物。

【タンゴ踊り】タンゴ 南米土人の歌舞から來た男女双方が身體を密着させて踊る挑發的な舞踏で一九一〇年頃から歐米に流行した。

【團參】ダンサン 多數の團體で神社佛閣の參詣や觀光旅行をすること。

【ダンマング・マラン】Dancing Marathon (英) 長距離間を踊りぬくこと、マラソンダンス。

【ダンス】Dance (英) 舞踏のこと。ソーシャル (社交) ダンスとステージ (舞臺) ダンスとがある前者は純粹の舞踏で交際場裡で行はれ婦人が男子に向つて踊ることを所望するのが禮法であるが踊る時には男子が導き婦人が之に従ふことを作法とする、後者はオペラなどに應用される。

【探照燈】タンセウツウ 夜間海上を照して警備の用に充てる燈火、探海燈。

【タンクストウ】Tongue-stow (英) シテューの材

【耽溺】タンヂキ 酒色にふけつて身も魂も惑ひおぼれること。

【タンク】Tank (英) 装甲車と譯する①歐洲大戦中英國が初めて試用した新武器で頑丈な鋼鐵板で圍み操砲掛二名・機關部二名及び偵察・命令をするもの二名を乗せあらゆる障害物をおしたふし破壊して敵軍中に突進する所から陸上巡洋艦といはれて居る②性質の獷猛な人の代名詞として用ゐる。

【タンク・ウィーク】Tank-week (英) 歐洲戰爭中英國で戰事公債募集の示威運動としてタンクを街上に走らせてから起つた語でタンク週と譯す

【タンクステン】Tungsten (英) 一種の稀金屬キキニツク電球發光線であるが双物の切れ味をよくする爲め鋼に加へて用ゐる。

棒の電球に比し約三分の二の電力を減じ得るのみならず光力が非常に強い。

【タンク帽子】Tank hat 俗に「勝利の扮装」と呼んで居る、歐洲戰爭中英國の貴婦人社會で戰事公債や救済基金等を募集する時人目を引く手段としてタンクから思ひついて考案された一種の帽子で乾電池カレンヂを装置し夜は美しい花電氣が頭上に點せられる。

【單調】タンテウ 變化や感激が少なくして調子が單純であること。

【探偵犬】タンテイヌ 捜査用専門の犬で能く訓練されたものは凡ゆる危険を犯して犯人を追跡し一度捕へた上は殺されても離さぬ。

【探偵小説】タンテイノウゼツ 犯人捜索上の苦心を描いた小説。

【探偵趣味】タンテイシユミ 奇を漁り異を探す趣味で探偵小説の趣味といふ程の意、即ち怪奇神祕の本體を痛切に切り開いて行く科學の力による理

智の鋭さに興味の中心をもつて行くおもむき。

【斷髮】タンバツ 婦人にして頭髮を切ること、歐洲戰爭當時婦人が活動するのに便利な爲め考へ出された髮形であるが現今では米國式の粹を好むおしやれ女の流行と見られて居る。

【端的】タンテキ 單刀直入に、ぢかに、直ちに要所を衝くやうに等の意。

【段抜】ダンヌキ 新聞紙面で幾段も段を抜き大文字で標題をつけた記事。

【單獨講和】タンドクカウワ 同盟軍の一が交戦中に於て同盟より脱し單獨にて敵と講和すること。

【單獨行爲】タンドクカウキ 單獨の意思を以て法律上有効なる行爲をなすこと。

【單法貨制】タンハフクワセイ 單に一種の貨幣を以て法定の貨幣となす制度。

【耽美派】タンビハ 人生に於ける最上なるものは善でもなく眞でもなく美であると信ずる人々。

【タンピング】Dumping (英) 生産に過剰を來し

た場合實費の回收だけに満足して投資すること。

【短篇】タンペン 長篇の對、短かい小説中、長篇と同じく人物・事件の配置等がまとまつて居て讀者に一種の暗示なり刺激なりを與へるに足るものをいふ。

子

【ティール】ティール (英) 歐米で午餐テラと正餐との間を取る食事で日本の「おやつ」に相當する。

【乾酪】チーズ Cheese (英) 西洋食料品の一種で牛乳から製出する。

【チェア】Chair (英) ①凭まれる所のある椅子の總稱、凭れる所のないものはベンチである②正式の椅子に就く意から議員・法官・會長・大學教授等の意味にも用ゐる。

【チェアマン】Chairman (英) 會長、委員長、座長、議長。

【チェーン・ストア】Chain store (英) 一般の小

賣商人がデパートメント・ストアに對抗して生れた連鎖商店の意で一種又は小数の商品を取扱ひ共同資本によつて格安の現金仕入を行ひ各地に連鎖的に多数の店舗を有してなす販賣法、共同仕入販賣協定營業ともいふ、デパートメント・ストアと異なる點はデパートメントが大資本・大建築物を擁して百貨を取扱ふのに反し各地の連鎖店とも必ず同一の物品を取扱ふことである。

【チェーン葉書】Chain postal card(英) 大正十一・二年頃流行したもので一枚の葉書に任意の文句を書きその末へ「之と同文のもの九枚を書いて知人に送るべし然らざれば貴下に禍來るべし」と附記して發送したもので幸福葉書とも稱する。

【チェック】Check(英) ①小切手、荷物預り證、荷物引換券②抑へつける、對抗する。

【地階】チカイ 西洋式建築物の第一階、即ち地下室

の上で道路と平面にあるところ、英國では地下室・地階・二階・三階と數へ米國では地下室・地階・一階・二階・三階といふ風に數へる。

【近い將來】チカイシャウライ 全然意味の相反する「近い」といふ語と「將來」といふ語を一つにしたもので左程遠くもあらぬ未來といふ意に用ゐる。

【地下室】チカシツ 洋式建築物の地階の下、即ち地下に設けられた室で歐米諸國では貴重品の保管に使用するが日本では食堂に利用する傾がある。

【地下鐵道】チカチツダウ 地下鐵とも略稱する、地上に於ける交通機關の輻輳を避け地下を利用して長いトンネルを作り列車を運轉せしめるもの。

【地下道】チカダウ 停車場のプラットホームから出入口に向ふ通路などによくある道で鐵筋コンクリートで固めた地下の歩道のこと。

【チキン・カツレット】Chicken cutlet(英) 正しくはチキン・カツレットと發音する、西洋料理の一種で鶏肉のカツレットのこと。

【地獄祓樂】チゴクゴクラク 關東大震災以前東京では警視廳と帝國劇場とが並んでゐた所から前者を地獄・後者を極樂といつて一つの對照にした、又「暗の女」なども地獄といつて居る。

【地租委讓】チソキジャウ 國税を地方税に繰入れ地方の困難な財政を救済する一法として現今國税となつて居る地租を國に於て徵收せず地方廳をして取立てしめんとすること。

【地上標識】チジャウヘウシキ 飛行機の上から見てその飛行しつゝある場所を示さん爲め地名を大きく記した目標で一字十メートル四方の文字は一千呎の高所から明瞭に見られる。

【チップ】Chip(英) ①切屑、木ぎれ②女中やボーイに與へる祝儀、心づけ③ランプの賭け札。

【地方色】チハウシヨク Local Colour(英)の譯 其地方特有の自然・人情・風習等をいふ。

【地方新聞】チハウシツパン 田舎新聞ともいふ、東京以

外の府縣都市に於て發行する小新聞のこと。

【地方版】チカウバン 大都會で發行して地方に配達する新聞のこと、明日の新聞をその當日讀者へ配達せしめる必要上特に締切りを早めて作ることになつて居るが大新聞中にはその紙面の一部に特に地方版の標題を掲げ送達すべき地方の記事を掲載するものもある。

【チャーチ】Church(英) 會堂、教會、禮拜堂。

【チャーム】Charm(英) 人の心を惹きつける力、魅力あること。

【茶目】チャメ (俗語) 漫畫家がいたづら小僧を茶目吉と名づけたことから生れた語、いたづら、腕白。

【チャパル】Charpeel(英) ①禮拜堂、小會堂②印刷

所の意味もある。

【茶目る】チャメル 茶目を動詞化した語でいたづら、悪ふざけをする等意。

【チャンス】Chance(英) 機会、偶然の機会、乗ずべき好機、勝負のきつかけ。

【チャンピオン】Champion(英) 戦士、選手。

【チューイング・ガム】Chewing-gum(英) 煙草代用のゴム菓子で一種でゴム・砂糖・薄荷等を原料として作る。

【注意人物】チュウイジンブツ 前科者・危険人物等の類で警察にて特に注意して監視し名簿をつくつて赤紙を付けて居る。

【中學小説】チュウガクセウセツ 中學生程度の少年の立場から見た人生を主材とする小説。

【中央衛生會】チュウワウエイセイタイカイ 内務大臣の監督に屬し公衆衛生・獸畜衛生に關し各大臣の諮問に應じて意見を開申する機關。

【中教諭】チュウクウウ 中等學校の教諭を略していふ。

【中間訴訟】チュウカンソウシヨウ 一つの事件を裁判するに當り特別に調査すべき事實があつて原被兩告の争ひとなつた訴訟、この裁判に對する判決を中間判決といふ。

【中間内閣】チュウカンナイカク 内閣が瓦解して後繼内閣の組織がながびく時などに一時の間に合せに組織せられる臨時内閣のこと。

【壺間興行】チュウカンコウギヤウ マチネーの語譯、壺間開演する劇。

【中樞】チュウスウ すべての働きの源となる所、最も重要な所。

【中樞院】チュウスウイケン 朝鮮總督府に屬し朝鮮の行政に關し總督の諮問に應ずる機關。

【中産行列】チュウサンギヤウレツ 物價拂底の爲め日用品を求めるとも非常な困難を來し一斤の砂糖を買はんとして砂糖屋の店頭の中産階級の人々が行列をつくるが如き状態、歐洲戰爭當時には各國都市に於て現はれた事實である。

【抽象】チュウシャウ 形のある物から其の一部分又は性質をぬきだすこと、轉じて形のないことや性質のみの場合には抽象的の語を用ゐる。

【中年の戀】チュウネンノコヒ 男子四十代・女子三十代に起る戀で愛著心が猛烈である。

【重箱主義】チュウバコシユイ 重箱の隅から隅までをほじくる如くこまかいことにまで目をつける干渉主義。

【中篇小説】チュウヘンセウセツ 長篇と短篇との中間に位置し單行本で百頁から二百頁位で完結する小説。

【註文繪】チュウモンエ 藝術的良好を没却し客の註文するまゝに書いて賣る繪。

【晝夜銀行】チュウヤギンカウ 繁忙な人の爲めに夜間まで營業する銀行で普通朝は八・九時頃から始つて夜の八・九時頃まで業務を行ふ。

【チューリップ】Tulip(英) 西洋花の一で圖案家などに賞愛せられる。

【超越】チュウエツ 周囲の事情又は實際に拘泥せず遙かに高く離れて居ること。

【鳥瞰圖】チュウカンツ 鳥が空から見おろしたやうに上方から描いた圖、平面的觀察、又一瞥の觀察。

【超速度輪轉印刷機】チュウソクドリンテンインサツキ 最新式新聞印刷機で機械の後部には巻取紙と自動的に供給する自動給紙機と印刷ずみの新聞の折疊機とリタミキとが連結してあつて一時間に三十萬枚以上を印刷する能力を有して居る。

【超自然】チュウゼン キリストの奇蹟の如く自然の作用によつては説明することを得ないもの、有り得べからざることについていふ。

【鳥人】チュウジン Bird-man(英)の譯 飛行家のこと。

【超人】チュウジン 獨逸の哲人ニーチェが主張した語で人々の個性を十分に發揮し勇敢美的にして卓越せる識見を有し普通人に秀でた人のこと、直覺と智力との結合が衆に秀で習俗・謬信等を超越して自我の生活に生きんとする人。

【超然内閣】チュウゼンナイカク 政黨政派に根據を置かぬ

内閣、即ち民意を顧慮せずして政治を行ふ内閣。
【超等級】チウトウキョウ シューパー・ドレッドノートに同じ。

【超特別大興行】チウトクベツタイコウギヤウ 活動寫眞の廣告に用ゐる語で「こんどの映畫は特別の特別である」といふ意。

【長髪問題】チヤウハツモンダイ 美術學校の生徒が髪を長くして居ることに對し學校當局は風儀上之を禁じやうとした所から起つた問題。

【長篇小説】チヤウヘンセウセツ 單行本にして二・三百頁以上のもの、又は新聞・雜誌等の續き物の小説をいふ。

【直覺】チウキョク Intuition (英)の譯 經驗や觀察等によらず直接に、また直下に思ひ浮べられる了解又は認識をいふ、直觀ともいつて居る。

【直覺說】チウキョクセツ Intuitionism (英)の譯 經驗や推理を離れ人間特有の能力を以て直ちに道德的原理又は個々の行爲の道德的價値を領得し得

るとなす倫理學上の主義、隨つて經驗を離れ思索・推理をなさずして仕事をなす人を直覺主義の人といふ。

【ちよくじ】(植字) 本來は「シヨクジ」といふべきを訛つて「チヨクジ」といふ、原稿によつて拾つた活字を版に組むこと、またその人。

【直線美】チウケンビ 曲線美の對、男性の力づよい筋肉の線の美をいふ。

【直讀直解】チウドクチョクカイ 英語を解釋する時上から下へと大體語句の順序を追ふて譯す方法。

【長射程】チヤウシヤハツ 長距離射撃砲のこと。
【チョコレート】Chocolate (英) ①コ、アの實をいつて粉にしそれに甘味を加へた興奮性飲料②チョコレート菓子の略。

【チョコレート・ウエーファーズ】Chocolate Wafers (英) 英國を始め歐米各都市の上流に於て賞讃される砂糖煎餅の一種でウエーファーズにチョコレートを加味したもの。

【チョコレート・キャラメル】Chocolate caramel (英) キャラメルにチョコレートを加味した洋菓子的一種。

【著作権】チョウサクケン 從來は版權ハンケンと稱したもので文藝・美術・學術に屬する著作物を複寫する特權で著者の生存中及び死後三十年間效力を有し内務省に登録したものは版權侵害の民事訴訟を提起することが出来る。

【ちらし廣告】チラシワコク 單にちらしともいふ、小型の紙でつくつた撒き廣告の類。

【陣笠】チンガサ ①大名が行列をつくつて道中等をする時その列を増さんが爲め無駄なお附に冠らしめた笠②田舎出の議員を陣笠議員と稱する如く單に數に備はるのみで無能なる人を指していふ③薩摩芋の後前を切つて焼いたものが其値が安くて形が相似て居る所から陣笠といひ女工たちに歡迎される。

【丁幾】チンキ Tincture (英) 藥品をアルコールに溶

解したものゝ總稱。
【チンドン屋】チンボウ 俗にいふひろめ廣告行列、連行廣告を見よ。

【沈没】チンボツ ①遊廓や待合に入りびたること②質物を入れること。

【ツァール】Czar (露) 露皇帝の稱號、ジュリアス・シーザーから出た語で獨逸ではカイゼルといふ。

【追加豫算】ツヒカヨサン 政府の總豫算又は特別會計豫算作製の時豫想がつかなくなつた爲め豫算編成後に至りそれに追加して議會に提出するもの。

【追懐の香】ツキクワイノカ 單に追懐といふと同意であるが追懐そのものが忘れんとして忘れ得ぬ心の記憶であるところから花咲く春の歌ふべく愛すべき情緒になぞらへて「香」の字を添へたものである。

【追求狀】ツキクワイノカ Follow-up Letters (英) の譯

通信販賣に於て最初勧誘状を發した後客の購買心を煽り其決心を促す爲め連續的に出す書狀。

【逐語譯】チクゴキク 外國文を翻譯するに當り原文について一語一語直譯的に翻譯すること。

【追突】ツキトツ 衝突の逆で後から來てぶつかると。

【通過驛】ツウクワエキ 普通列車では停車することなく通過してしまふ驛。月給取りが俸給を貰つても右から左へ支拂つてしまつて少しも残らぬところから俸給生活者の意味にも用ゐる。

【ツウ・ケリー】To-quey (英) 通信員が本社指揮を求め或は次便詳報の程度を通知する爲め一句又は二句から成り立つ電文を發して事件の大略を豫報すること。

【通信學校】ツウシシカクカウ 通信教授を行ふ組織の學校。

【通信教授】ツウシシカクカウ 學校に入學し得ない地方の青年等に對し講義録を發行して行ふ教授法。

【通信局】ツウシシキョク 逓信省四局の一で郵便・小包。

電信・電話・陸運事業の監督に關する一切の事務をつかさどる。

【通信手】ツウシシシユ 三等郵便電信局の局員中事務員として三年以上在勤した者を稱し判任官を以て待遇される。

【通信中學】ツウシシチュウガク 講義録を發行して普通の中學と同等の學力を養成することを目的とする學會。

【通信販賣】ツウシシハンバイ 店頭に商品を陳列して販賣するのではなく新聞其他廣告を利用し地方客に對して通信によつて購買心をそよりその注文を受けて物品を送りつける販賣法。

【通信網】ツウシシマツ 各種の通信機關が縱横に行き渡つて居る状態、又それ等の通信機關。

【ツイ・ステップ】Two-step (英) 音楽に合して二歩一節に踊る舞踏。

【通販業者】ツウハンゲフシヤ 通信販賣業者を略して總稱した語。

【通俗小説】ツウソクセウセツ 文藝的の價値といふ點よりも大衆の趣味と興味とに投ずべく特に構想に重きを置く小説、一般には新聞・雑誌の繪入り小説を指す。

【ツウ・ベツド】Two-bed (英) 一人床を二個並べた設備、二列床。

【通有性】ツウウカイ Common quality (英)の譯 或る種類又は或る階級に於てそれ等のものが共通して有する性質。

【ツーリスト】Tourist (英) 觀光客、漫遊者。

【ツーリスト・ビロー】Tourist Bureau (英) 旅行案内所、觀光客案内所、又鐵道案内所。

【ツーリング】Touring 一周する、周遊する等の意でタキシ一の營業所の事に多く用ゐられる語。東京ではツーリングを標示する營業のタキシ一を實用自動車と稱して居る。

【ツェッペリン】Zeppelin (獨) 獨逸の飛行船製作家ツェッペリン伯の名をそのまゝ冠した彼國獨

特の飛行船の一種で歐洲戰爭當時には全歐の空を征服して世人を震駭せしめたが昭和四年の夏には世界一週飛行を企てその途次我國をも訪問した。

【づか黨】ツカタク (俗語) 大阪寶塚にある少女歌劇團の女優に肩入して追廻す連中。

【月並】ツキナヒ 舊派俳人が毎月々並に會合したことから新たに勃興した日本派俳句の一派から月並派と稱せられたことに因み舊式又は無生命等の意に用ゐる。

【強氣】ツキキ Bull (英)の譯 株式界に於てやがて相場の騰貴するを豫想し買占めいよ／＼騰貴するのを待つて差額を利得するやり口をいふ。

【強き者よ爾の名は女なり】ツキキモノナニヂノナランナナリ Woman I they name is Great I (英)の譯 「弱き者よ爾の名は女なり」の反語で職業婦人として男子活動の領分を侵害したり参政權を求めたりする現代婦人の男まさりの遣り方を諷刺し

【釣鐘マント】フリガネ 海軍將校の用ゐる如き釣鐘形のマントで若き女の間流行して居る。
 【ツラスト】俗にトラストといふ、その項を見よ。
 【つんどく】(俗語)全集物や圓本の月極め讀者が後から後からと配本を受けそれを一々讀む暇がない爲め書齋に積んだまゝで置くといふ意をしやれていつた語。
 【つんぼ座】^ヰ 劇場の三・四階や追込場等の如く役者の科白セリフの聞えぬ見物席。

テ

【デアスターゼ】Diastase (獨) 糖化酵素素タウタツハツカウツ、澱粉酸酵素。
 【デアポリズム】Diabolism (英) 悪魔主義と譯する、人生の暗黒面又は悪の世界を謳歌する主義のこと。
 【ディアテルミー】Diathermy (獨) デスラーの電

流應用で高壓電氣によつて醫學方面の治療に使用せられる一種の熱、透熱トウネツ。
 【ティ】^① Tea (英) ①チーに同じ、お茶、お茶時、おやつ ②ゴルフの競技で最初球を打つ時その球を置く臺地。
 【チーム】Team (英) ①一群、團 ②共通の目的に向ひ全身的に努力する競技の一團。
 【停會】^③ テイクワイ 帝國議會等にて或る一定期間議事を停止すること。
 【低廻趣味】^④ テイクワイシユミ 人生や生活を餘りに眞面目に考へないで道草でも食つて居る氣で吞氣に觀察して行かうとする傾向。
 【定款】^⑤ テイクワン 社團法人設立の基礎でその組織や内部の關係を記載した文書。
 【定期株】^⑥ テイクカフ 株式取引所の規定によりその取引所で投機目的物たることを許された株式會社の株をいふ。
 【定期刊行物】^⑦ テイクカシカウツツ 日刊・週刊・月刊等の如

く一定の時期を定めて刊行される出版物。
 【定期券】^⑧ テイクケン ^⑧ Rego トラボラ (英) の譯 一定區間の往復乗車用として割引發行する汽車や電車の乗車券で使用期間によつて一ヶ月・三ヶ月・六ヶ月・一年の四種に分たれて居る。
 【低級】^⑨ テイクフ 品柄が劣つて居る、高等でない、階級が低い等の意、轉じて趣味の劣なることを形容する語。
 【提琴家】^⑩ テイクシカ ヴァイオリンの名手、ヴァイオリニスト。
 【低空飛行】^⑪ テイクウヒカウ 極めて低い上空を飛行すること
 【ディクタフォン】^⑫ Dictaphone (英) の譯 用務の繁忙な支配人や社長級の人によつて利用せられるもので蓄音機に吹込む要領で用件を臘管ラウツツに傳刻して置いて筆記係に廻すと筆記係は之を蓄音機にかけて聞き乍ら速記して書狀とする仕掛になつて居る。

テ

【ディクトグラフ】^⑬ Dictograph (英) 會社の事務室・工場等に使用せられるターナー式電話機の種類。
 【帝劇】^⑭ テイクキ 東京にある帝國劇場の略。
 【帝劇美人】^⑮ テイクキビジン お芝居美人ともいふ、今日には三越・明日は帝劇といふ風に無闇に著かざつて飛び歩きたがる虚榮の強い婦人を皮肉つた語。
 【チケット】^⑯ Ticket (英) 切符、乗車券、又入場券。
 【帝國學士院】^⑰ テイクカガシケン 文部大臣の所管に屬し國內學術の發達を計り文化上に貢獻する目的を以て組織せられた機關。
 【帝國主義】^⑱ テイククニキ Imperialism (英) の譯 政策の目標を領土の擴張と勢力範圍の擴張に置き力づくで他の領土を侵略して覇者たらんとする主義、つまり國家を中心とする強食弱肉主義。
 【帝國美術院】^⑲ テイクカビジュケン 文部大臣の諮問に應じ美術に關する意見を開申し又は美術展覽會を催ふすなど我國の美術の發達に裨益する目的を